

平成 27 年 9 月

杵築市民アンケート調査

過去 2 回との比較及び最新の生活実感・結婚等意識に関する調査結果 （詳細版）



新杵築市誕生 10 周年

杵築市役所 政策推進課 （平成 27 年 5 月～6 月実施）

〒873-0001 杵築市大字杵築 377 番地 1

電話：0978-62-1804（直通）

メール：seisaku@city.kitsuki.lg.jp

【目次】

第1章	杵築市民アンケート調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1～2
	（アンケートの精度）	
第2章	回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・	3～7
第3章	単純集計Ⅰ（過去2回との比較）・・・・・・・・	9～40
第4章	単純集計Ⅱ（生活、結婚・子育て等に関する意識調査）・・・・	41～48
第5章	クロス集計とその特徴・・・・・・・・	49～91
	（1）男性と女性の差異	
	（2）15～49歳までの人と、50～79歳までの人の差異	
	（3）杵築地域在住者と山香・大田地域在住者の差異	
	（4）生まれてからずっと住み続けている人、進学や就職で一度転出し 再び戻ってきた人、転入してきた人との差異	

第1章：杵築市民アンケート調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の市政・政策への満足度、関心度、協力度の把握に加え、市民の意向及び優先度等を可能な限り推し量り、今後予定される市政運営の長期計画策定の資料とすべく実施した。

2. 調査項目

- (1) 回答者の属性（性別・年齢・住年数ほか）
- (2) 杵築市への愛着や印象、市町村合併の評価
- (3) 総合計画に基づく市政（各事業分野・職員対応）の評価（過去2回との比較）
- (4) 結婚や子育てに関する現状・将来の不安・考え方
- (5) その他自由意見

3. 調査対象（母集団）

この調査は、平成27年4月末日現在、杵築市内に住民登録のある15歳以上80歳未満の男女23,185人を対象として実施した。

4. 調査設計

- (1) 調査地域 杵築市内全域
- (2) 標本数 上記調査対象から2,000名
- (3) 抽出方法 区別人口比・性比にあわせ、住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙による郵送調査法
- (5) 調査時期 平成27年5月14日～平成27年6月10日
- (6) 調査実施機関 杵築市役所 政策推進課

5. 回収結果

発送数	未着数	実発送数	有効回収数	有効回収率
2,000票	26票	1,974票	676票	34.2%

6. 本報告書の見かた・集計について

便宜上、小数第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。要求回答数を超える等、設問の要求形式に沿わない回答は無効とした。図表において、実際の設問表現を簡略化している場合がある。性別や年齢に未回答があるため、合計数が異なる項目がある。

(調査の精度)

今回の調査では、単純集計（全体）分において統計学上、目標誤差を±4%以内、信頼度95%（同じアンケートを実施した場合に、100回中95回が目標誤差の範囲に収まる状態のこと）と設定した。必要な有効回収数が最大となる回答比率（50%）のとき、585以上の有効回収数があれば、この精度を担保できることを確認した。

標本誤差は、以下の数式により算出される。

$$\text{標本誤差} = k \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

k=信頼度定数 N=母集団の数 n=有効回収数 P=回答比率

kは、信頼度の設定によって変わり、信頼度95%のときk=1.96となる。Nは、23,185人（平成27年4月末日現在、杵築市内に住民登録のある15歳以上80歳未満の人口）である。nは、有効回収数の676である。

本調査における信頼度95%のときの標本誤差の早見表を以下に示す。

この見かたは、例えば「全体」の場合、【ある問い】に50%の人が満足していると回答した際、P=50を代入し、標本誤差は約3.7%と算出される。よって、実際の母集団では、95%の確率で、その【ある問い】に50%±3.7%（46.3～53.7%）の人が、満足していると回答するものと推定される。

早見票	N 母集団数	n 回収数	回答比率									
			50%	45%	40%	35%	30%	25%	20%	15%	10%	5%
全体	23,185	676	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.2	3.0	2.7	2.2	1.6

具体的な設問でみると、【杵築市と相性の良さそうなまちづくりの方向性】において『自然環境を大切に、農林水産業に力を入れてスローライフをめざす』と答えた人は、27.7%だった。Pにこれを代入すると、標本誤差は約3.3%となる。よって、95%の確率で、杵築市に住む15歳以上80歳未満の人（23,185人）の27.7%±3.3%が、『杵築市が住みやすい・どちらかといえば住みやすいと感じる』と答えた想定される。

第2章. 回答者の属性

1. 属性調査の意図

調査項目に対する、性別や年代など属性ごとの特徴を調べるため、10項目について回答を求めた。

各項目における回答比率は、過去2回の調査時と大差なかった。

性別や年代の基礎的屬性に加え、それらの人の特徴や考え方の背景を探るため、「出身地（ずっと住み続けている人か、一時転出後に戻ってきた人か、転入者か）」、「愛着の有無」、「杵築市と相性のよさそうなまちづくりの方向性」、「合併してよかったか」の4項目を新設した。

2. 回収票の概要

- ・男性より女性の割合が高い。また、性別は他の設問に比べ「未回答」の割合が高かった。
- ・60歳以上79歳未満の割合が約5割である。30代男性の回答率が悪かった。
- ・住地域は人口比からして相当な割合となった。
- ・出身については、「転入者」の回収票が4割強と最も多く、「一度転出後、戻ってきた人」は2割程度となった。
- ・住年数について、「30年以上住み続けている人」からの回収票が半数以上でもっとも多く、次いで「10年～20年未満」であった。
- ・職業について、「会社員（団体職員・公務員を含む）」からの回収票が最も多かった。なお、男性で「主夫」と回答した人はいなかった。
- ・家族構成は、「2世代（親と子）世帯」と「夫婦のみの世帯」からの回収票で7割を超えた。単身世帯からの回収票は、約1割だった。
- ・8割以上の人々が、杵築市に愛着があると答えた。
- ・まちづくりの方向性について、「バランス型」を望む人が半数を超えた。
- ・市町村合併の評価は、「悪い」が「よい」を上回ったが、半数以上の人々が「どちらともいえない」または「わからない」と回答している。

各設問と割合を次頁以降にまとめる。

回収票数とその割合を示す。

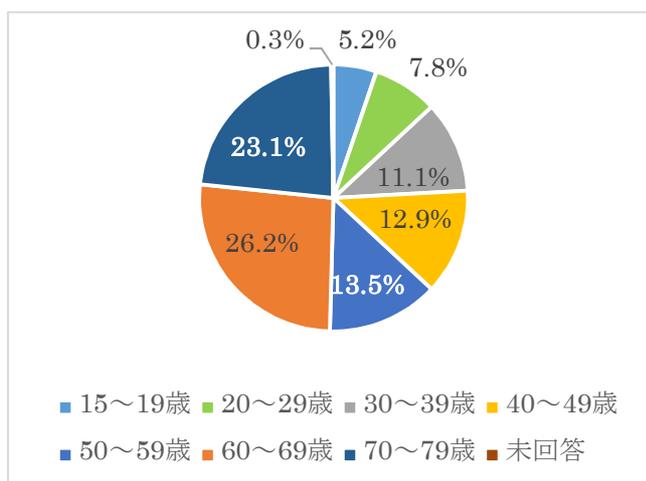
【性別】

男性	280
女性	338
未回答	58



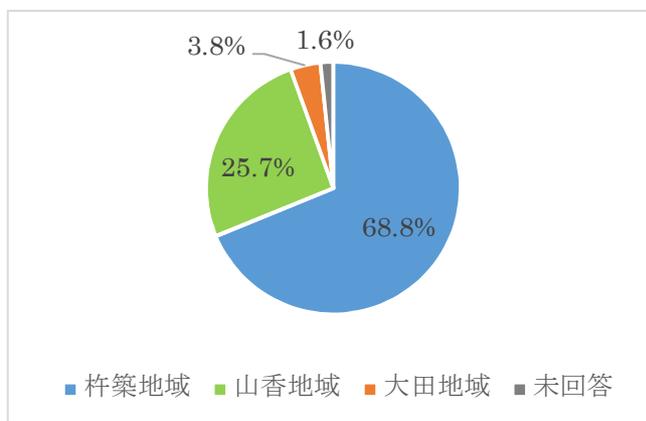
【年齢】

15～19歳	35
20～29歳	53
30～39歳	75
40～49歳	87
50～59歳	91
60～69歳	177
70～79歳	156
未回答	2



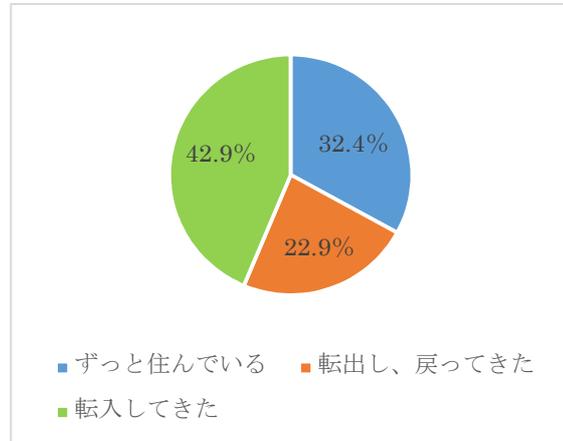
【住んでいる地域】

杵築地域	465
山香地域	174
大田地域	26
未回答	11



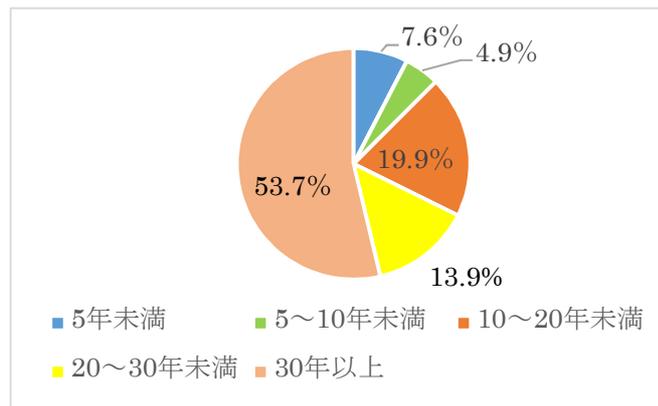
【出身】

生まれてからずっと住み続けている	219
進学などで一時的に転出し、その後戻ってきた	155
市外（県外・国外含む）から転入してきた	290



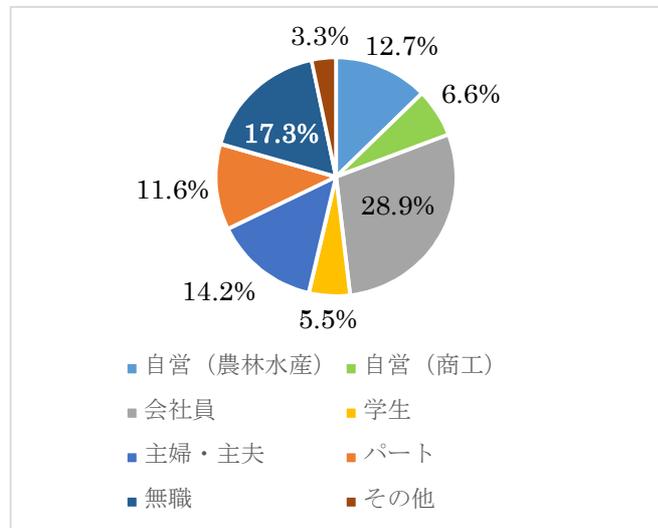
【住んでいる年数】

5年未満	51
5～10年未満	33
10～20年未満	134
20～30年未満	94
30年以上	362



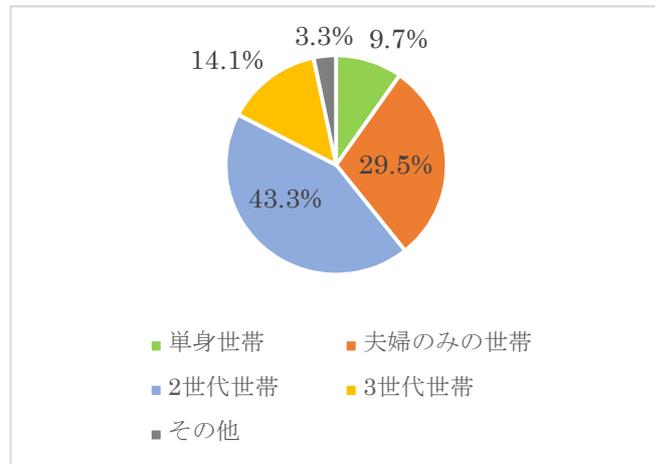
【職業】

自営業（農林水産）	85
自営業（商工業）	44
会社員（公務員含む）	194
学生	37
主婦・主夫	95
パート	78
無職	116
その他	22



【家族構成】

単身世帯	65
夫婦のみの世帯	197
2世代（親と子）世帯	289
3世代世帯	94
その他	22



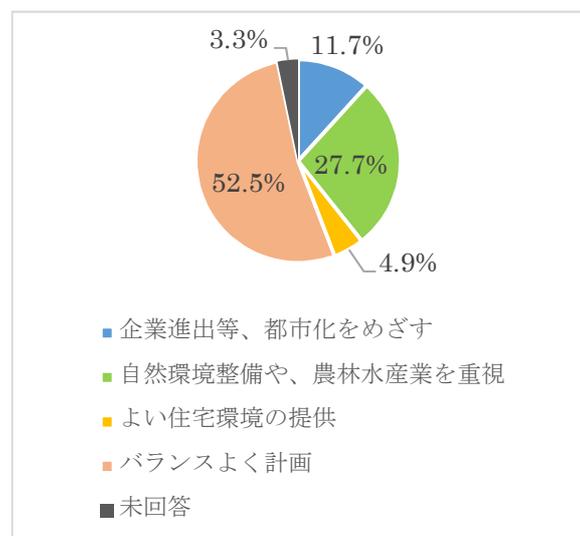
【杵築市への愛着】

ある	583
ない	77
未回答	16



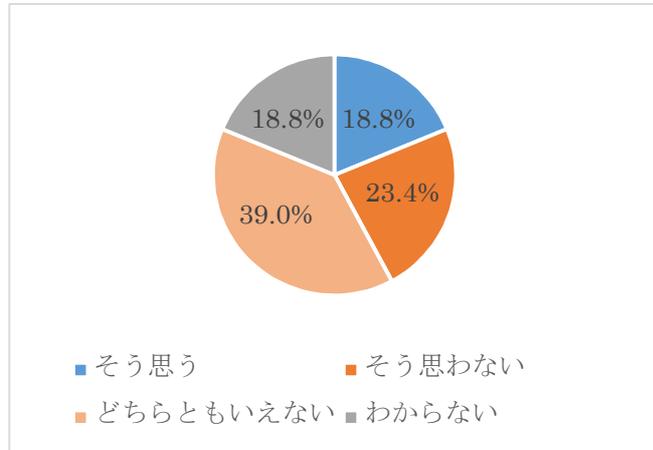
【杵築市と相性の良さそうなまちづくりの方向性】

企業進出を促したり、交通の便を良くして、都市化をめざす	79
自然環境を大切にし、農林水産業に力を入れてスローライフをめざす	187
分譲住宅地の開発など、よい住宅環境を提供して転入者を増やす	33
上記をバランスよく計画して、都市整備と自然環境整備を両立する	355
未回答	22



【市町村合併をしてよかったと思うか】

そう思う	126
そう思わない	157
どちらともいえない	262
わからない	126



第3章. 単純集計 I (過去2回との比較)

1. 集計及び比較の意図

杵築市が総合計画に掲げる「安心・安全な暮らしをささえるまちづくり」、「感性豊かで活力を生むまちづくり」、「豊かな自然と文化を大切にするまちづくり」、「ひとが育ち、輝くまちづくり」、「利便性の高いまちづくり」、「市民が主役のまちづくり」の6つの事業分野の評価を推察する。市民が、その重要度や満足度をどのように感じているか、27項目について回答を求めた。

同時に、市民が「市役所の事務のあり方について」どのように感じているか、5項目について回答を求めた。

これらは、過去2回と同じ設問である。回答の変化から市民ニーズの変化を捉えることを目的としている。

2. 集計及び比較の概要

- ・「重要、ふつう、重要でない」や、「満足、ふつう、不満」の各比率は、過去2回とほぼ同様である。
- ・各設問に対する「重要」の割合は、年々高まっている。
- ・7割以上の人々が、重要（やや重要含む）だと回答したものは次のとおり。

(1) ②保健・医療体制の充実	79.4%
(2) ⑧防犯体制の充実	73.1%
(3) ⑥消防・防災対策	72.4%
(4) ⑱幼児・学校教育の充実	71.9%
(5) ⑰子育て支援の充実	71.0%
(6) ⑬雇用対策の充実	70.8%
(7) ⑦交通安全対策	70.0%
- ・満足度の調査では、「ふつう」と回答した人の割合がもっとも高い。
- ・全体的に「満足、やや満足」の割合は、横ばいまたは微減傾向にある。
- ・満足度（やや満足含む）の高かったもの上位3項目は次のとおり。

(1) ⑥消防・防災対策	33.1%	(大きな伸びがみられる)
(2) ⑰環境問題対策	27.5%	
(3) ②保健・医療体制の充実	22.8%	(ただし減少傾向)
- ・不満（やや不満を含む）の割合の高いもの（4人に1人以上となる25%以上のもの）は次のとおり。

(1) ②保健・医療体制の充実	25.8%
(2) ⑨定住促進策の充実	27.4%
(3) ⑬雇用対策の充実	36.1%

(4) ㉑道路網の整備・・・・・・・・・・ 33.3%

(5) ㉒公共交通の充実・・・・・・・・・・ 35.1%

- ・「わからない」の割合が高いものは、【問 25】市民交流・都市間交流・国際交流（24.7%）や、【問 27】行財政運営について（22.6%）があげられる。
- ・『市役所の事務のあり方について』を尋ねる設問についても、「ふつう」の割合が高い傾向にある。
- ・満足を表す「そう思う（どちらかといえば、を含む）」の割合は依然として低いものの、市職員の窓口、電話対応と広報きつきの充実度は、不満を上回っている。
- ・市ホームページの利用のしやすさは、「わからない」と回答する人が多い。また、利用しづらいと感じる人の割合が増加傾向にある。

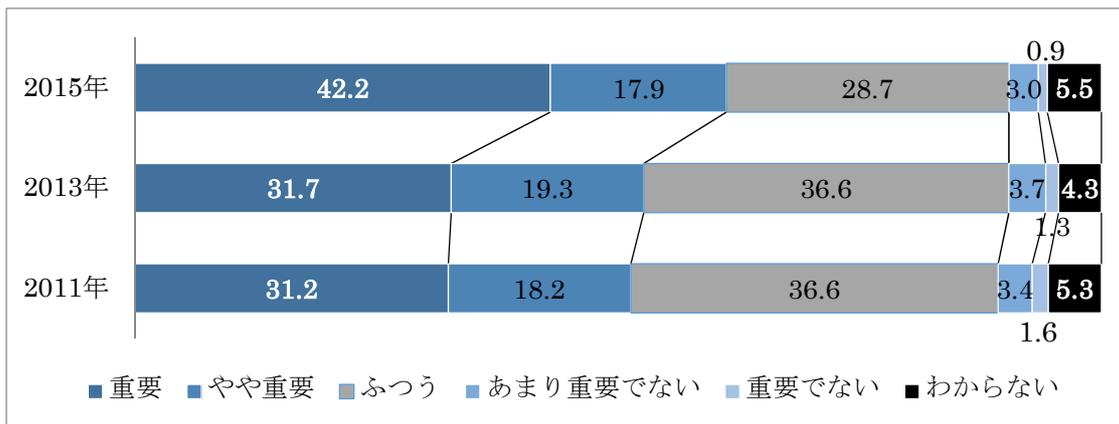
各設問と推移を次頁以降にまとめる。

【問1】健康づくりの充実について伺います。

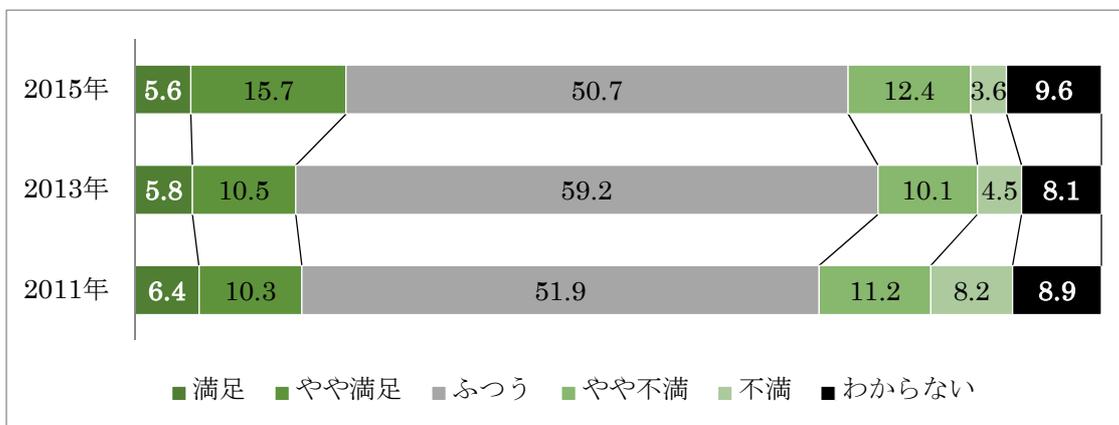
(例えば、こんな事業をしています。)

- 総合型スポーツクラブの育成支援
- 健康教室の実施
- スポーツ施設の整備（文化体育館・フットボールパークなど）

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

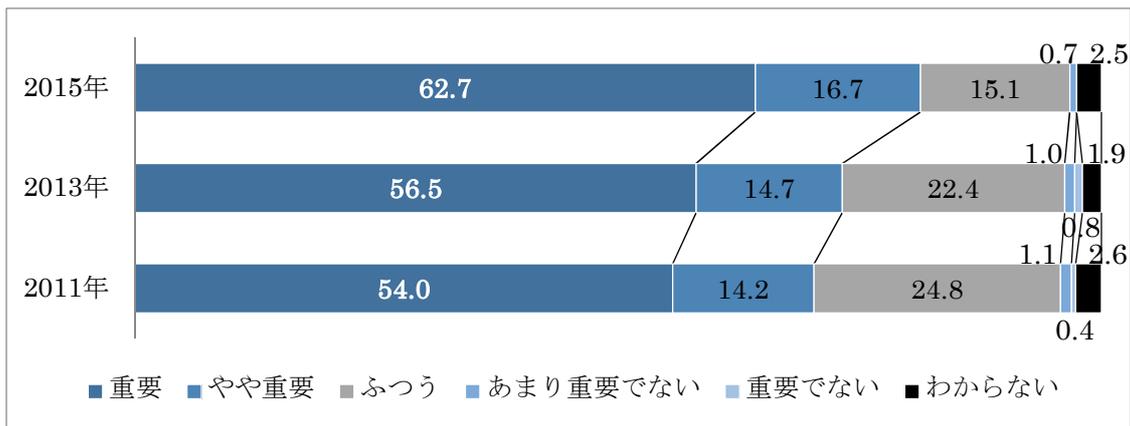


【問2】保健・医療体制の充実について伺います。

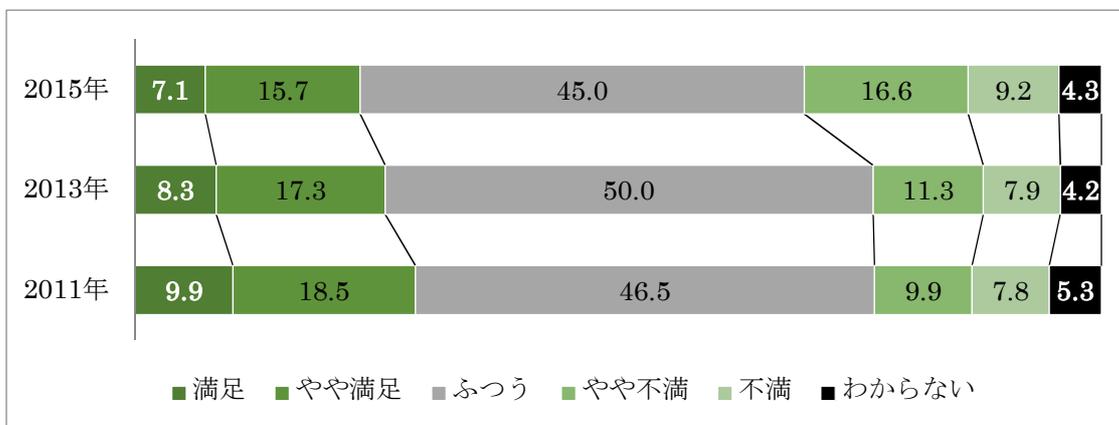
(例えば、こんな事業をしています。)

- 各種検診や予防接種の実施
- 健康相談、健康教室の実施
- 市立病院を含めた医療体制の充実 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

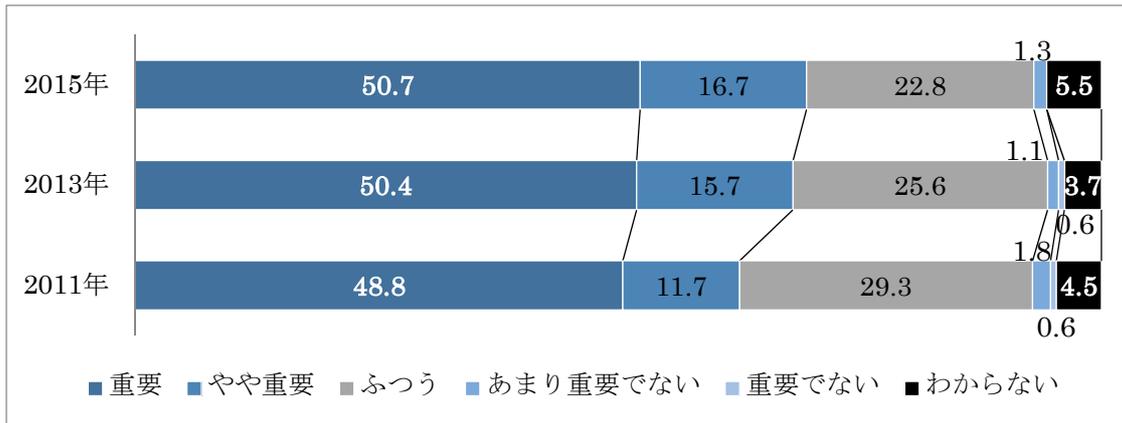


【問3】 社会保障制度の充実について伺います。

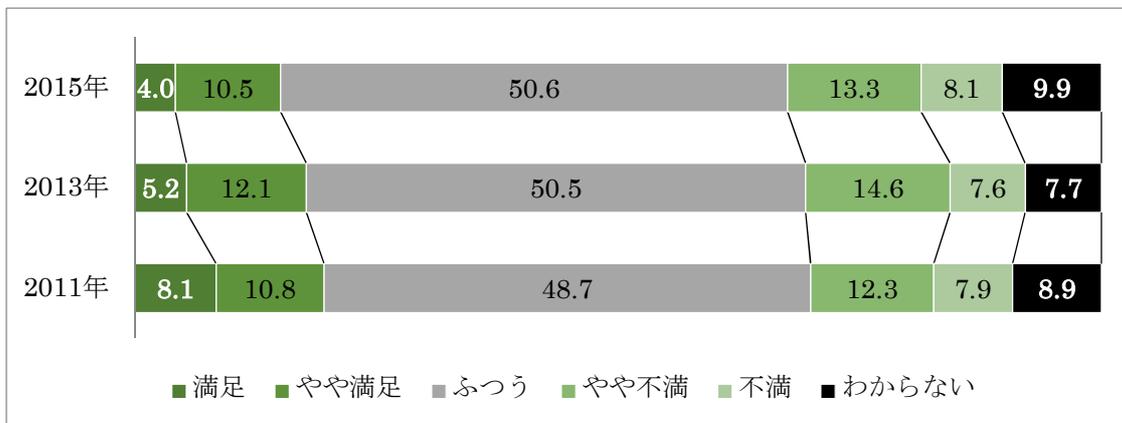
(例えば、こんな事業をしています。)

- 医療費の適正化、保険料の適正な賦課
- 国民年金制度の周知、相談業務
- 後期高齢者医療制度の周知、窓口相談の充実 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

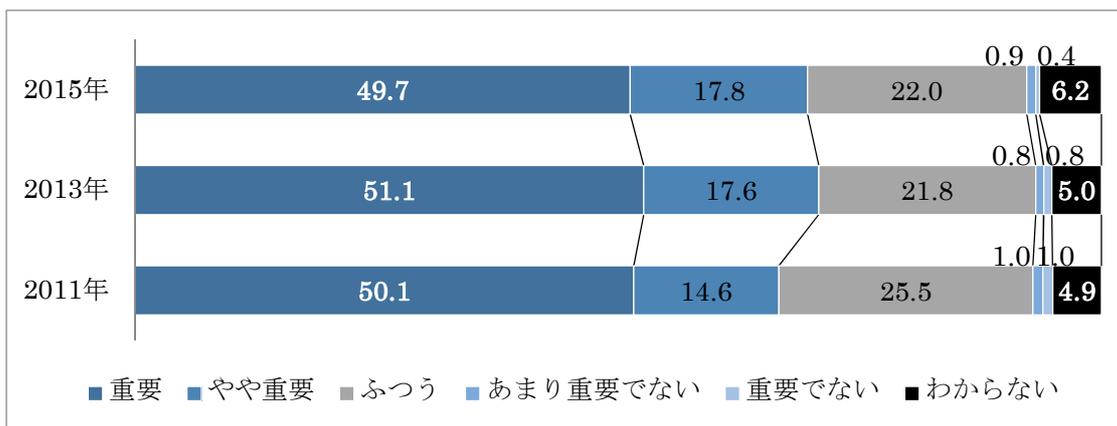


【問4】福祉の充実について伺います。

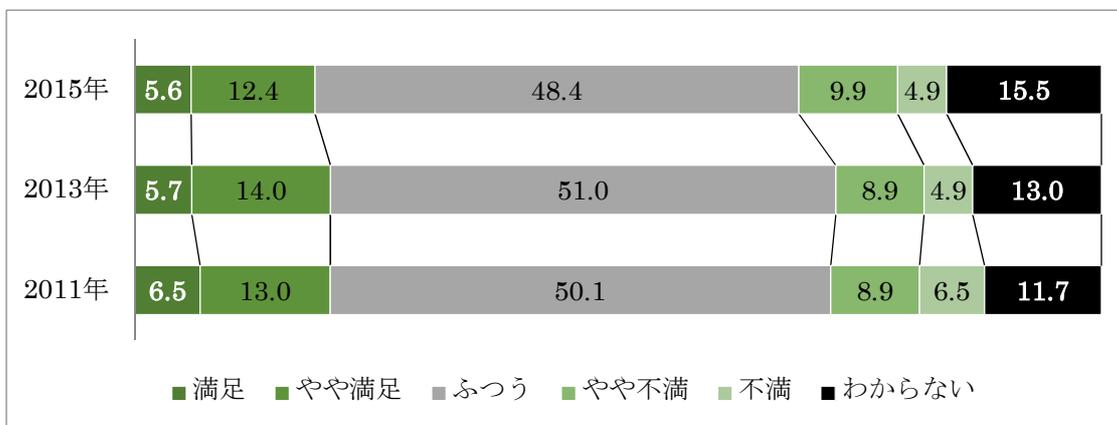
(例えば、こんな事業をしています。)

- 障がい者への福祉サービスの充実
- 高齢者福祉・介護サービスの充実
- ホームヘルプサービスの充実 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

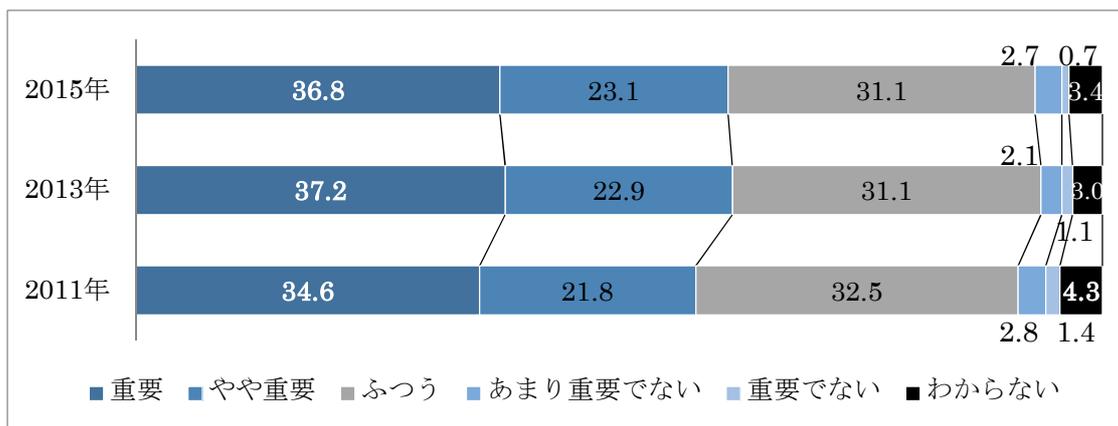


【問5】誰もが使える公共施設について伺います。

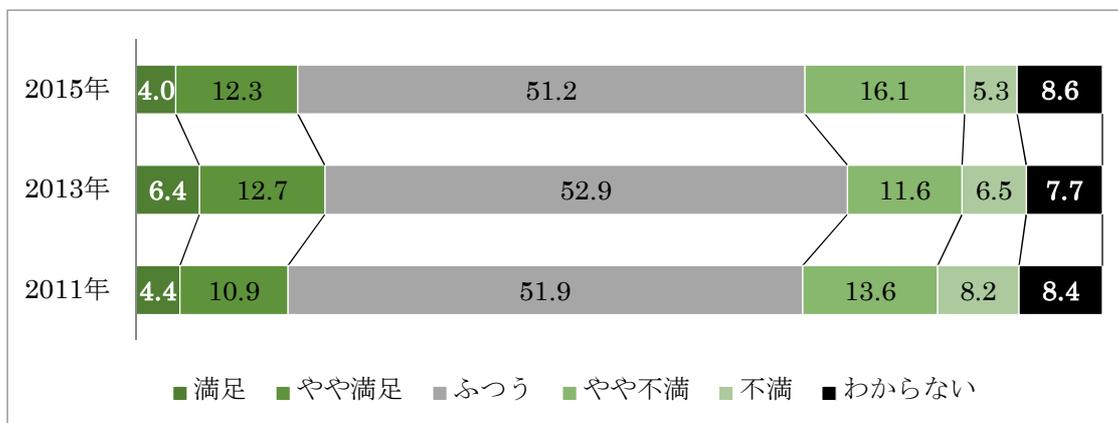
(例えば、こんな事業をしています。)

- 公衆トイレ等の車いす用スロープや手すり等の設置
- 公共施設のバリアフリー化 ● 多目的トイレの設置 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

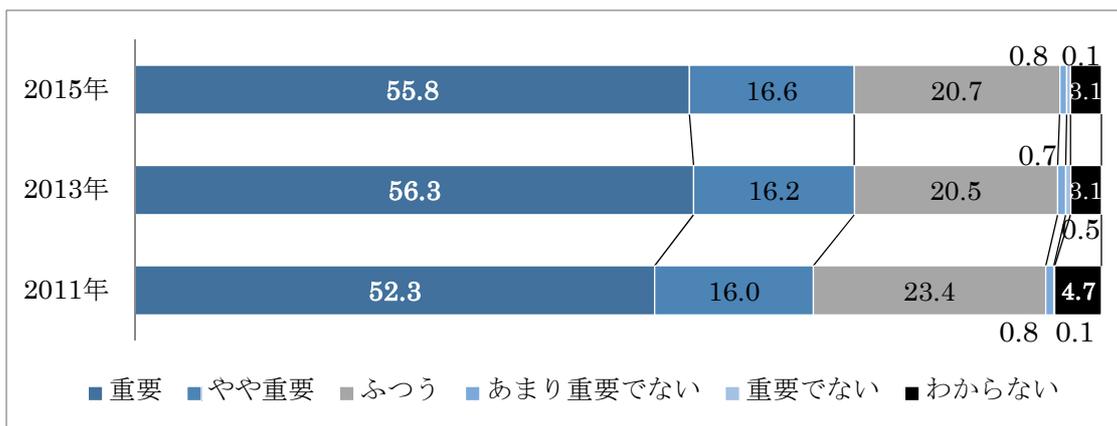


【問6】 消防・防災対策の充実について伺います。

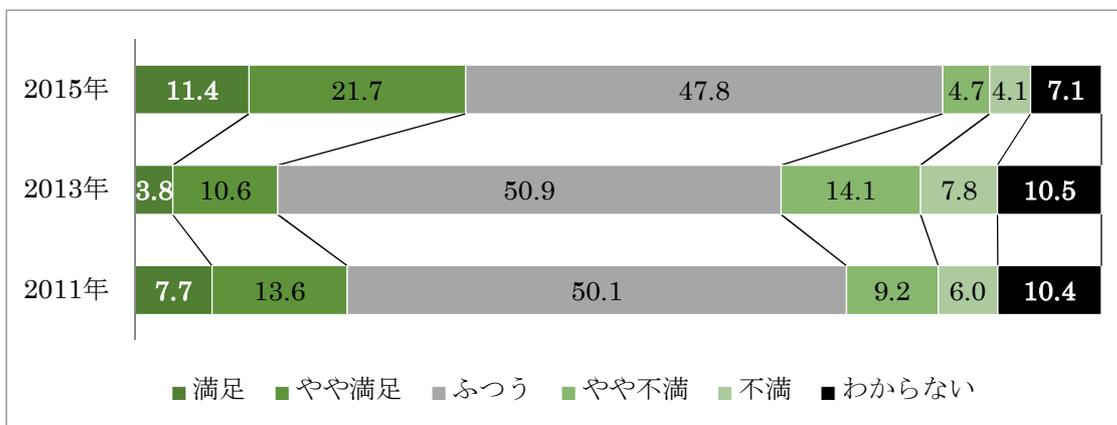
(例えば、こんな事業をしています。)

- 防災情報システムの整備・防災ラジオの設置
- 自主防災組織の推進・強化、津波用避難場所・避難経路の整備と周知 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

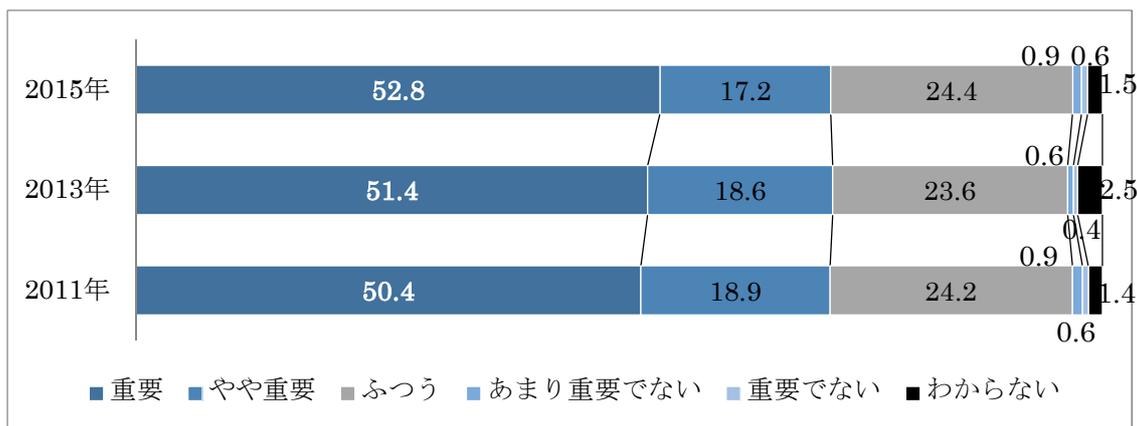


【問7】交通安全対策の推進について伺います。

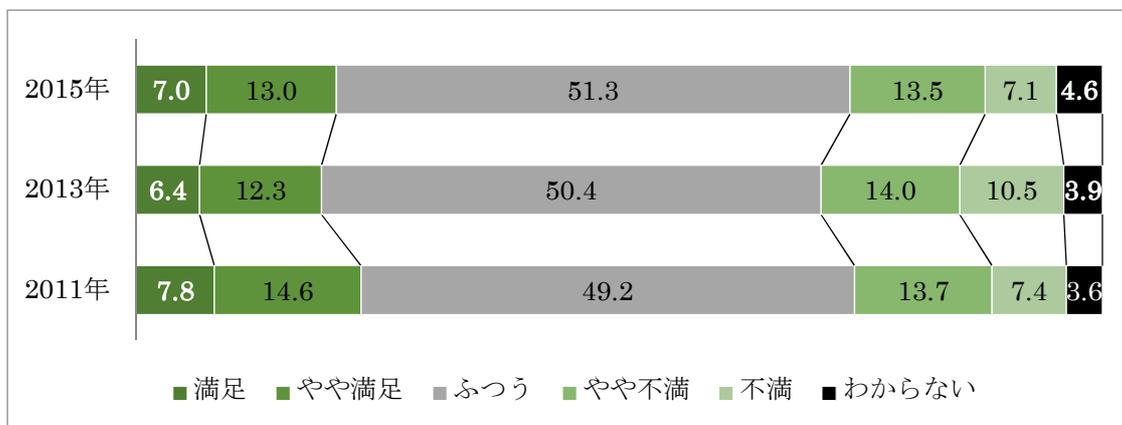
(例えば、こんな事業をしています。)

- カーブミラーやガードレール、歩道の整備、街頭交通指導
- 幼稚園・小学校を中心とした交通安全教室の実施 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

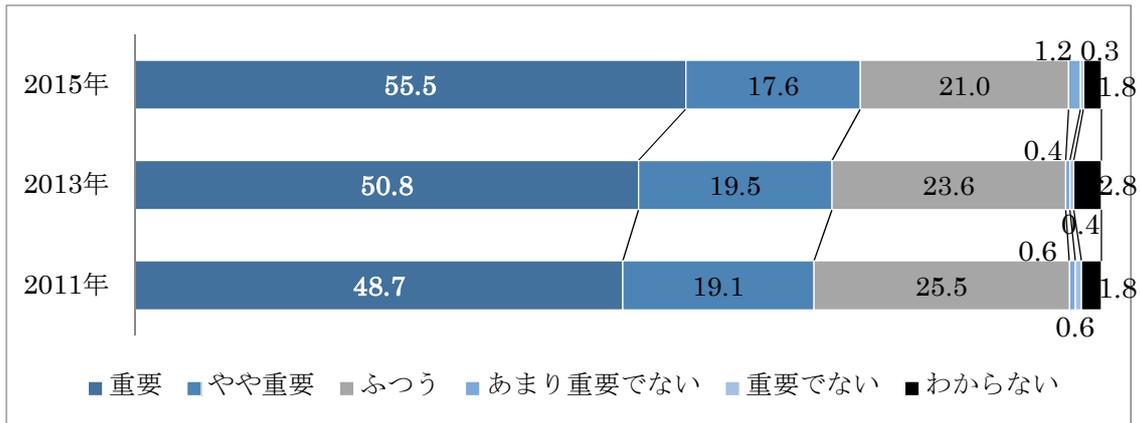


【問8】防犯体制の充実について伺います。

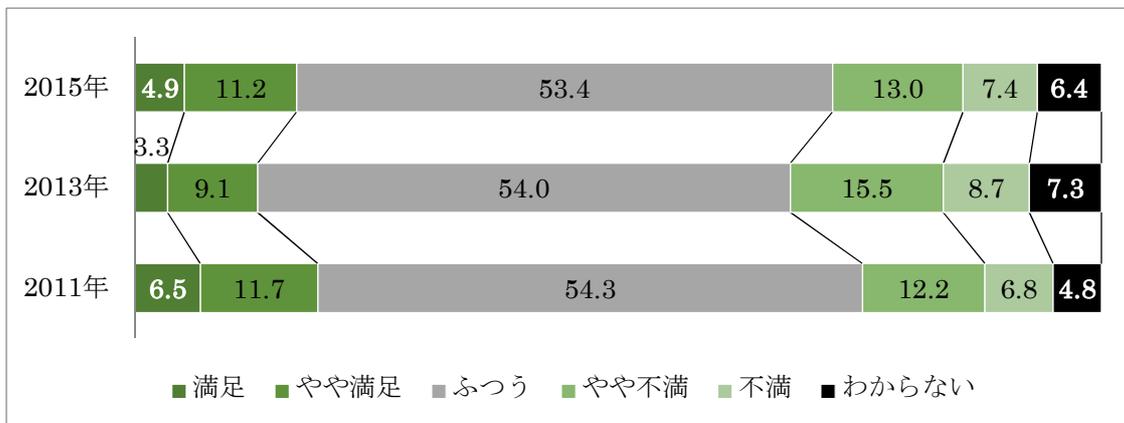
(例えば、こんな事業をしています。)

- 防犯灯の設置
- 防犯パトロールの実施
- 自主防犯組織との連携 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

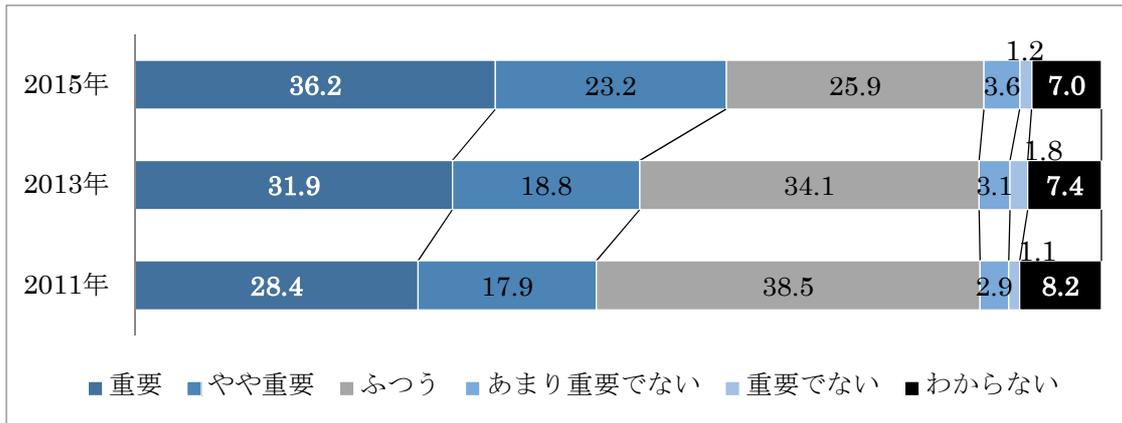


【問9】定住促進策の充実について伺います。

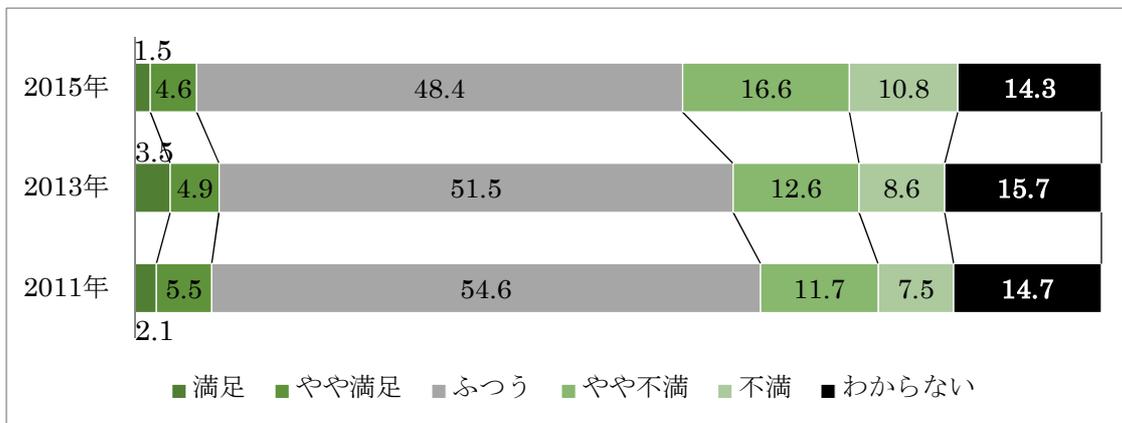
(例えば、こんな事業をしています。)

- 新婚世帯・子育て世帯への家賃補助
- 戸建住宅の新築・購入の補助、空き家バンク事業 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

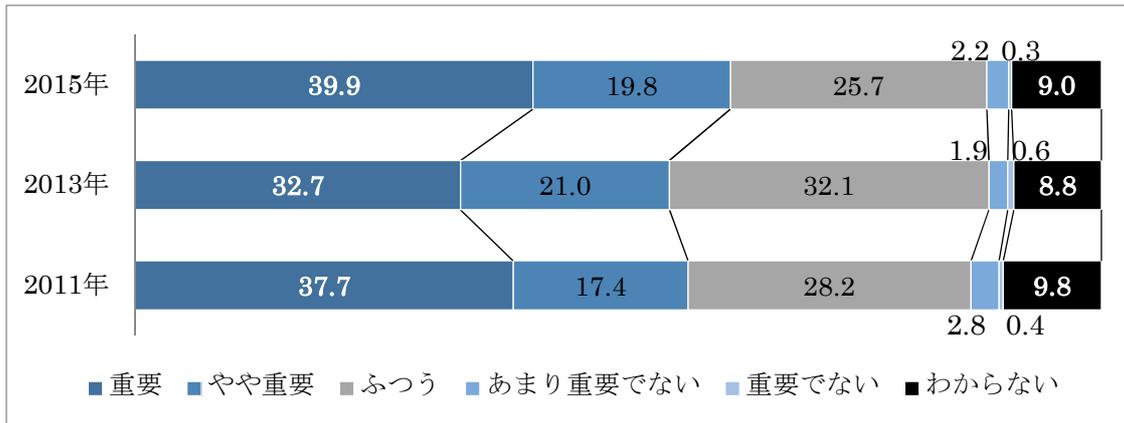


【問10】農林水産業の振興について伺います。

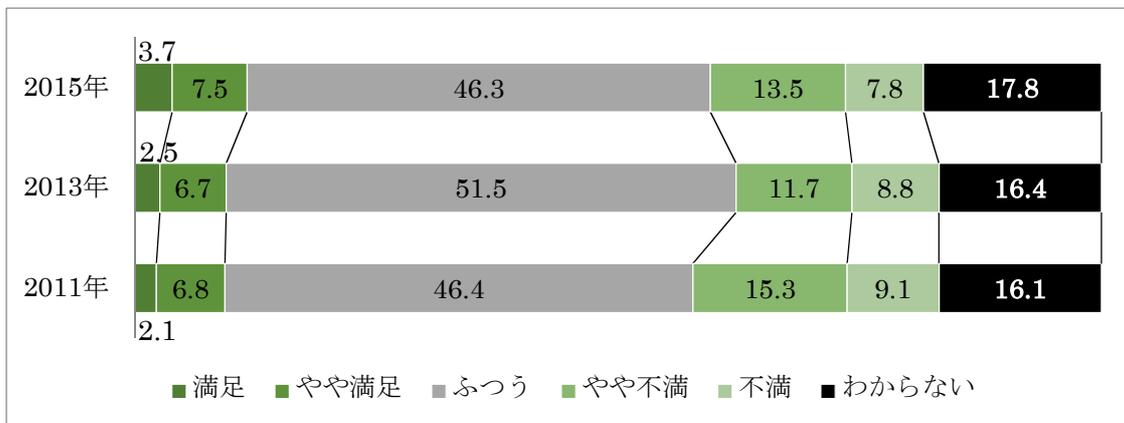
(例えば、こんな事業をしています。)

- ほ場整備、耕作放棄地対策、地産地消の推進、林道の整備・有害鳥獣対策
- 漁礁等の漁場造成、水産まつりの開催 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

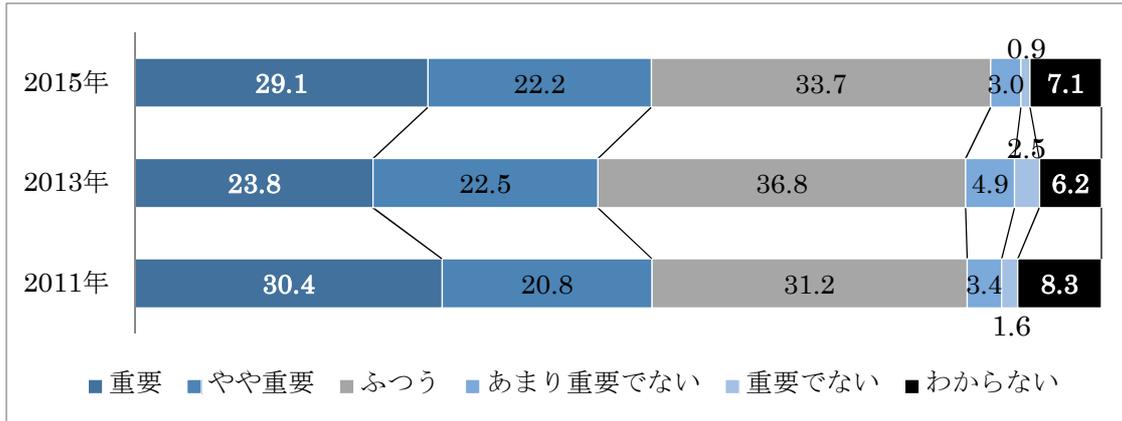


【問11】 商工業の振興について伺います。

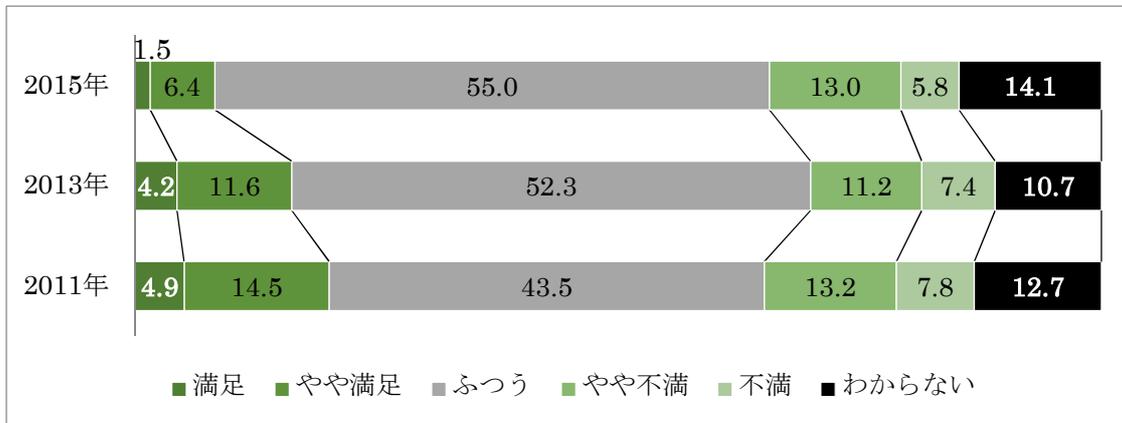
(例えば、こんな事業をしています。)

- お買い物券（ど〜んと商品券）、商品開発支援、地域資源のPR
- 中小企業の育成・強化への優遇措置や融資制度 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

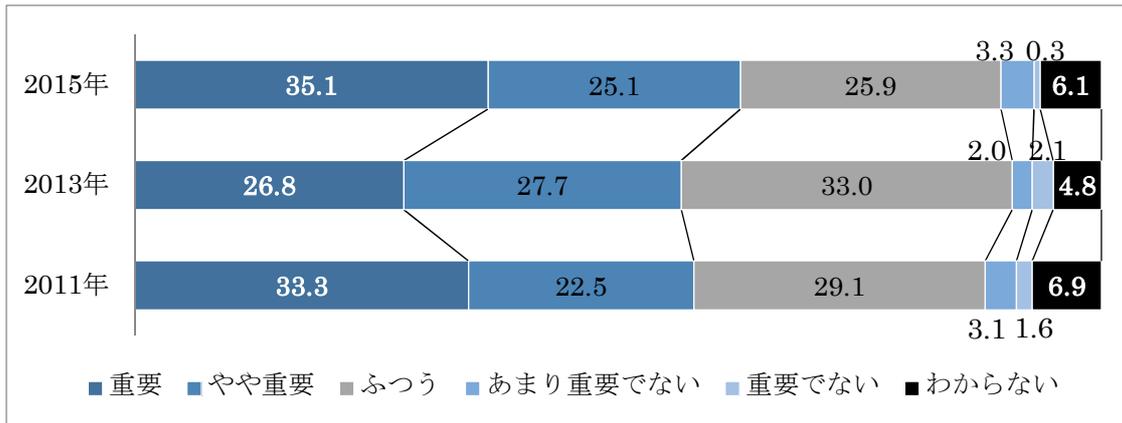


【問12】集客・観光の振興について伺います。

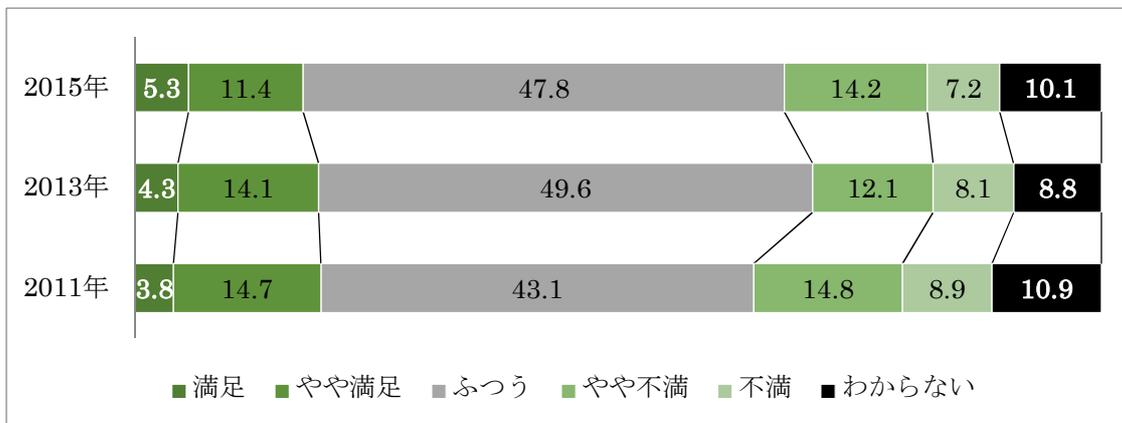
(例えば、こんな事業をしています。)

- 観光施設の整備、観光ルートづくり、ツアーの開発
- マスメディアや情報誌によるPR活動の強化 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

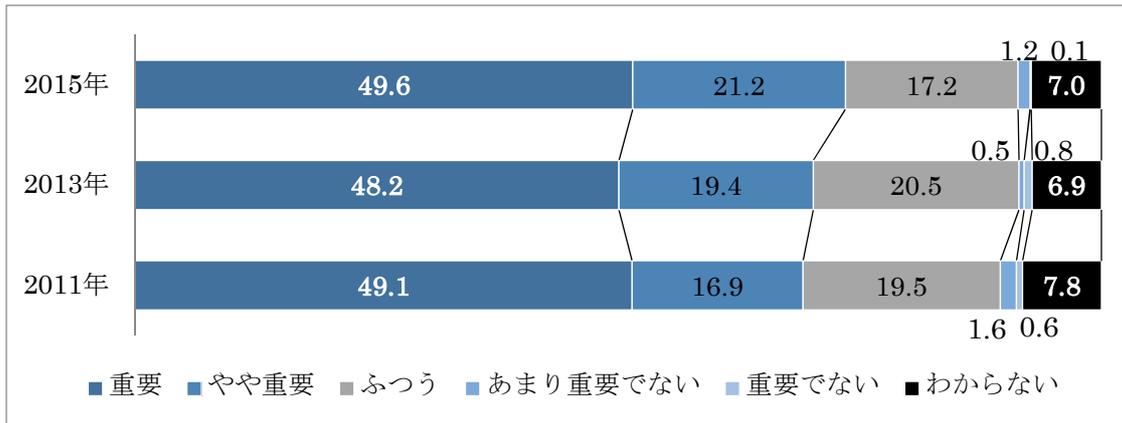


【問13】雇用対策の充実について伺います。

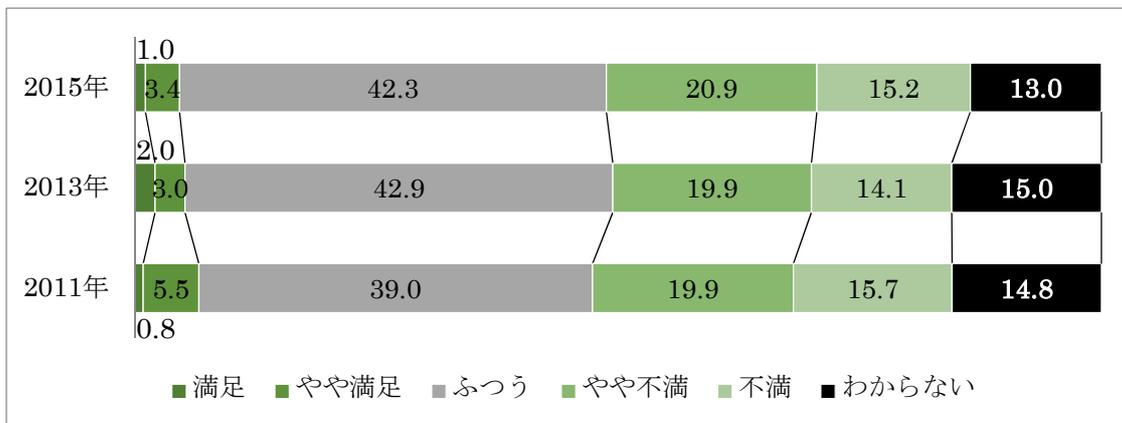
(例えば、こんな事業をしています。)

- ハローワーク等と連携した求人情報の提供、高齢者の雇用機会の拡大
- 若年未就労者や女性への積極的な情報提供 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



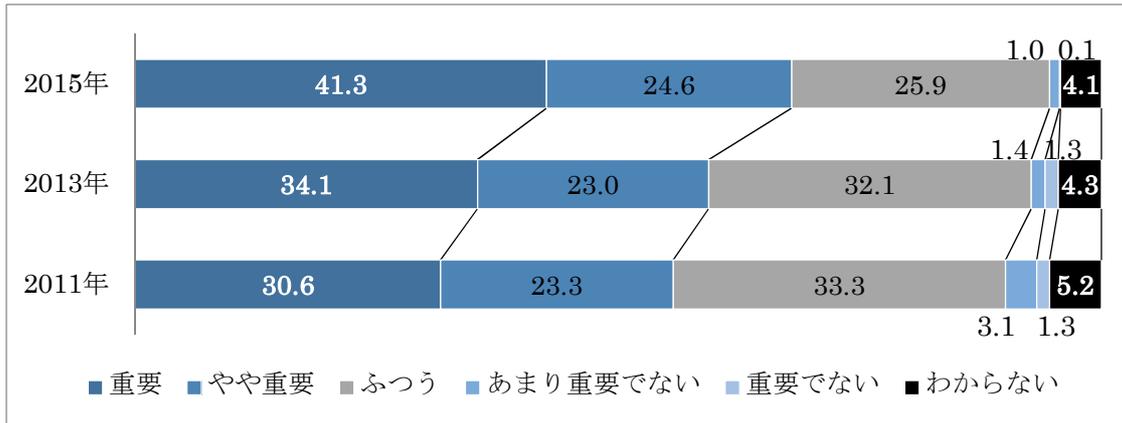
豊かな自然と文化を大切にするまちづくり

【問14】自然の保全と活用について伺います。

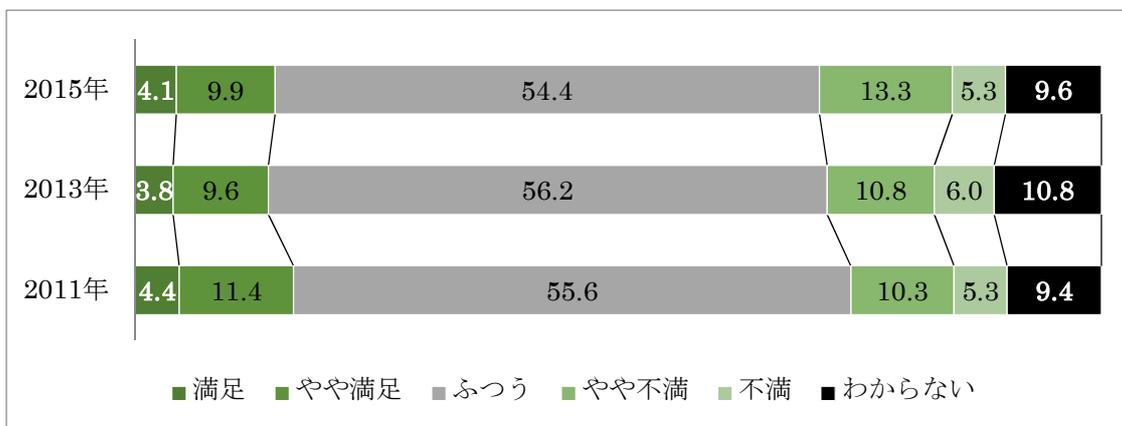
(例えば、こんな事業をしています。)

- 「景観条例」による特徴的な景観の保全・創造、八坂川の水質汚濁防止
- 自然を活かした公園・緑地の整備（横岳自然公園等） など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

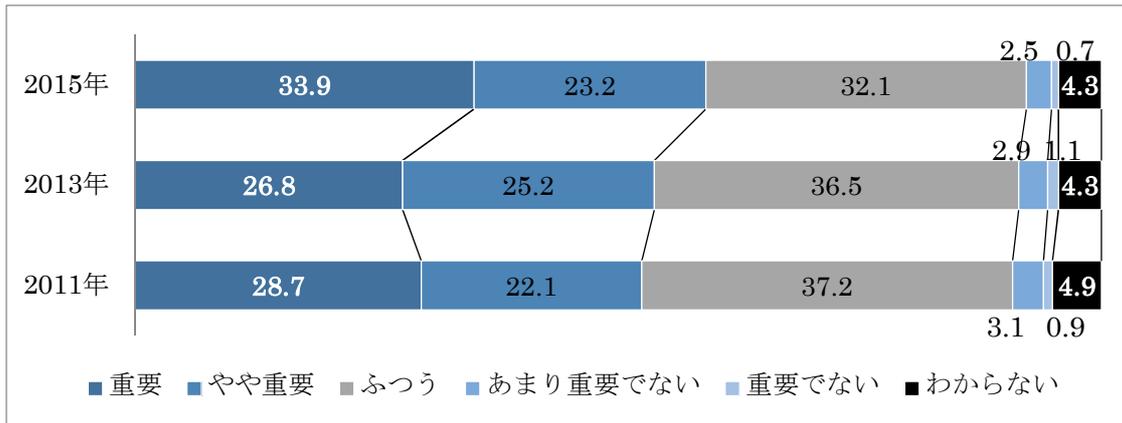


【問15】歴史・文化遺産の保存と活用について伺います。

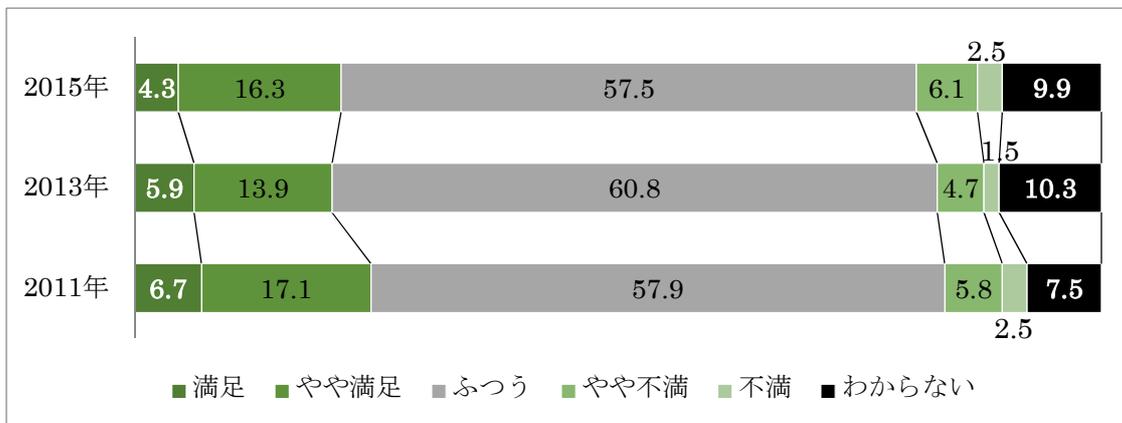
(例えば、こんな事業をしています。)

- 文化財の保護・研究、遺跡の発掘調査、文化財施設の計画的な補修
- 「どぶろく祭り」等の伝統文化の支援 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

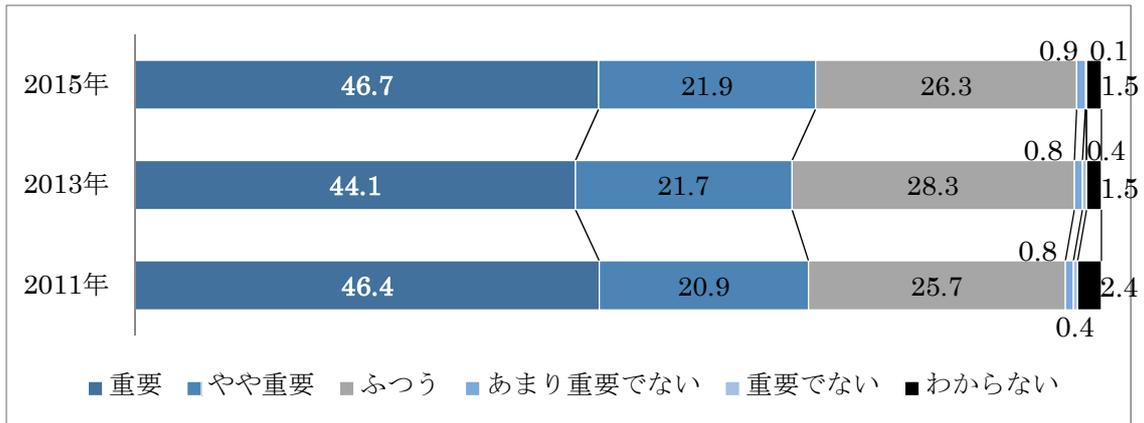


【問16】環境問題への対策について伺います。

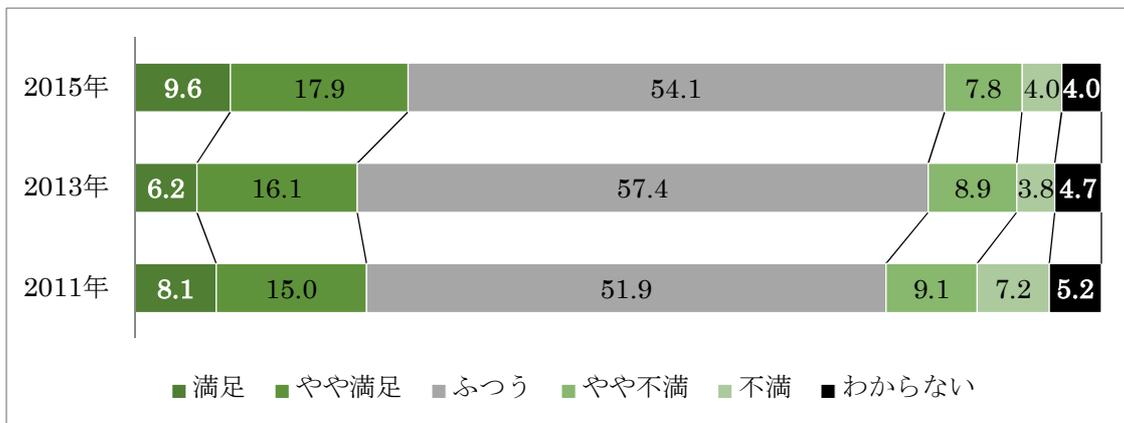
(例えば、こんな事業をしています。)

- ごみの分別収集、エコ・リサイクルに関する啓発活動
- 生ごみ処理機購入補助金の給付 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

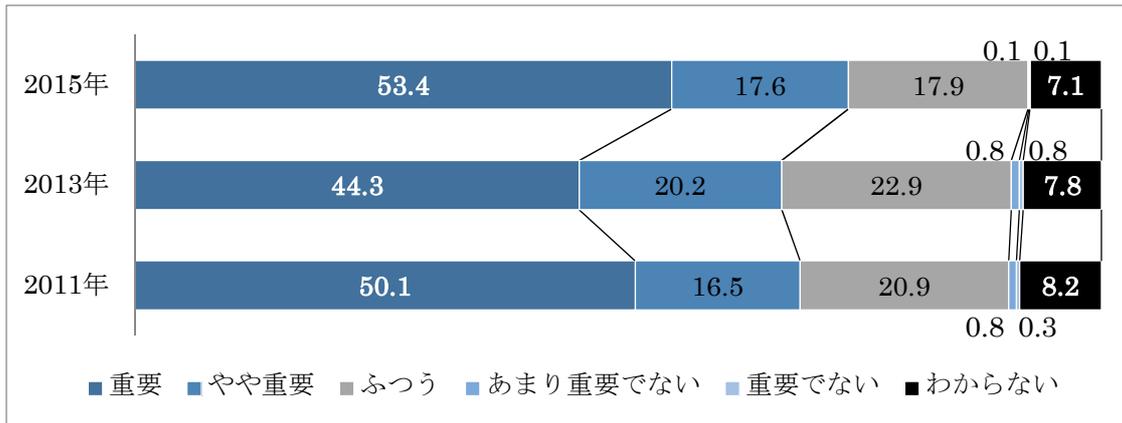


【問17】子育て支援の充実について伺います。

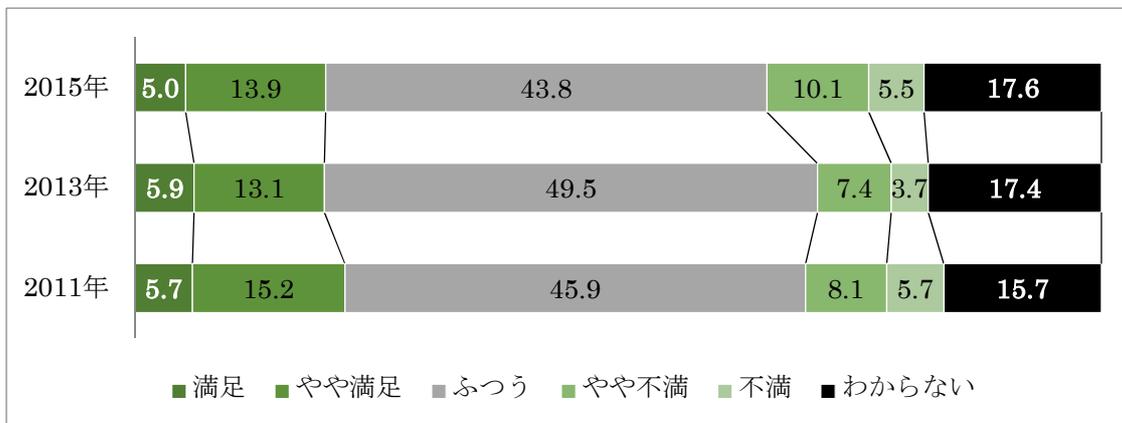
(例えば、こんな事業をしています。)

- 子ども医療費助成事業、認定子ども園の推進
- 放課後児童クラブや児童館の運営 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

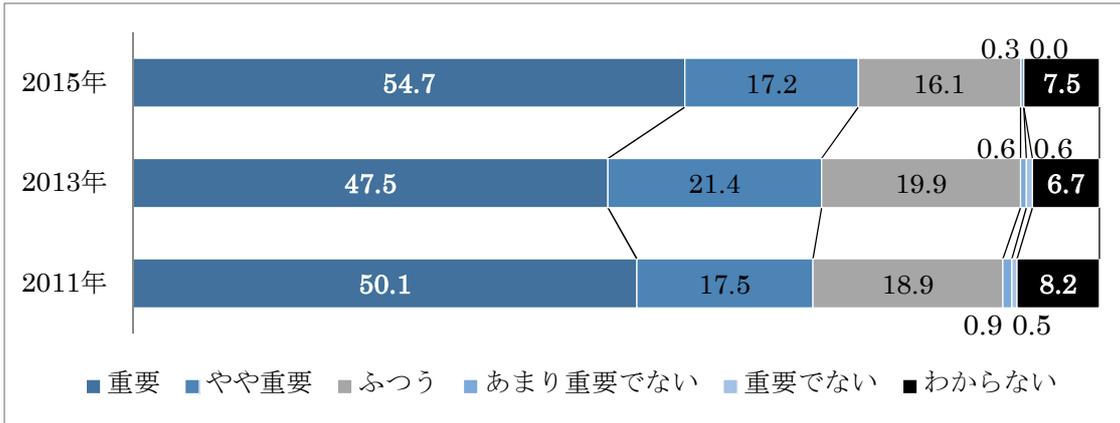


【問18】 幼児・学校教育の充実について伺います。

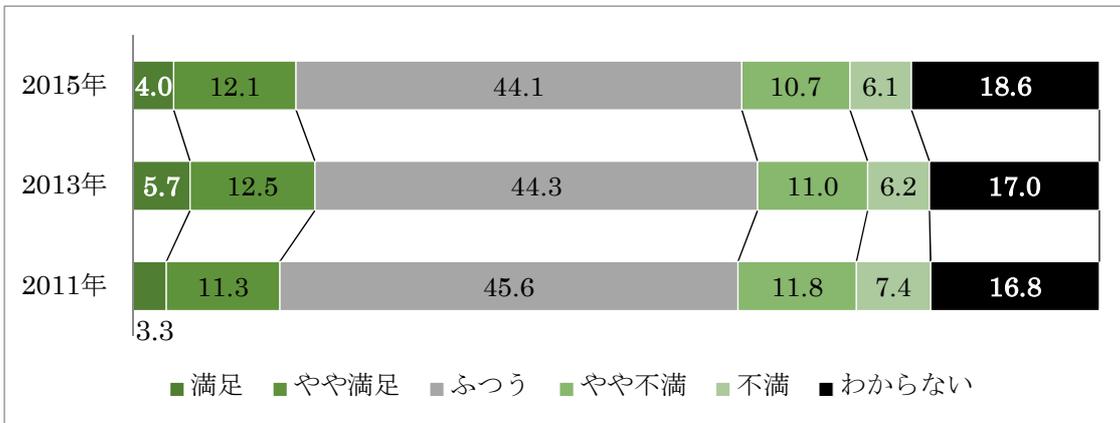
(例えば、こんな事業をしています。)

- 小・中学校の適正配置、学級支援員の配置
- 幼稚園・小中学校施設の耐震補強 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

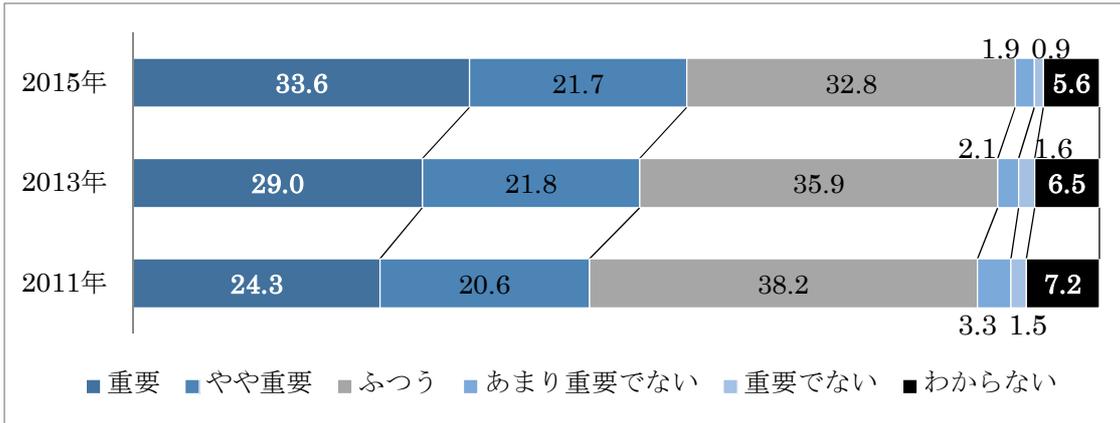


【問19】社会教育の充実と生涯学習の充実について伺います。

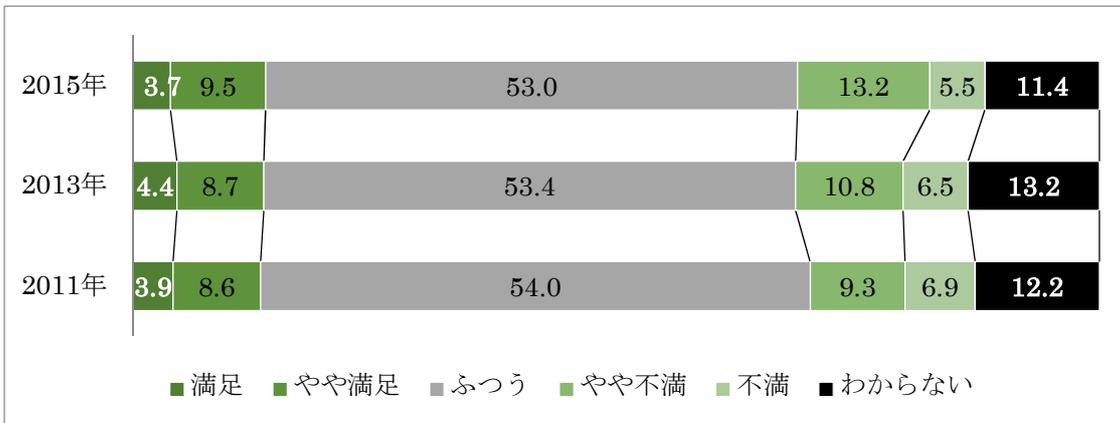
(例えば、こんな事業をしています。)

- 図書館の充実、公民館教室等の各種講座の開設
- 地域づくりリーダーの養成 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

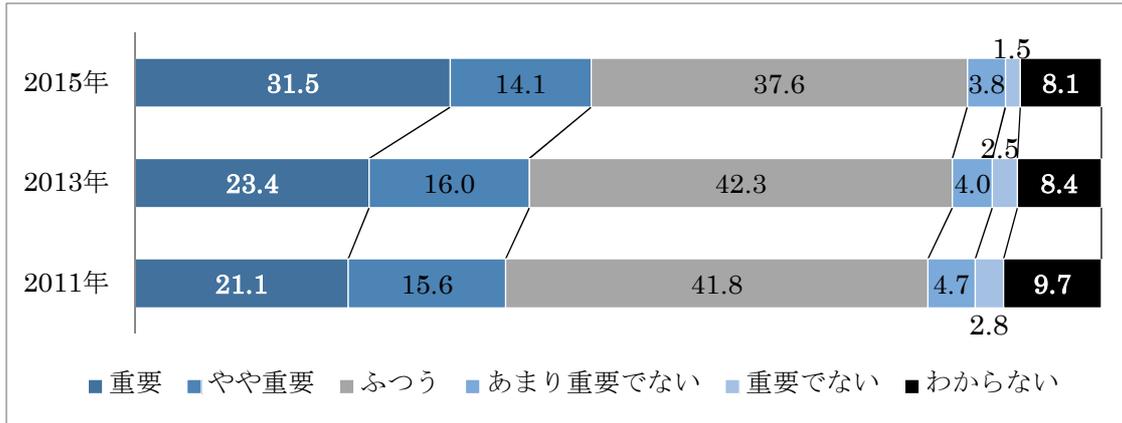


【問20】人権が尊重されるまちづくりについて伺います。

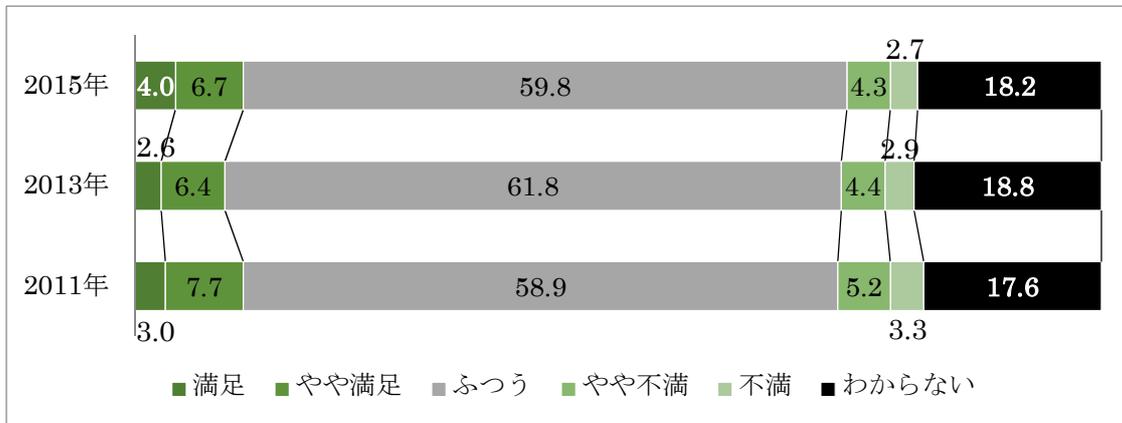
(例えば、こんな事業をしています。)

- 人権教育・啓発活動の推進、男女共同参画の啓発や意識改革
- 同和問題の解決をめざす人権教育の推進 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



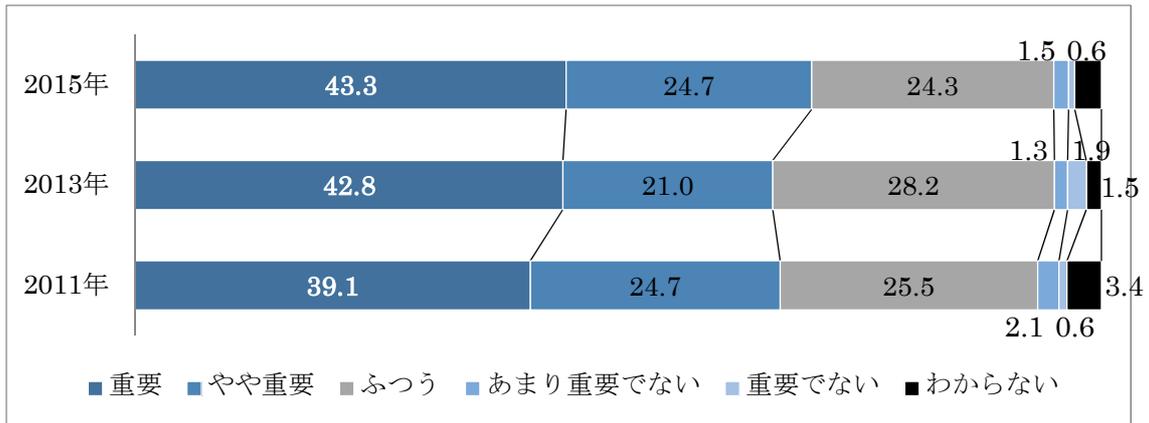
利便性の高いまちづくり

【問21】道路網の整備について伺います。

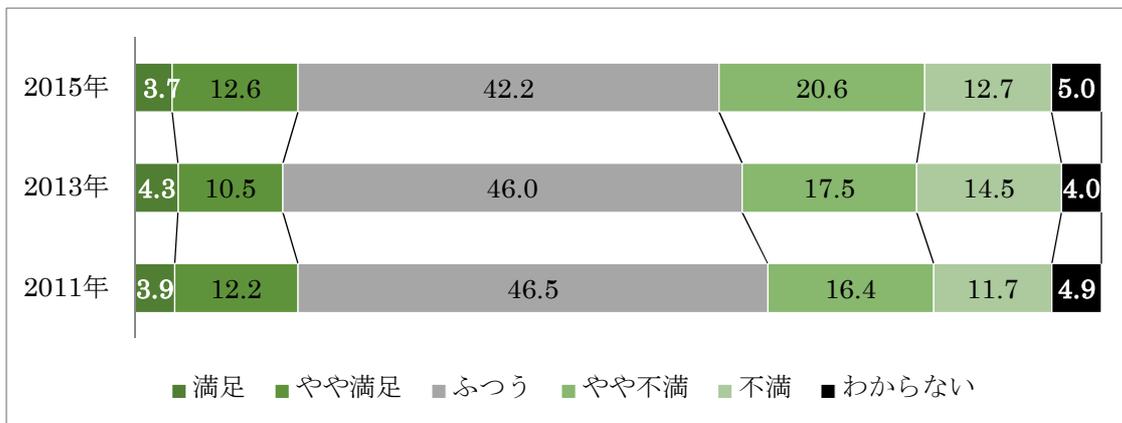
(例えば、こんな事業をしています。)

- 生活系道路の改修、市道・歩道の維持整備
- 市内拠点を結ぶ幹線道路網の整備 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)

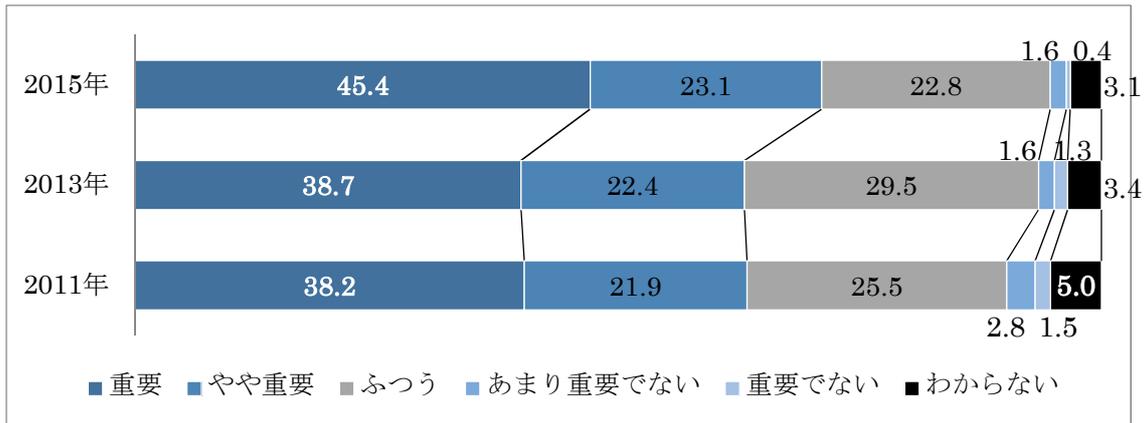


【問22】公共交通の充実について伺います。

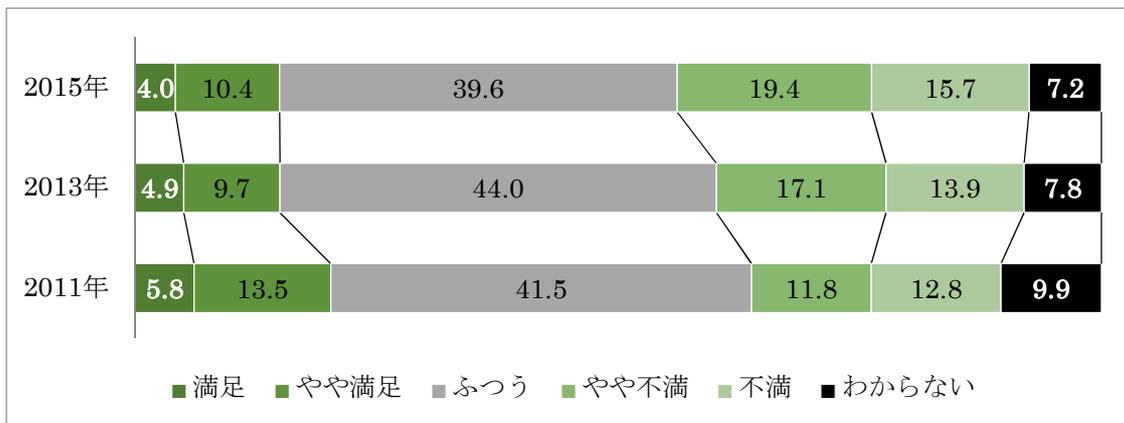
(例えば、こんな事業をしています。)

- 民間バス路線の確保維持、日豊本線高速・複線化の推進
- コミュニティバス・乗合タクシーの運行 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



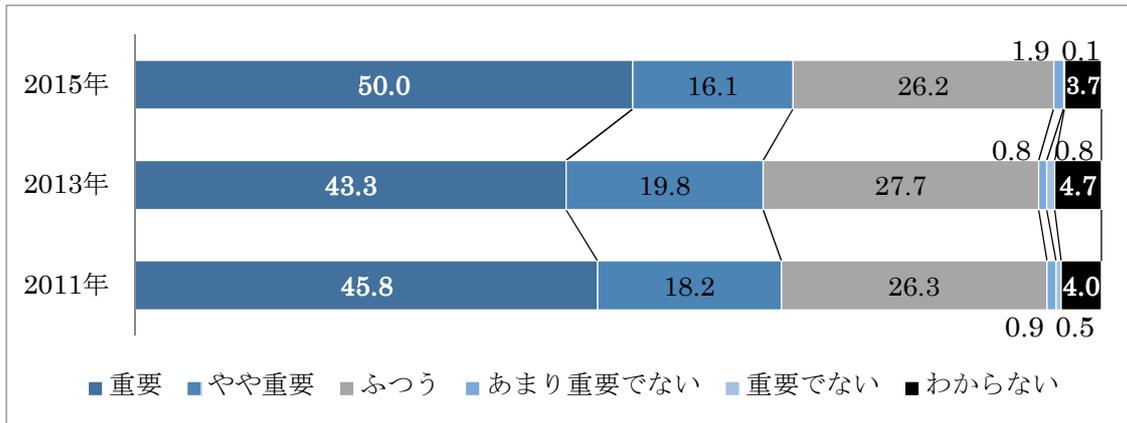
利便性の高いまちづくり

【問23】上・下水道の整備について伺います。

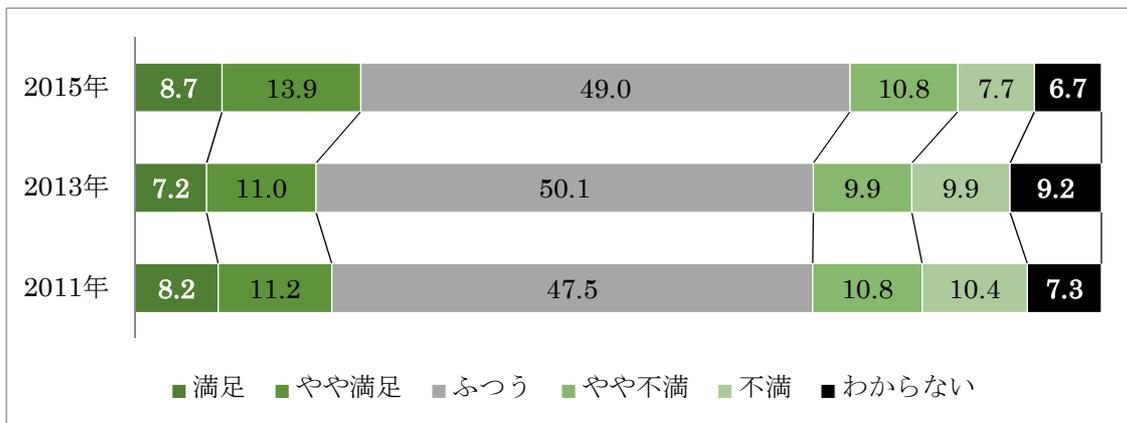
(例えば、こんな事業をしています。)

- 生活用水（飲料水等）の安定供給、河川・海浜等の公共用水域の水質保全
- 合併処理浄化槽・公共下水道等の整備促進 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



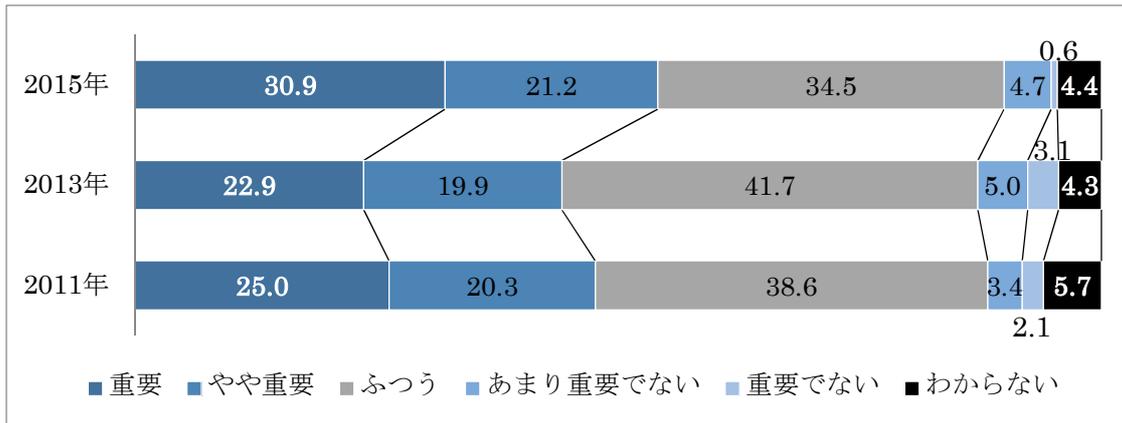
利便性の高いまちづくり

【問24】情報通信基盤の整備と活用について伺います。

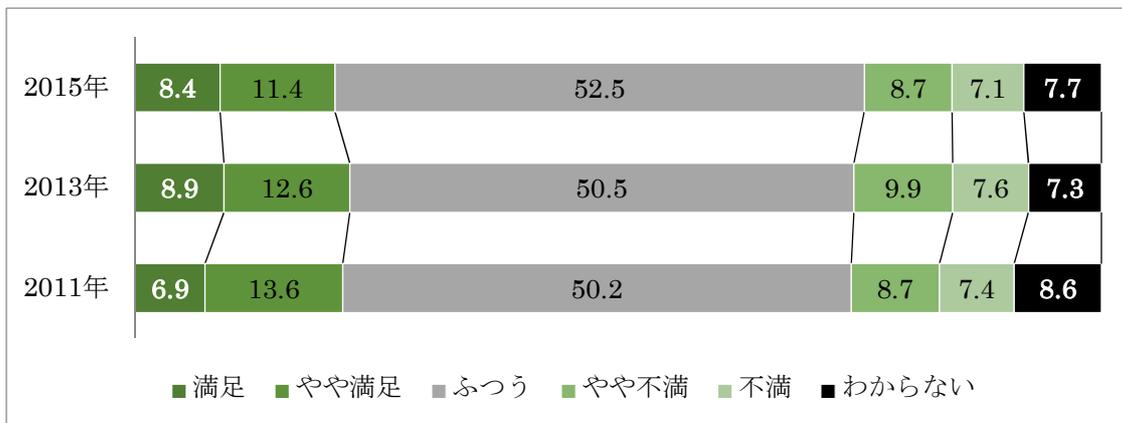
(例えば、こんな事業をしています。)

- ホームページ等による情報発信、インターネットでの公共施設予約
- ケーブルテレビの運営、放送内容の充実 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



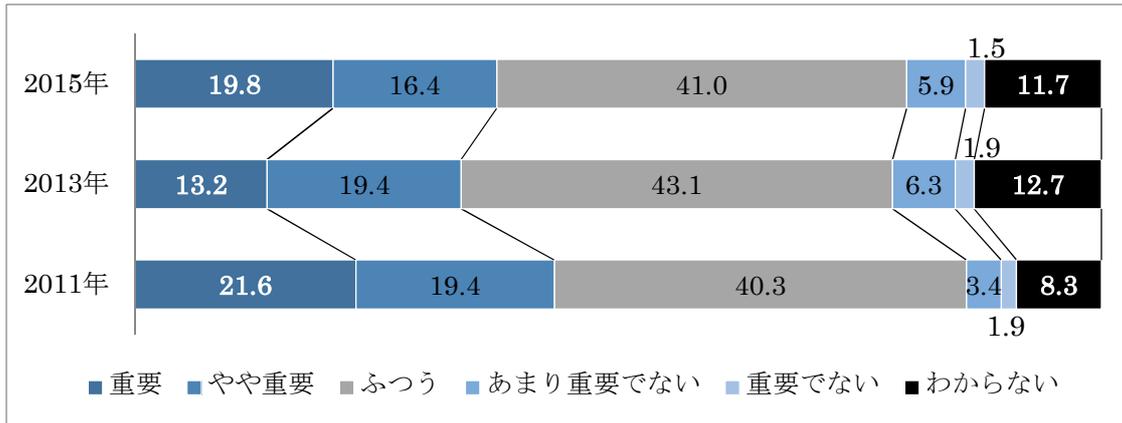
市民が主役のまちづくり

【問25】市民交流・都市間交流・国際交流の推進について伺います。

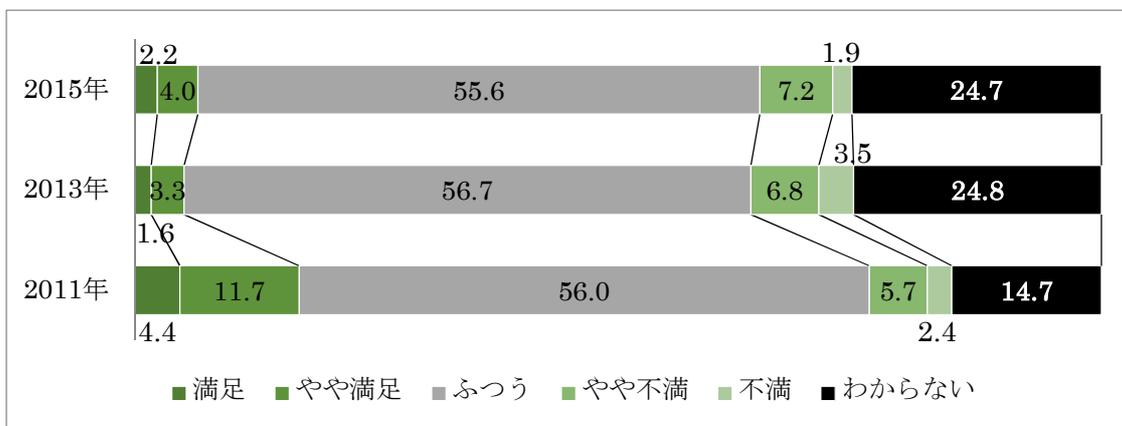
(例えば、こんな事業をしています。)

- グリーンツーリズムの推進、外国人旅行者等の受け入れ
- 地域資源、施設を活かした地域間交流の推進 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



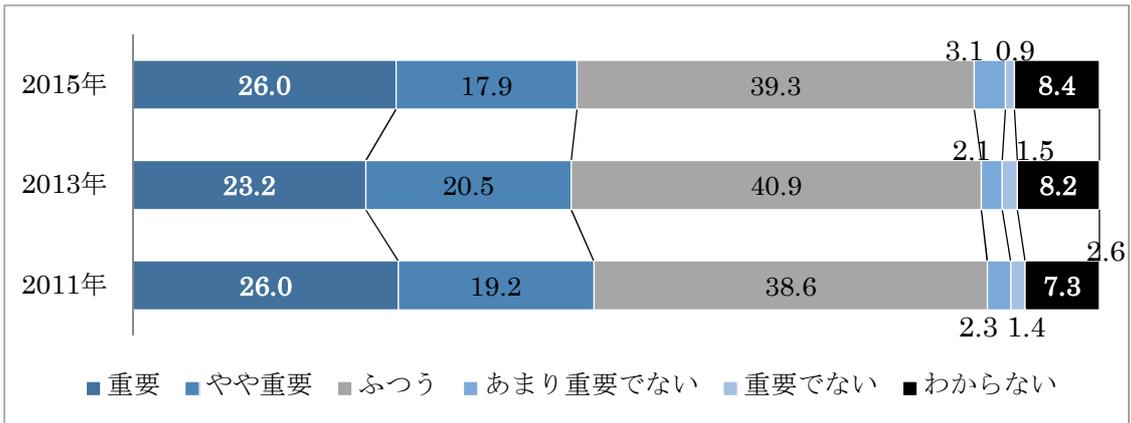
市民が主役のまちづくり

【問26】市民と行政の協働のまちづくりについて伺います。

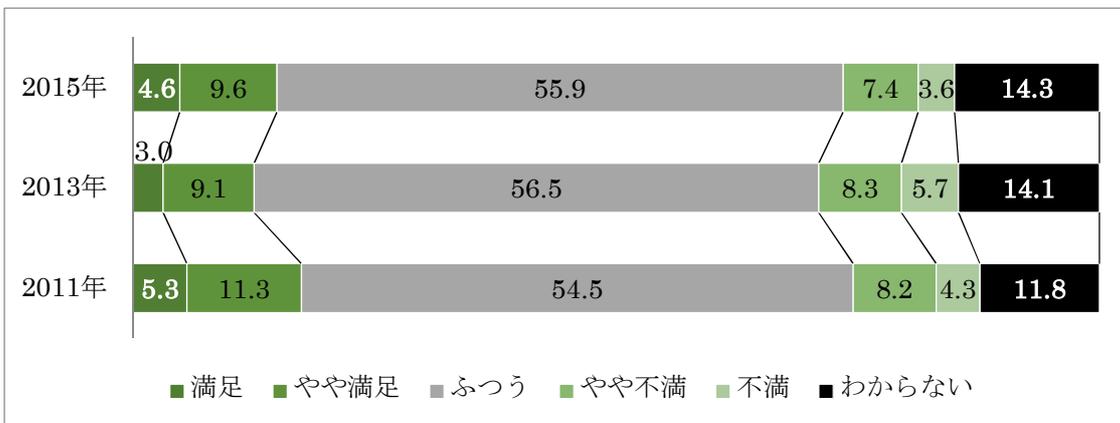
(例えば、こんな事業をしています。)

- 広報きつき・ホームページによる行政情報の提供
- 各地区住民自治協議会との連携強化、出前講座の実施 など

(重要度：単位%)



(満足度：単位%)



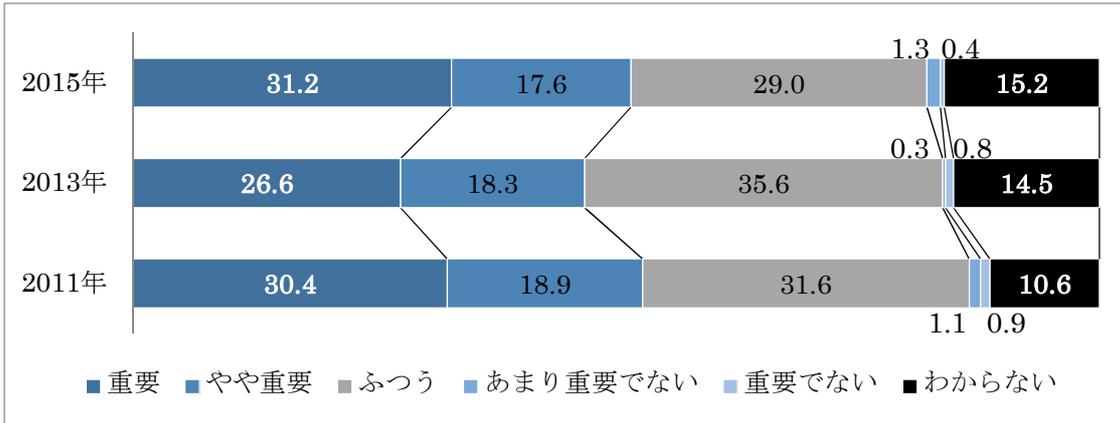
市民が主役のまちづくり

【問27】 地方分権時代に対応した行財政運営について伺います。

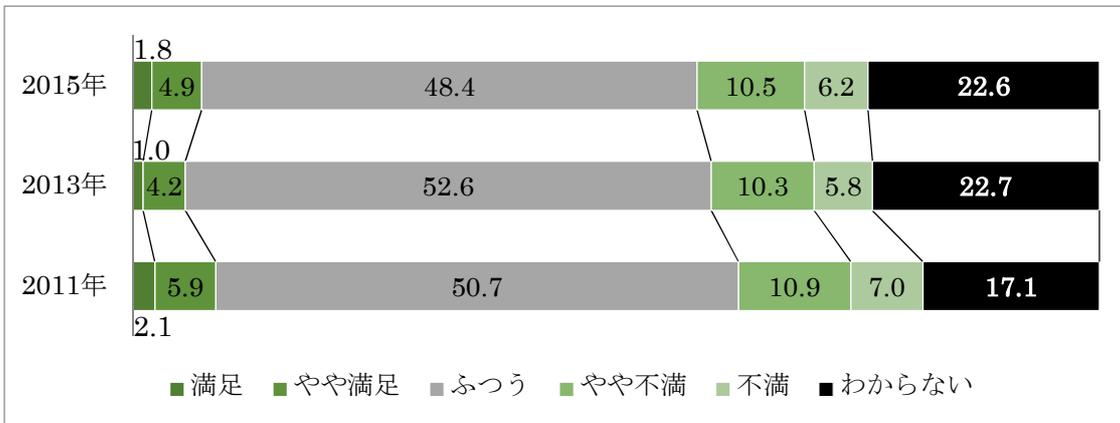
(例えば、こんな事業をしています。)

- 定員管理の適正化・業務の効率化の推進
- 市有財産の有効活用の推進、市税等の収納対策の強化 など

(重要度：単位%)

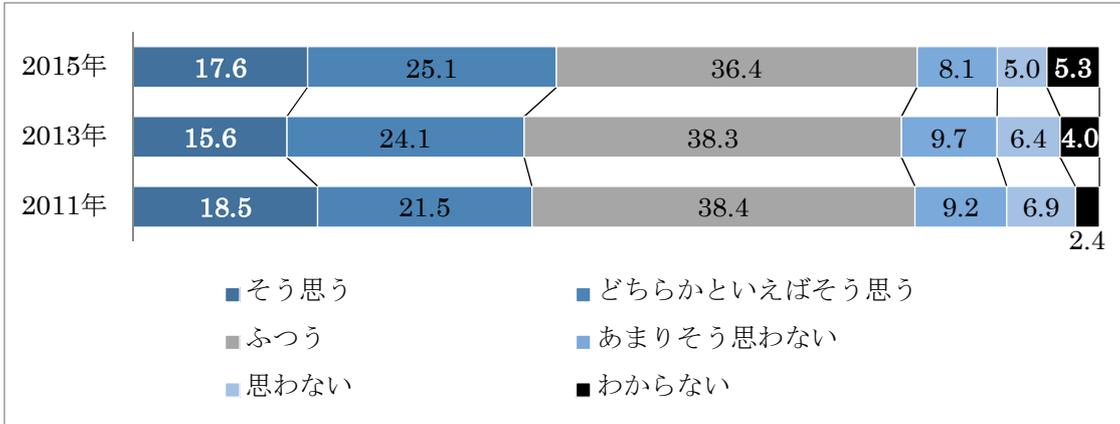


(満足度：単位%)



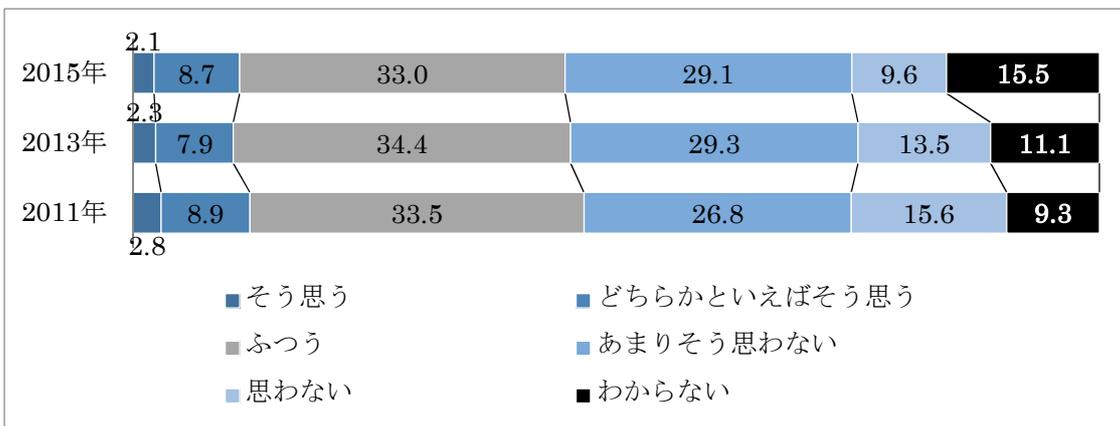
市役所事務のあり方について、お考えを伺います。

【問28】市職員の窓口や電話、訪問時の対応は、丁寧で分かりやすいと思いますか？
(単位%)



【問29】市民の意見は市政に活かされていると思いますか？

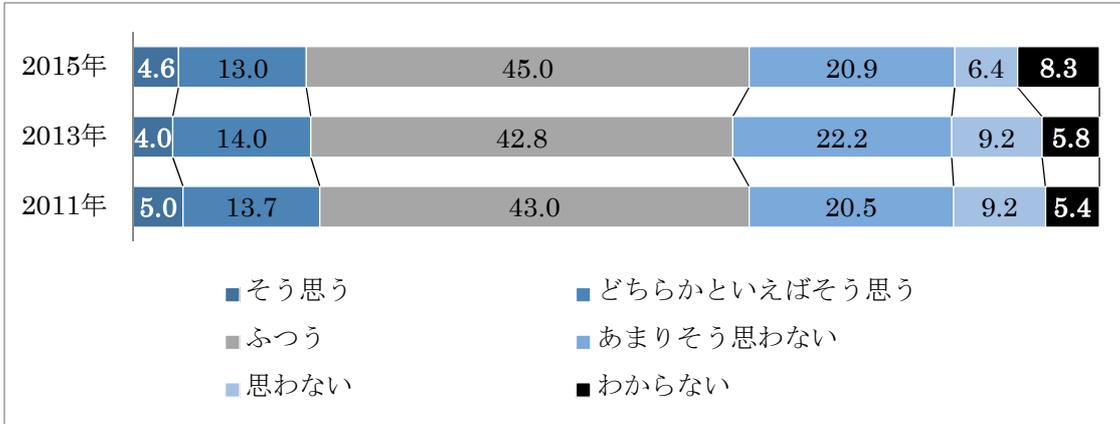
(単位%)



市役所事務のあり方について、お考えを伺います。

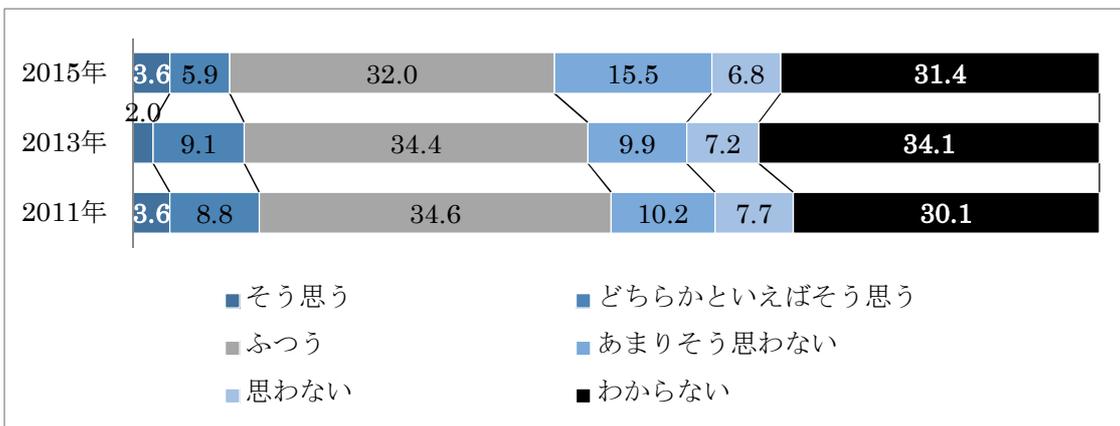
【問30】市民に役立つ情報が伝えられていると思いますか？

(単位%)



【問31】ホームページは利用しやすいと思いますか？

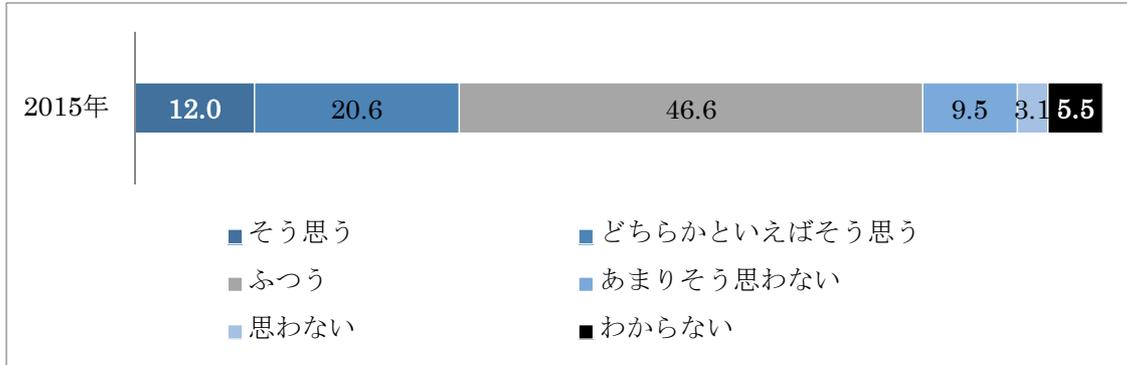
(単位%)



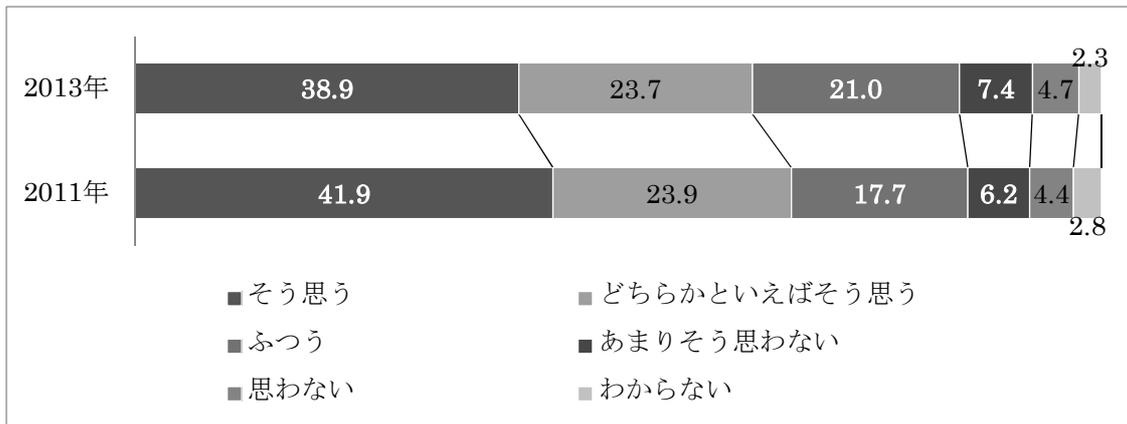
市役所事務のあり方について、お考えを伺います。

【問32】 広報きつき（市報）の内容は充実していると思いますか？

(単位%)



【参考：過去2回の設問と回答】 広報きつき（市報）は必要ですか？



第4章. 単純集計Ⅱ（生活、結婚・子育て等に関する意識調査）

1. 集計及び調査の意図

杵築市が今後進める地方創生関連の基礎資料となる市民意識を推察する。市民が、日ごろの暮らしの中で、何を重要視するか、結婚・子育ての意識がどうであるか、12項目について回答を求めた。

これらは、新設の調査項目である。人口流出や出生率の上昇には複合的な課題が指摘される中、その実態把握と、政策の優先順位検討のため、何が障害となっているか（市民が何を課題と感じているか）課題共有することをめざす。

2. 集計結果の概要

- ・市の広報媒体のうち、もっとも定期的に見たり聞いたりされているのは、広報誌（71.2%）。次いで区長便（55.3%）、ケーブルテレビ（43.9%）となった。
- ・ケーブルテレビのうち、もっとも観られている時間帯は18時～24時だった。
- ・日常使う情報収集やコミュニケーション手段として、FacebookやTwitterなどのSNSを利用している人の割合は、市民全体では19.8%だった。
- ・杵築市を「住みやすい・どちらかといえば住みやすい」と感じる人は、74.6%だった。
- ・普段の暮らしの中で、重要だと思われる上位5項目は次のとおり。

- (1) ①買い物が便利・・・・・・・・ 23.1%
- (2) ⑧医療機関が充実・・・・・・・・ 21.3%
- (3) ⑬まちが安心・安全・・・・・・・・ 17.5%
- (4) ⑪子育てがしやすい・・・・・・・・ 15.1%
- (5) ⑯雇用の場が多い・・・・・・・・ 14.5%

※なお、36.2%の人が1つの選択もない「未回答」だった。

- ・杵築市がどのようなまちだと思うか、同じ項目について「4段階」と「わからない」で評価を尋ねたところ、以下のような特徴があった。

●そう思う・どちらかといえばそう思うが半数を超えた項目

- ④近所づきあいがよい・・・・・・・・ 56.2%
- ⑫自然環境に恵まれている・・・・ 79.7%
- ⑬まちが安心・安全である・・・・ 66.8%
- ⑭まちのイメージが良い・・・・・・ 58.0%

●そうは思わない・どちらかといえばそう思わないが半数を超えた項目

- ②通勤・通学が便利・・・・・・・・ 56.2%
- ③公共交通が便利・・・・・・・・・・ 68.2%
- ⑤物価が安い・・・・・・・・・・・・・・ 51.4%

⑧医療機関が充実している・・・ 56.9%

⑩雇用の場が多い・・・・・・・・ 71.3%

●評価が同程度に分かれた項目（思う：思わない）

①買い物が便利・・・・・・・・ （47.7：44.8）

⑦住宅条件が良い・・・・・・・・ （37.4：39.5）

⑨福祉が充実している・・・・ （38.3：38.7）

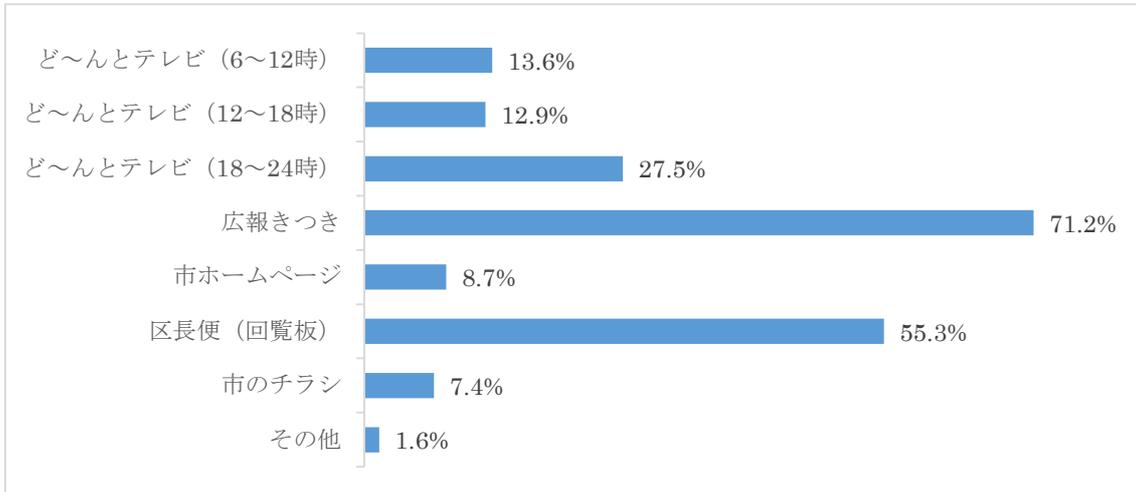
⑮生活道路や公園美化など生活環境が良い・・・・ （41.4：43.0）

- ・未婚者の約49%が「早めに、または時期にとられないが」結婚したいと回答したのに対し、約33%の人が結婚を「まだ考えていない・したくない」と回答した。
- ・現在、何人の子どもがいるかを尋ねたところ、平均で「1.7人」だった。なお、1人以上子どもがいる人の平均値は「2.2人」となった。
- ・理想として何人の子どもが欲しいか（欲しいと思っていたか）を尋ねたところ、平均で「2.6人」となった。男女差は見られなかった。
- ・今回の調査において、【理想とする子どもの人数】－【現在の子どもの人数】を調べたところ、45.6%の人が「0人（理想どおりの子どもの数）」となった。一方で、「差が1人以上」の人が41.0%おり、その差の平均は「1.72人」だった。子どもを持ちたいと考える人の多くが、さらに2人近くの子どもの望んでいることが伺える。
- ・出産や子育ての不安について、4人に1人以上の人が「仕事と子育ての両立が難しい」、「大学教育に対する教育費にお金がかかる」をあげている。
- ・晩婚化や未婚化の原因について尋ねたところ、「家庭を持つ経済力がない」をあげる人がもっとも多かった（40.5%）。次いで「独身の方が自由で気楽」、「結婚することや、しないことに世間のこだわりが少なくなった（世間体の薄れ）」となった。
- ・結婚や子育てに対して、特に必要な対策を尋ねたところ、「子育てにかかる経済的負担の軽減」をあげる人がもっとも多かった（49.1%）。次いで「仕事と家庭生活の両立支援」、「高校・大学教育費用の負担軽減」の順となった。

各設問と集計結果を次頁以降にまとめる。

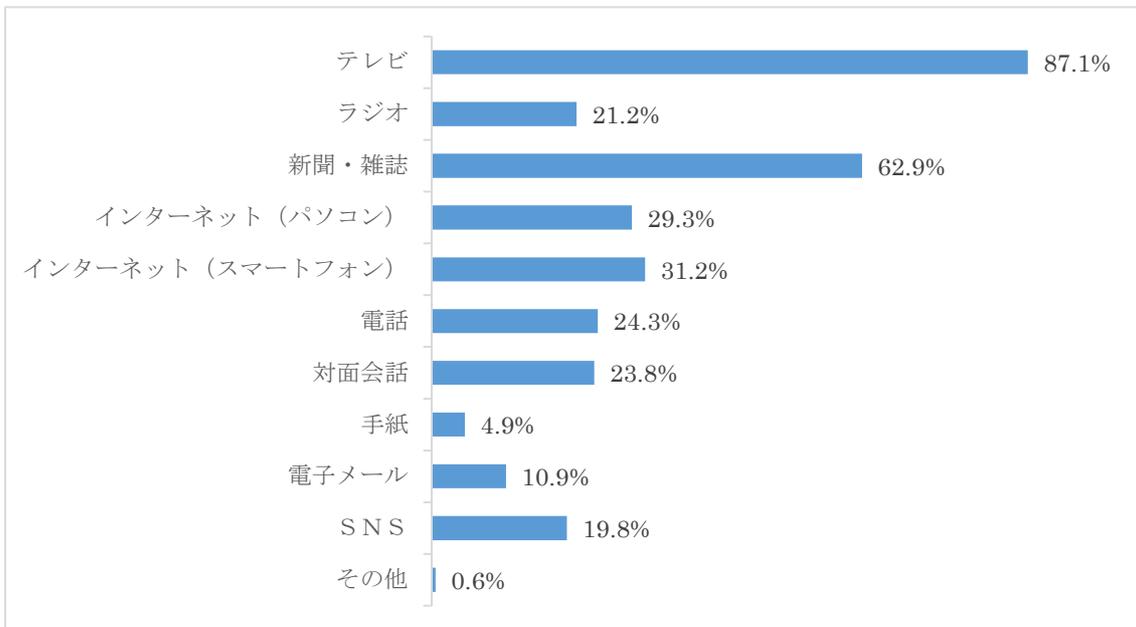
市役所の事務のあり方について、お考えを伺います。

【問33】 次の情報源のうち、定期的に見たり、聞いたりしているものについて、あてはまるものはどれですか。（複数選択式）



※市のチラシ：市の施設や市内店舗の広報スタンドに置いている市のチラシ

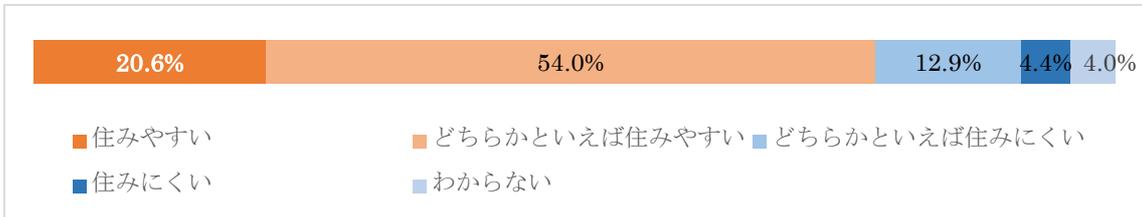
【問34】 日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法はどれですか。（複数選択式）



※SNS：Facebook、LINE、Twitter など

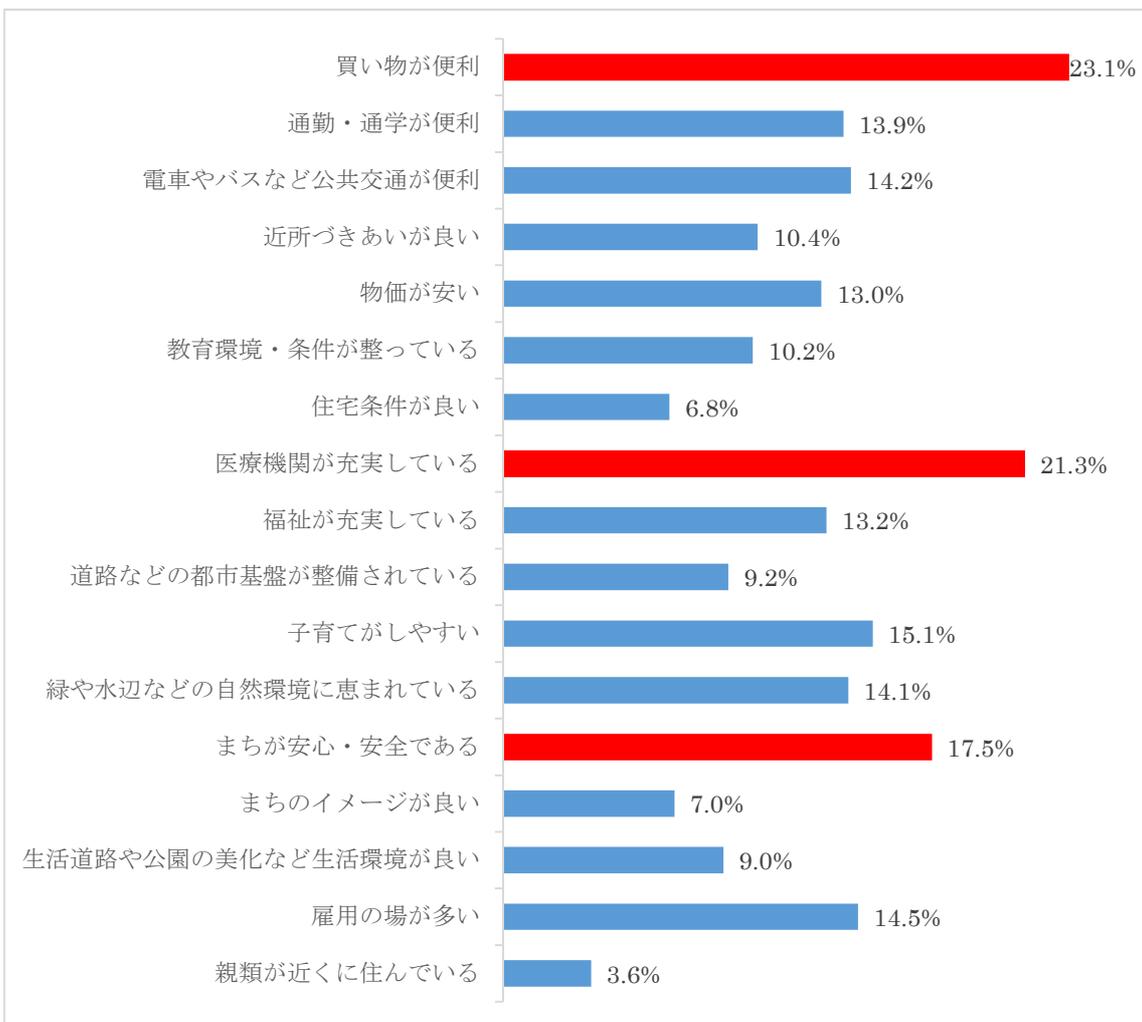
杵築市での生活について、お考えをお伺いします。

【問35】あなたは、杵築市の住みやすさについて、どう感じていますか。



【問36】日ごろの暮らしの中で、重要だと思うものはどれですか。（複数選択式）また、杵築市をどのようなまちと思いますか。

（重要だと思うもの）



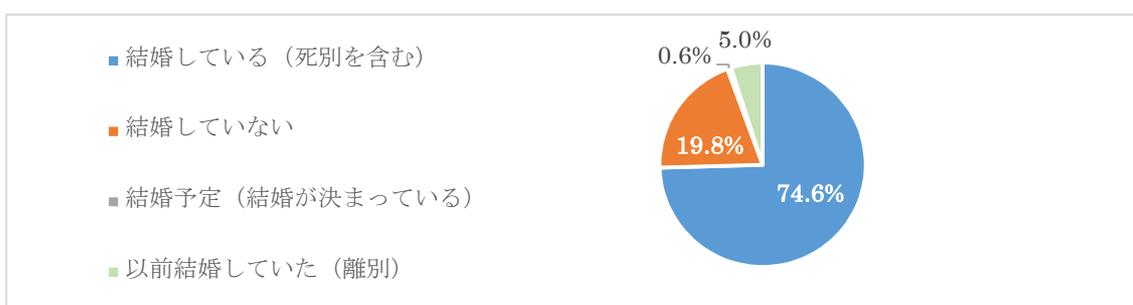
(杵築市をどのようなまちと思うか)

単位：%

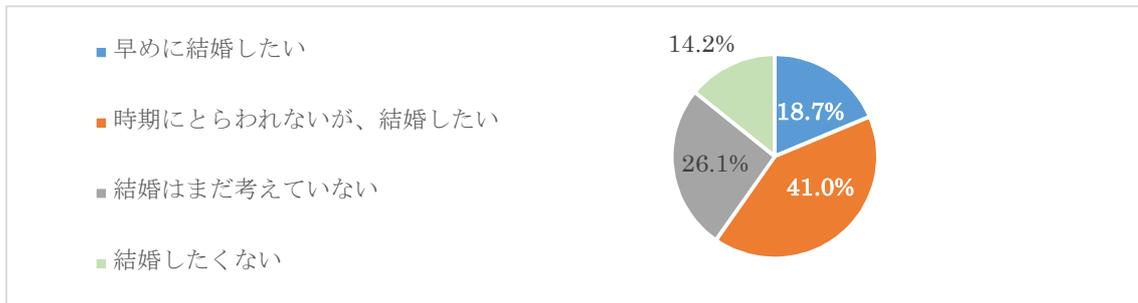
	そう思う	えげばそう思う どちらかとい	わな い あまりそう思	そう思わな い	わから ない
①買い物が便利	19.4	28.3	22.5	22.3	0.9
②通勤・通学が便利	9.6	18.2	27.5	28.7	6.7
③電車やバスなど公共交通が便利	6.5	12.1	25.9	42.3	3.7
④近所づきあいが良い	20.1	36.1	19.1	10.2	6.1
⑤物価が安い	9.0	26.6	30.0	21.4	6.1
⑥教育環境・条件が整っている	6.7	28.0	25.9	16.7	12.1
⑦住宅条件が良い	9.3	28.1	24.1	15.4	13.3
⑧医療機関が充実している	9.6	23.7	32.8	24.1	3.0
⑨福祉が充実している	7.2	31.1	26.0	12.7	15.1
⑩道路などの都市基盤が整備されている	5.3	28.4	31.5	18.2	7.7
⑪子育てがしやすい	10.1	30.3	20.6	7.5	21.2
⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている	36.2	43.5	6.8	4.0	2.4
⑬まちが安心・安全である	19.8	46.0	15.7	6.7	4.0
⑭まちのイメージが良い	15.1	42.9	19.2	7.5	6.4
⑮生活道路や公園の美化など生活環境が良い	7.8	33.6	28.4	14.6	7.0
⑯雇用の場が多い	3.1	3.8	25.1	46.2	13.6
⑰親類が近くに住んでいる	26.6	24.7	10.4	18.3	5.2

結婚・子育てについて、お考えを伺います。

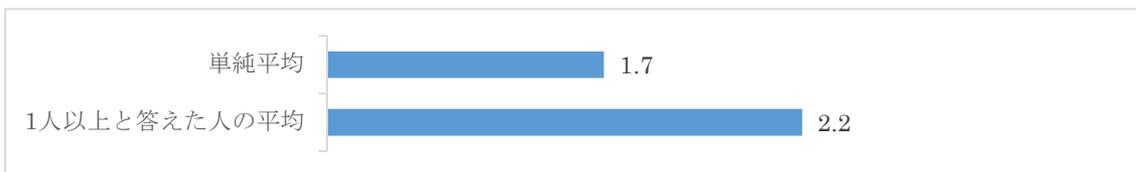
【問37】あなたは「結婚」していますか。



【問38】未婚者の方にお伺いします。「結婚」について、あなたのお気持ちをお聞かせください。



【問39】あなたのお子さんは、現在何人ですか。



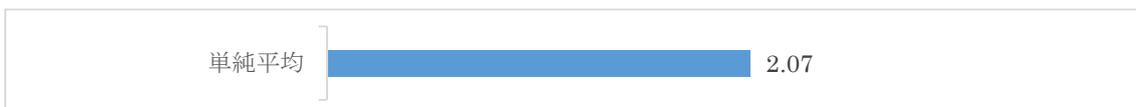
※空欄（無回答）を除き、「0人」と答えた人は113人（16.7%）だった。

【問40】あなたの理想としては何人の子どもがほしいと思いますか。（思いましたか）

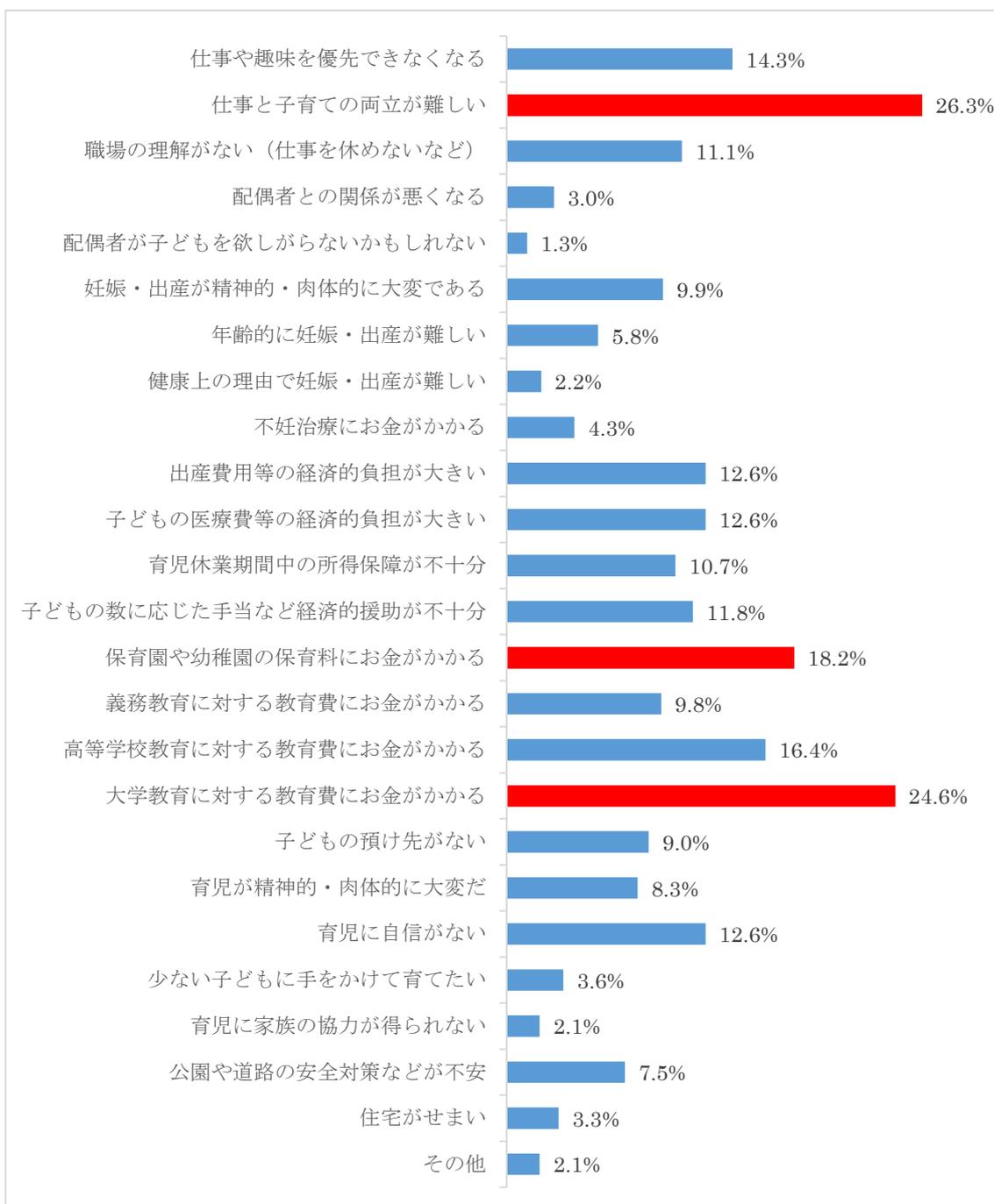


※空欄（無回答）を除き、「0人」と答えた人は19人（2.8%）だった。

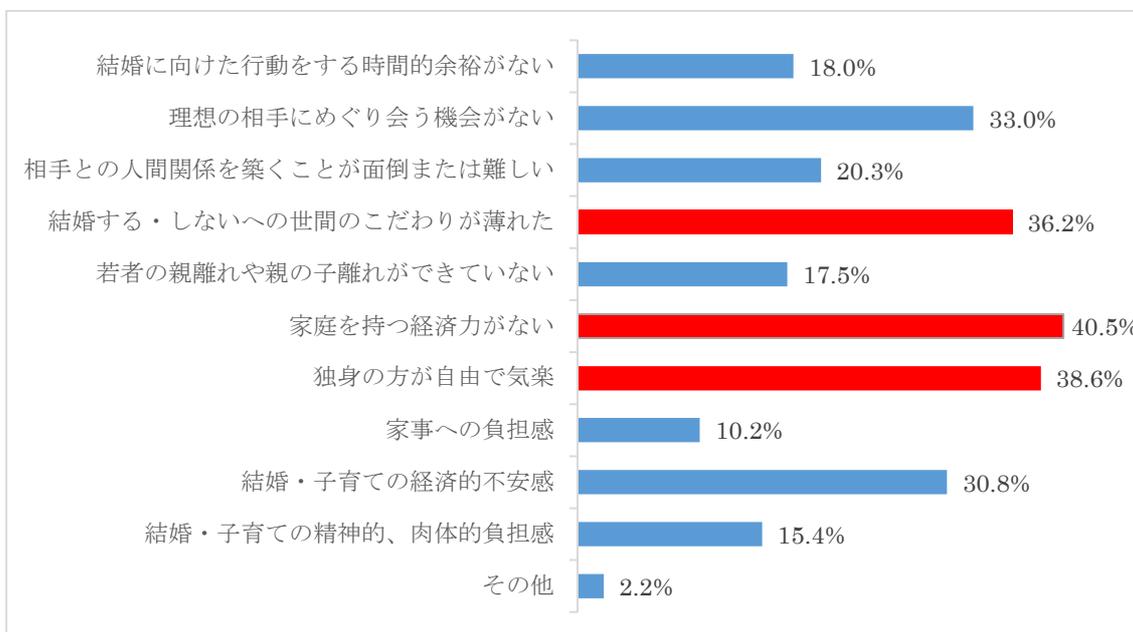
【問41】理想とは別に、実際に持つつもりの子どもの何人ですか。



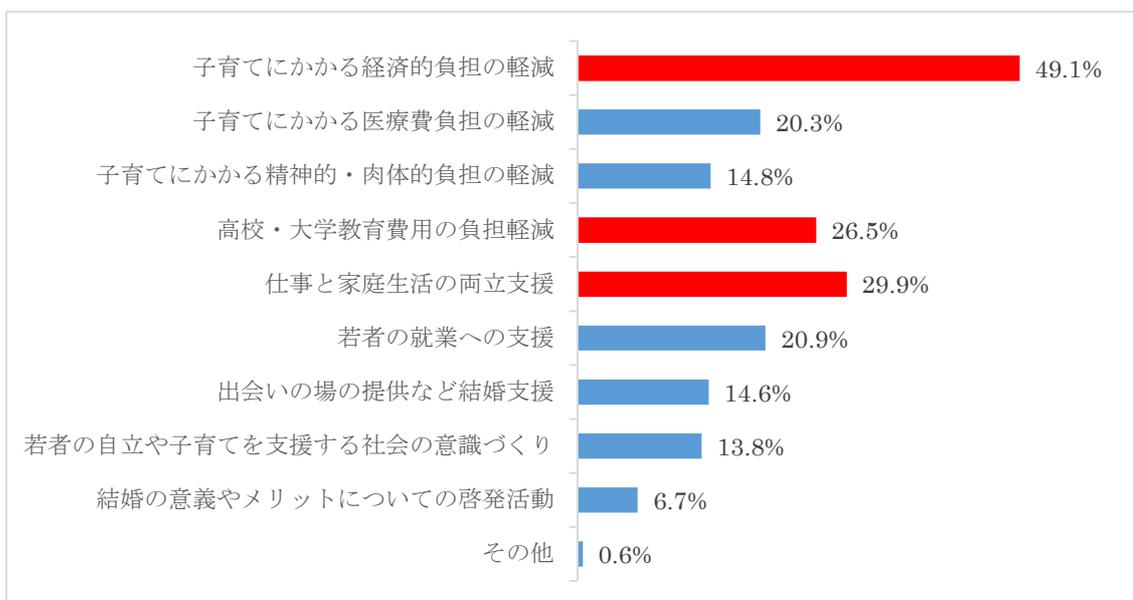
【問42】出産及び子育てに関する懸念や不安があれば教えてください。(複数選択式)



【問43】晩婚化や未婚化が進んでいるといわれる中で、それらの主な原因は何だと思
いますか。（複数選択式）



【問44】結婚や子育てを考えると、特に必要な対策は何だと思
いますか。（3つを
選択）



第5章. クロス集計とその特徴

1. クロス集計の意図

回収票の各属性についてクロス集計を行い、その特徴を分析する。属性間の関連性や差異の把握をし、的確なアプローチと、課題の共有をめざす。

2. クロス集計の属性設定

- (1) 性別による差異：男性／女性
- (2) 年齢による差異：15～49 歳までの人／50～79 歳までの人
- (3) 住所地による差異：杵築地域在住者／山香・大田地域在住者
- (4) 出身地による差異：生まれてからずっと住み続けている人／進学や就職で一度転出し、再び戻ってきた人／転入してきた人

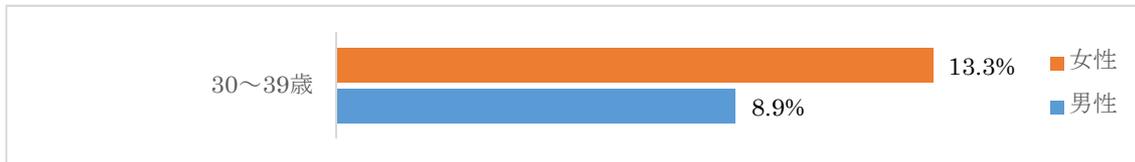
集計の特徴的部分について、次頁以降にまとめる。

(1) 性別による差異

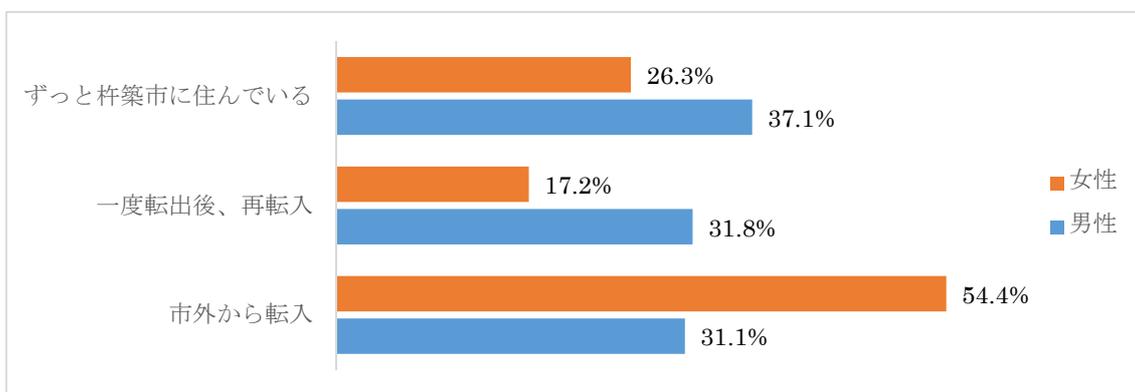
男性：280票、女性：338票

【項目1】属性における特徴

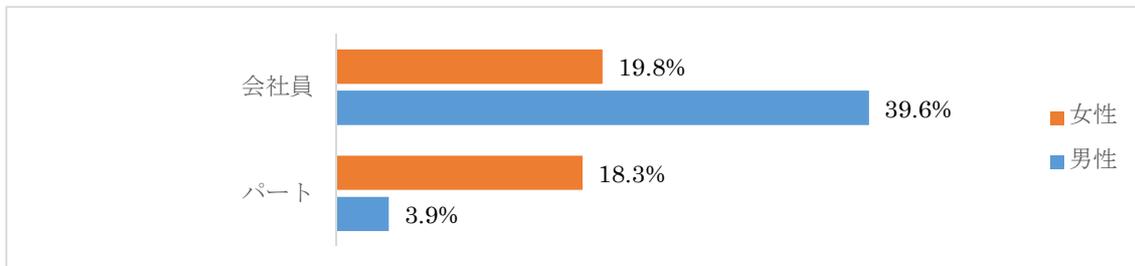
(年齢)



(出身)



(職業)

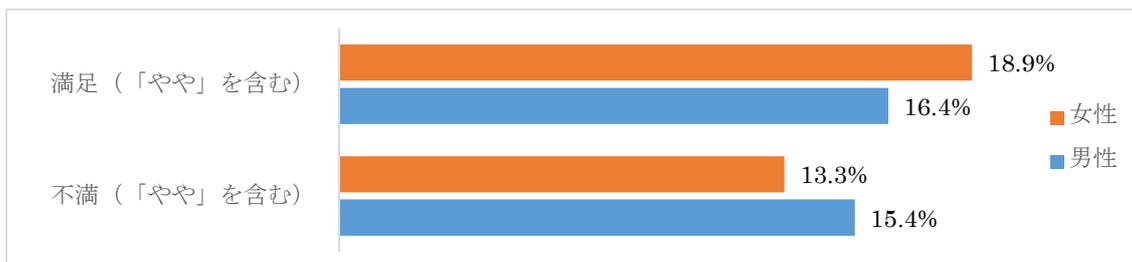


- ・ 今回のアンケート調査では、30代男性の回答率が低かった。
- ・ 出身型を見ると、男性はおおむね均等割合だったのに対し、女性は転入者（市外出身者）が半数を超えた。杵築市から一度転出した女性は戻って来にくい傾向があるのかもしれない。
- ・ 職業では、男性に比べ女性は、「会社員」の割合が少なく、「パート」が多い。

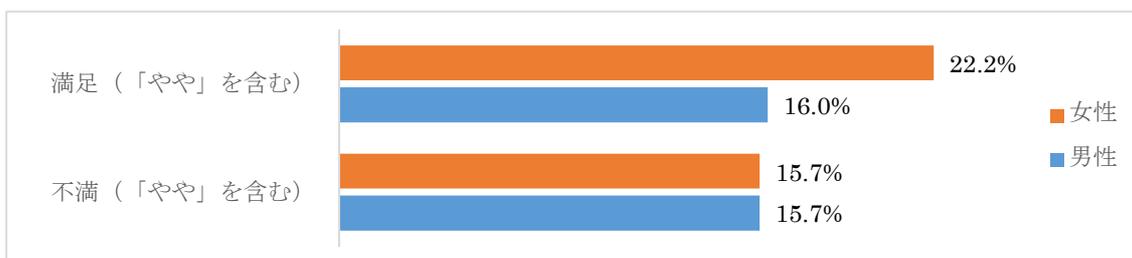
【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・女性は「わからない」を選択する割合が男性の2～3倍高く、「ふつう」を選択する割合が低い。女性に対して市政情報が伝わっていないおそれがある。
- ・女性は、男性に比べて「満足・やや満足」の割合が高い。
- ・男女とも、重要度が高い項目は重なる傾向にあった。

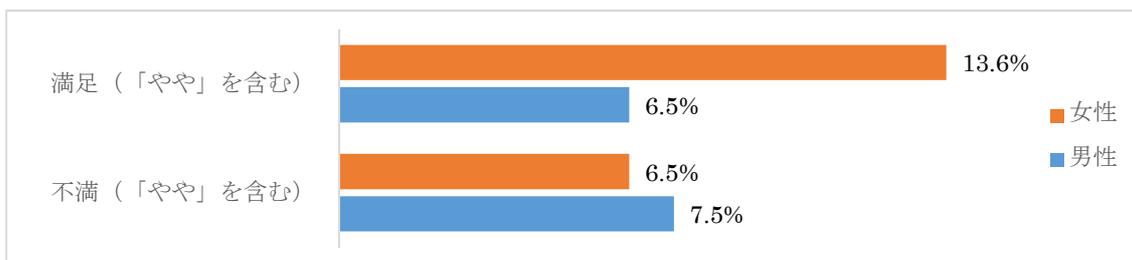
(問4：福祉の充実に関する満足度)



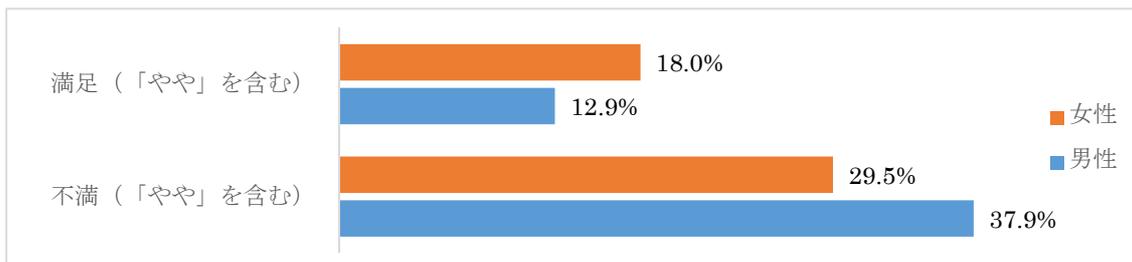
(問17：子育て支援の充実に関する満足度)



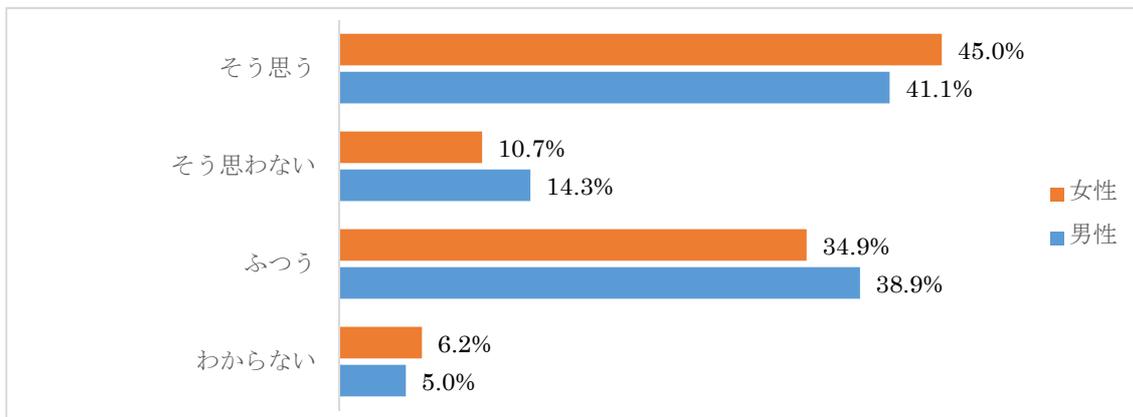
(問20：人権が尊重されるまちづくりに関する満足度)



(問21：道路網の整備に関する満足度)

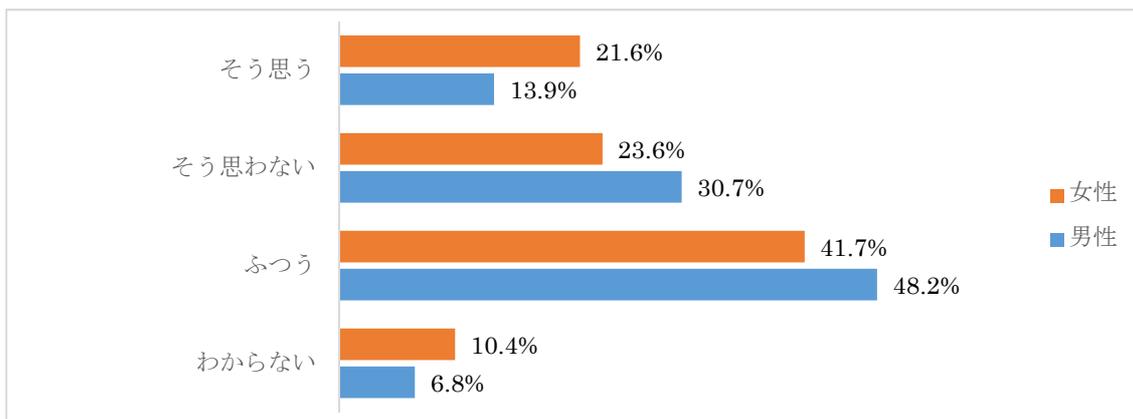


(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



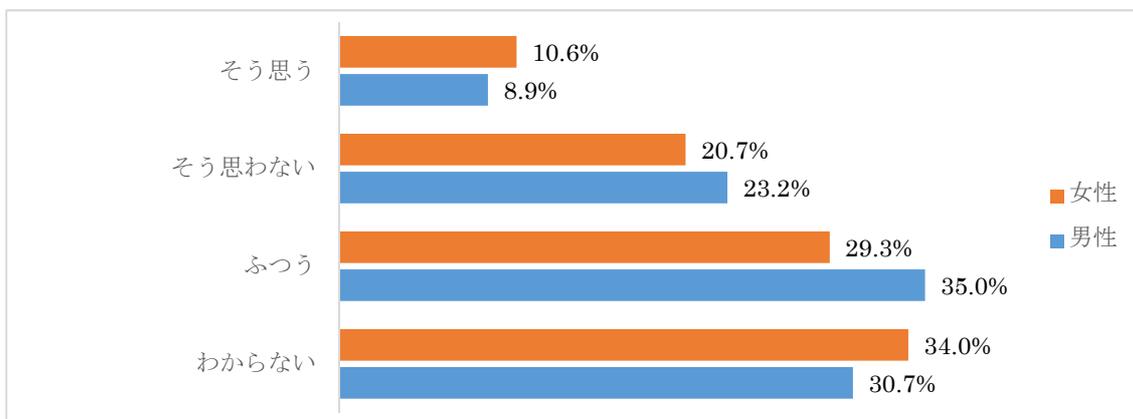
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



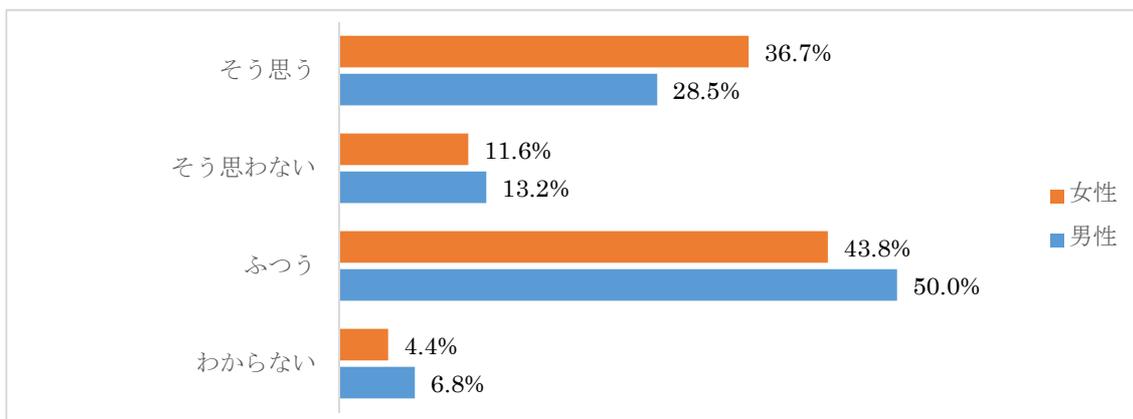
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)

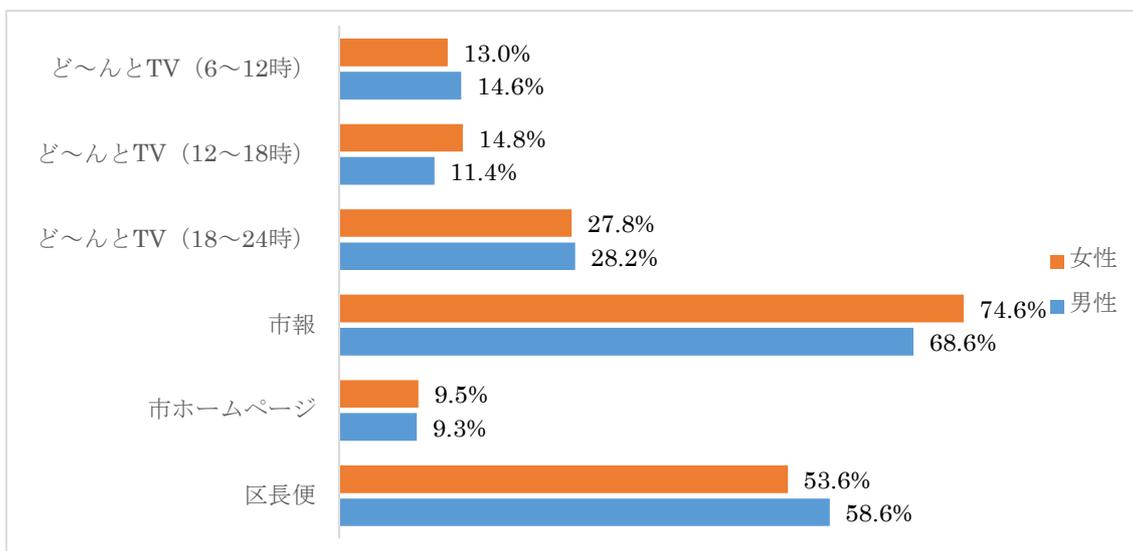


※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

- ・ 職員の対応等、市役所事務について、「女性」の方が、満足度が高い傾向にある。
- ・ 特に「市民に役立つ情報が伝えられているか」、「広報きつきの内容は充実しているか」では、女性の満足度が高い傾向が顕著だった。
- ・ 市ホームページについて、性差はほとんどなかった。

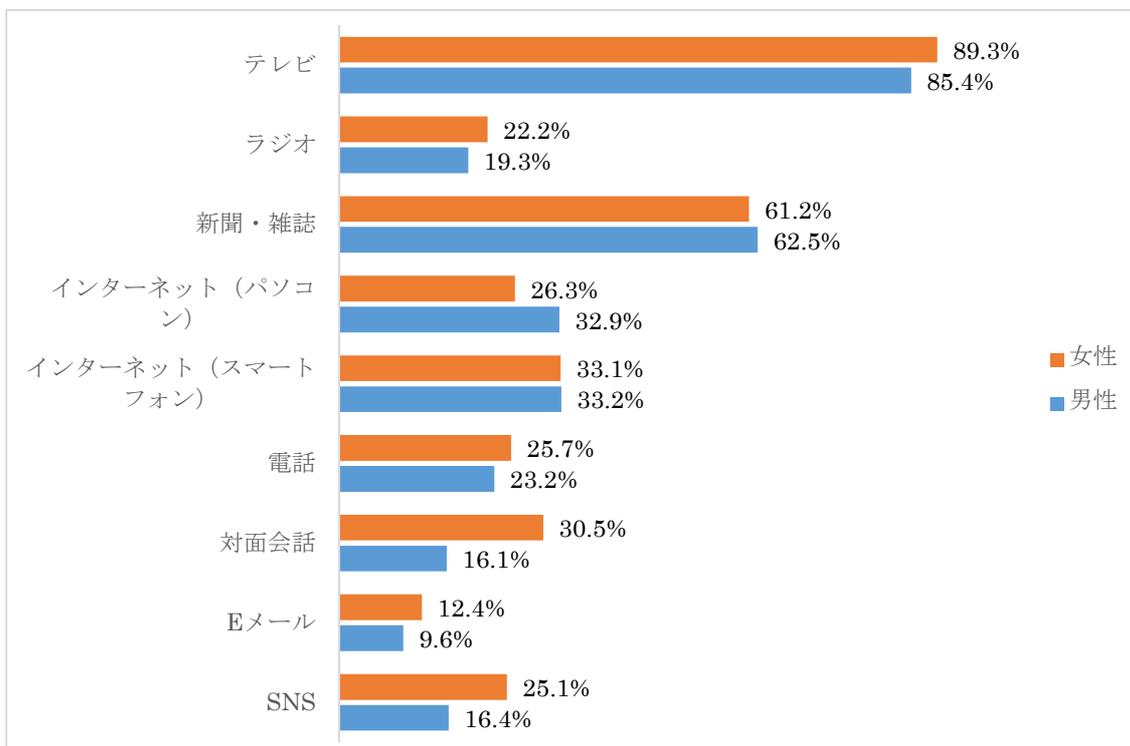
【項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴

(問 33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)



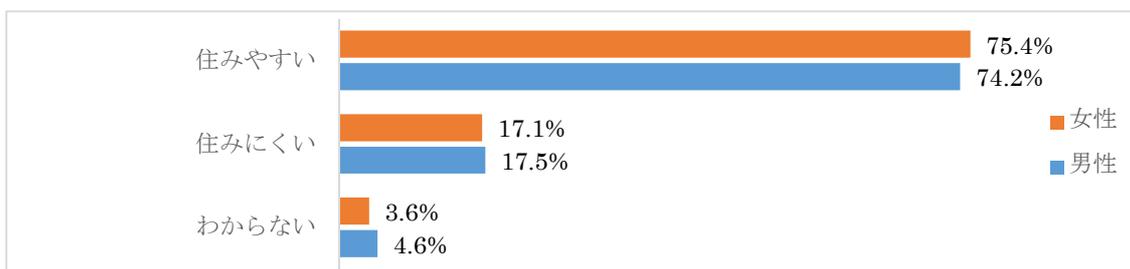
- ・ 女性の方が、定期的にご利用する情報源として、市報を利用する割合が高い。

(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



- ・インターネットの接続について、「スマートフォンから」に性差はなかったものの、「パソコンから」は、男性の方が多かった。
- ・対面会話は約 2 倍近い性差が表れた。女性は、日常の情報収集やコミュニケーション方法として男性より「会話」を行う率が高い。
- ・SNS の利用率も、女性の方が高かった。

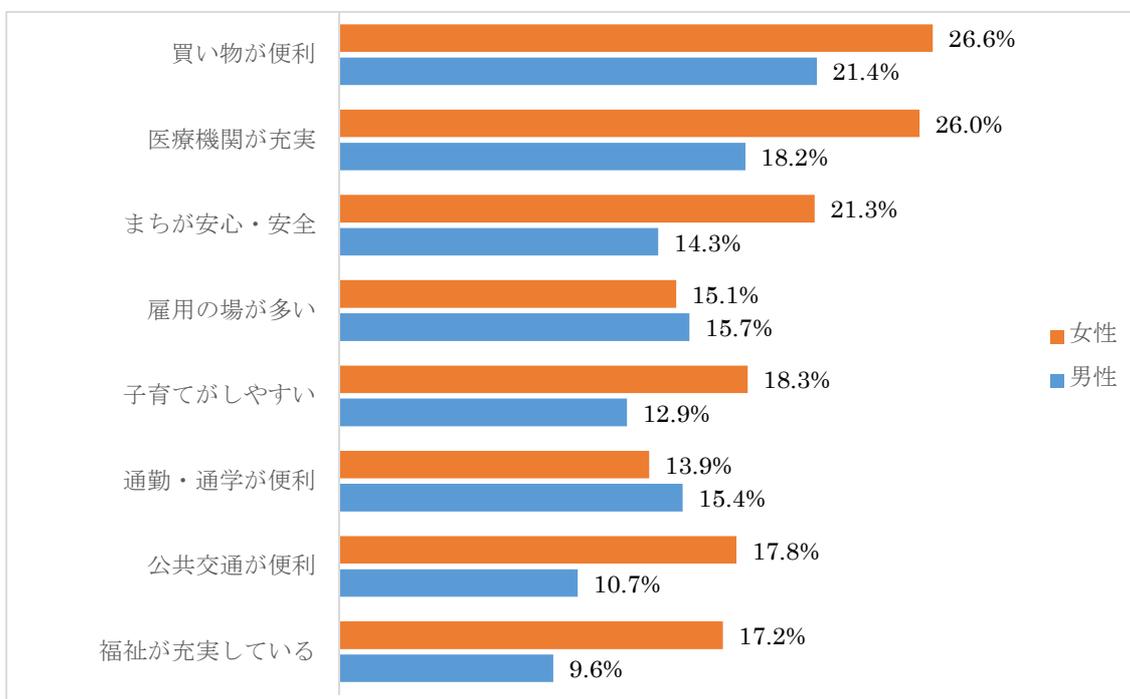
(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)



- ・住みやすさについて、特に大きな性差はみられなかった。
- ※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

※上位 5 項目 (2 位まで同じ項目となった) と特徴のある項目を抜粋。



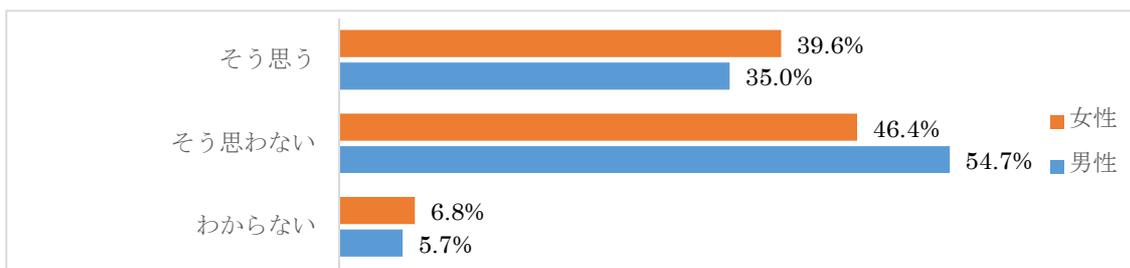
- ・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」の順だった。
- ・3位は、男性「⑩雇用の場が多い」だったのに対し、女性「⑬まちが安心・安全であること」だった。同様に4位は、男性「③通勤・通学が便利」に対し、女性「⑪子育てがしやすい」だった。
- ・全体的に、男性は、女性に比べ重要視するという回答が少ない傾向がみられた。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

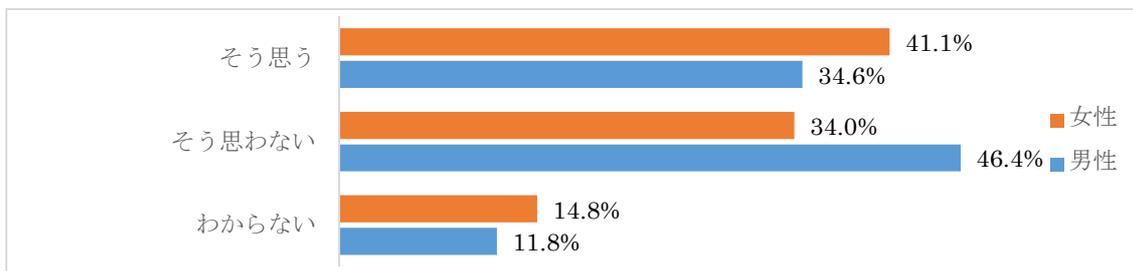
※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう思わないか」を調査。全 17 項目のうち、特徴的な 6 項目を以下に示す。

※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

【⑤物価が安い】

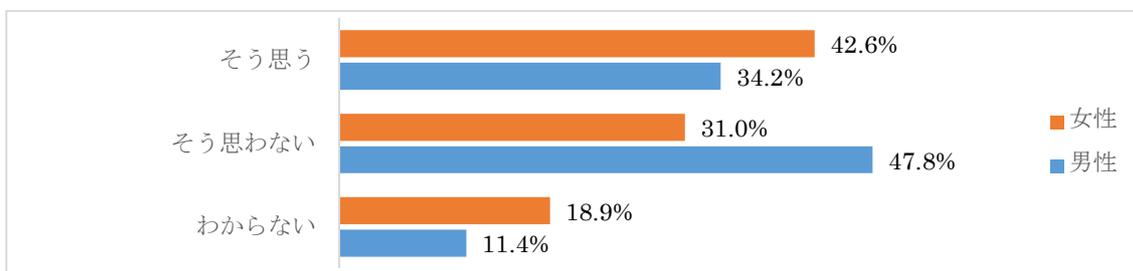


【⑦住宅条件が良い】

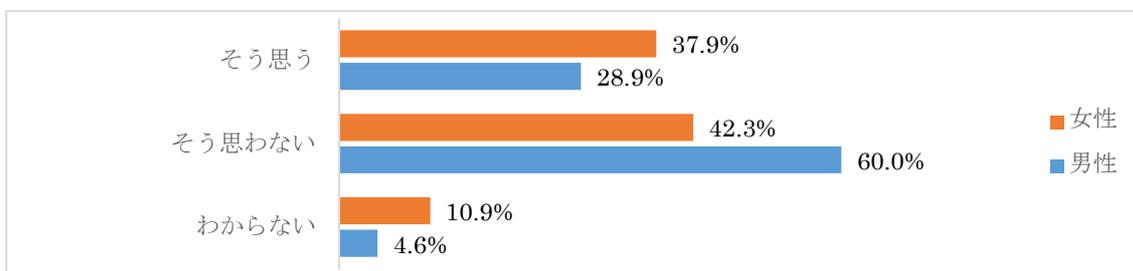


・女性より、男性の方が、杵築市は物価が高い、住宅条件が悪いと感じている。

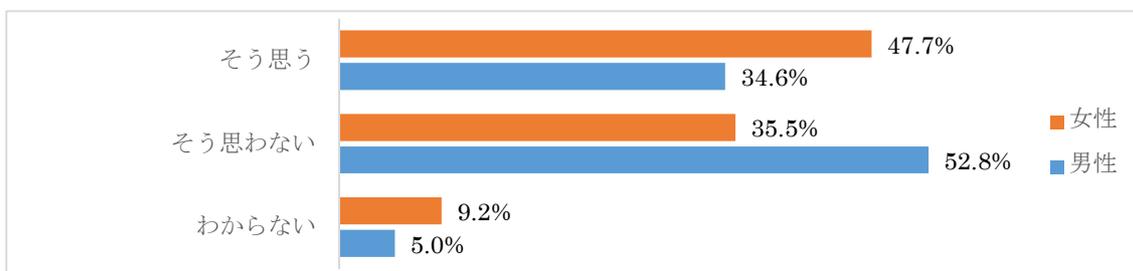
【⑨福祉が充実】



【⑩道路などの都市基盤が充実】

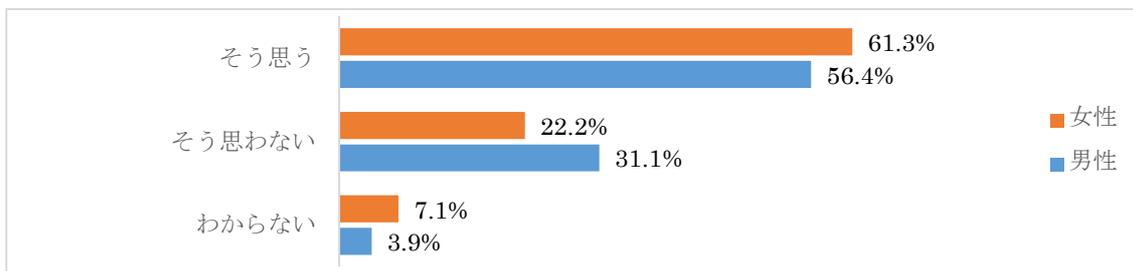


【⑮生活道路や公園など生活環境が良い】



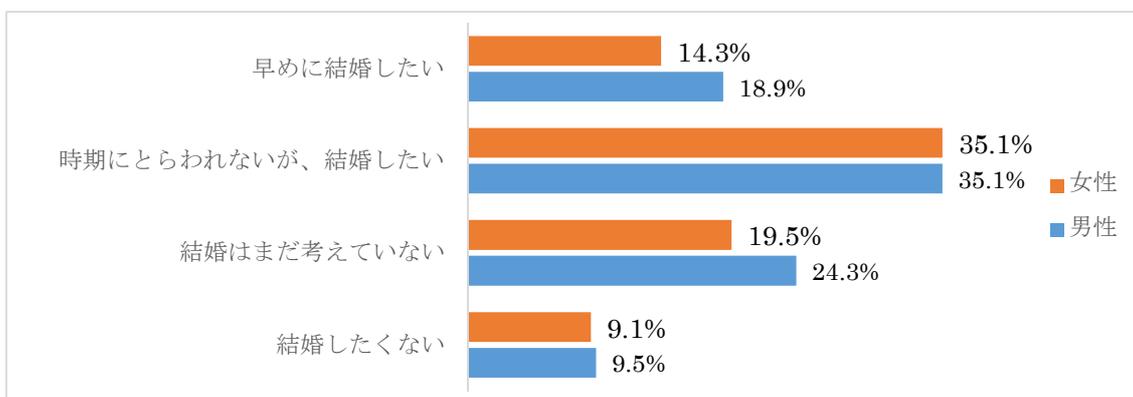
・女性より、男性の方が、福祉が充実していないと感じている。また、男性は道路や公園など、都市基盤や生活環境等、インフラ整備に不満を感じている。

【⑭まちのイメージが良い】



・男性より、女性の方が、杵築市は「まちのイメージが良い」と感じている。

(問 38：未婚者の「結婚」への意識調査)



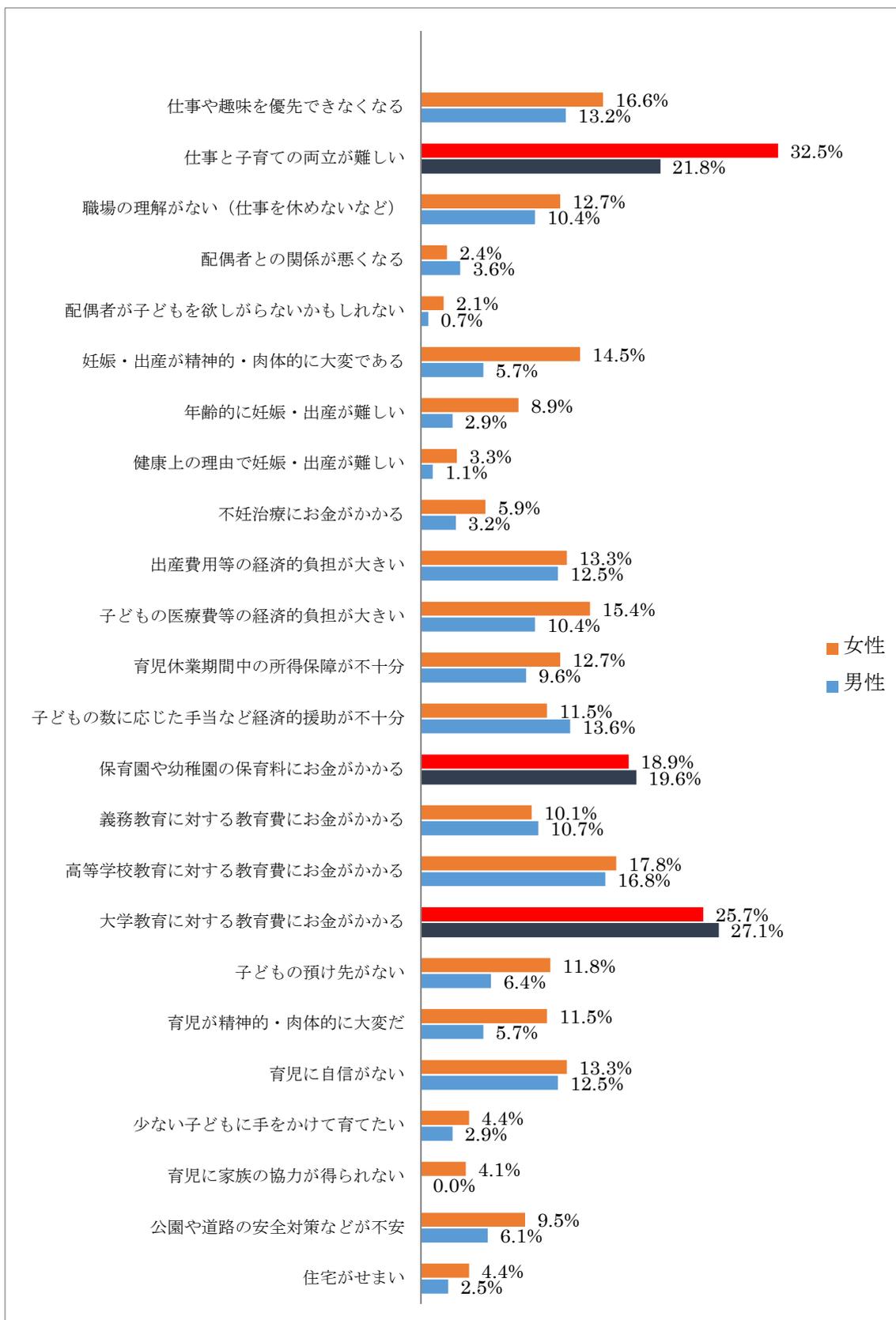
n = (男性 74 / 女性 77)

・「早めに結婚したい」、「まだ考えていない」において、若干男性の割合が高いが、大きな性差はみられなかった。

(問 39～41：現在の子どもの数、理想とする子どもの数、持つ予定の子どもの数)

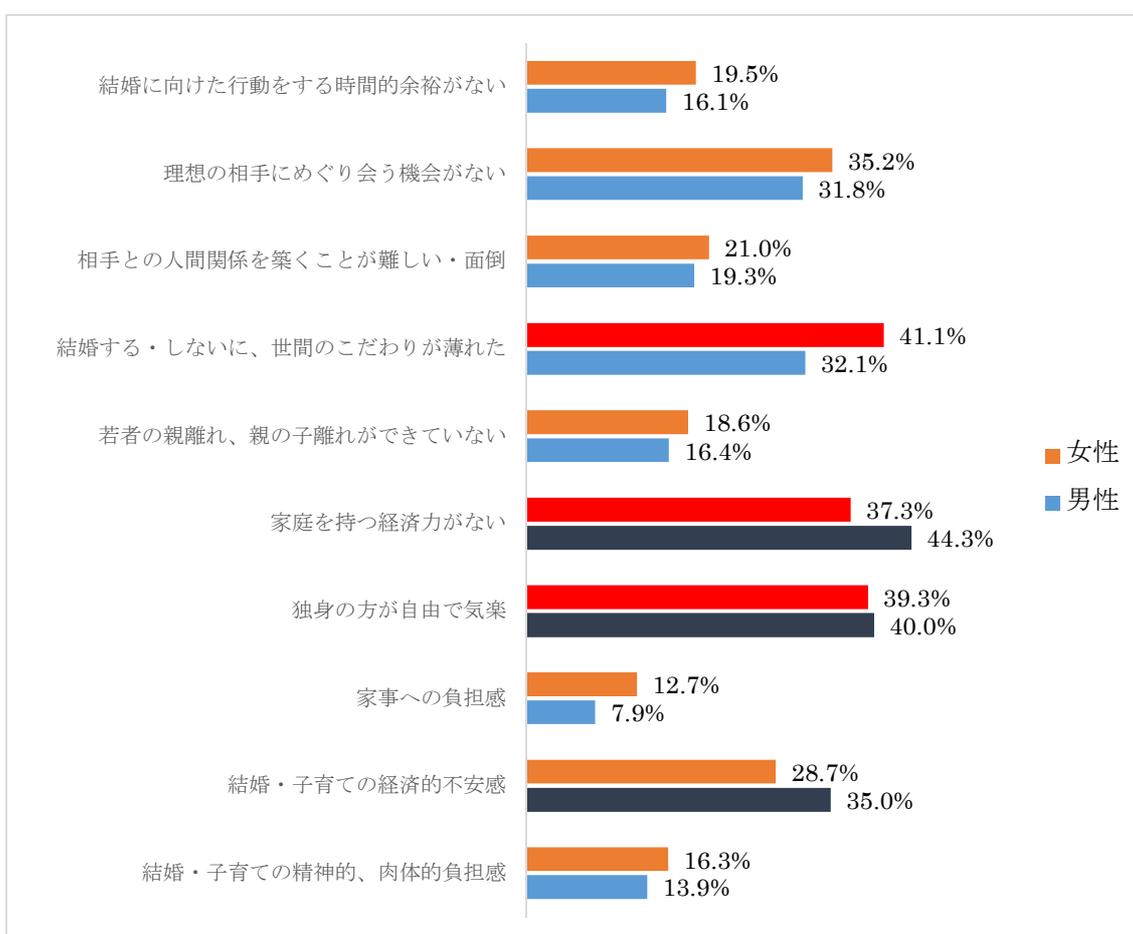
・これらの問について、大きな性差はみられなかった。

(問 42：出産・子育てに関する懸念や不安)



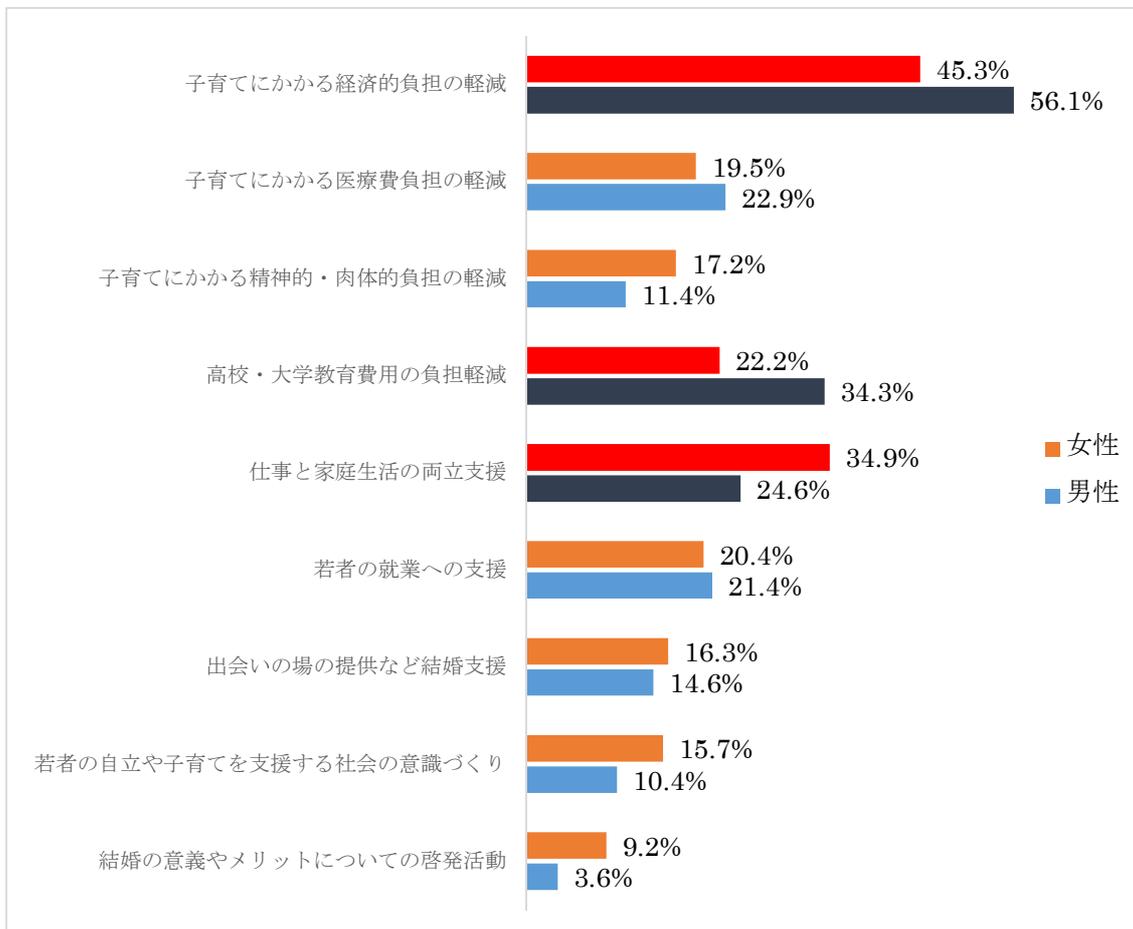
- ・ほとんどの項目で不安を感じる女性の方が、男性より多かった。
- ・「仕事との両立」は男女とも高い項目だったが、男性は 22%だったのに対し、女性は 33%の人が不安視している。
- ・育児に自信がないと答える男女差はなかったのに対し、育児が大変だと答えた女性（11.5%）の方が、男性（5.7%）より明らかに多かった。
- ・男女とも、保育料と大学教育費への懸念が高かった。

（問 43：晩婚化・未婚化の原因は何だと思うか）



- ・男女とも、「独身の方が自由で気楽」と答える割合が高かった。
- ・男女とも、経済的不安を感じており、男性の割合が若干高い傾向にあった。
- ・結婚することへの世間体の薄れをあげる人の割合も高く、女性の方が若干高い傾向にあった。

(問 44：結婚・子育てに求める対策等)



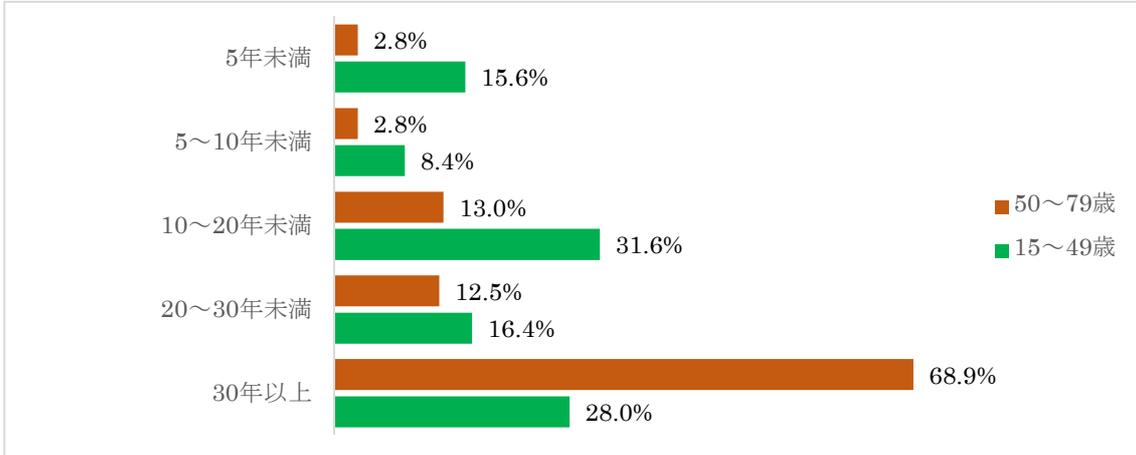
- ・男女とも経済的不安の解消（高校・大学にかかる費用）、仕事との両立を求める声が多かった。
- ・「仕事との両立」の不安解消を求める女性の割合が高い一方で、経済的不安解消を求める男性の割合が高い。

(2) 年齢（15～49歳と50～79歳）の差異

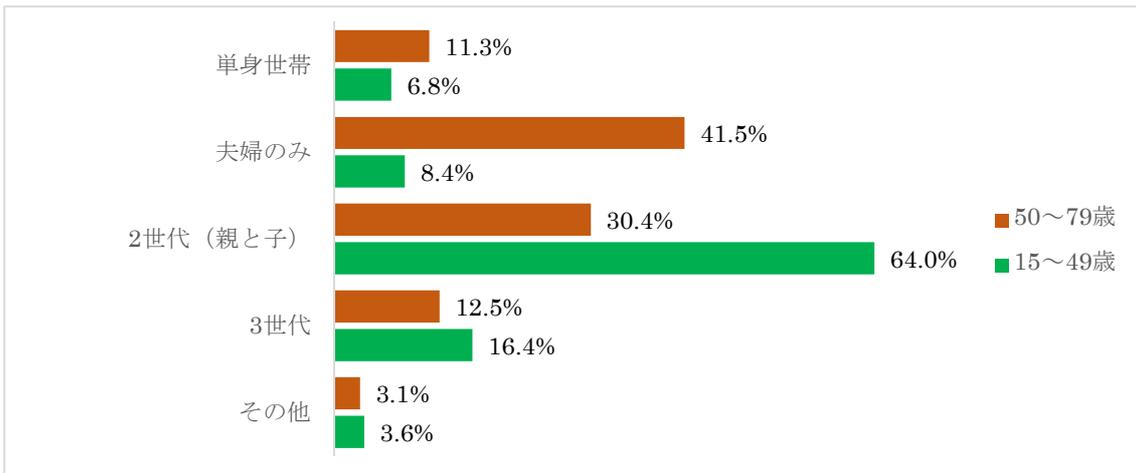
15～49歳：250票、50～79歳：424票

【項目1】属性における特徴

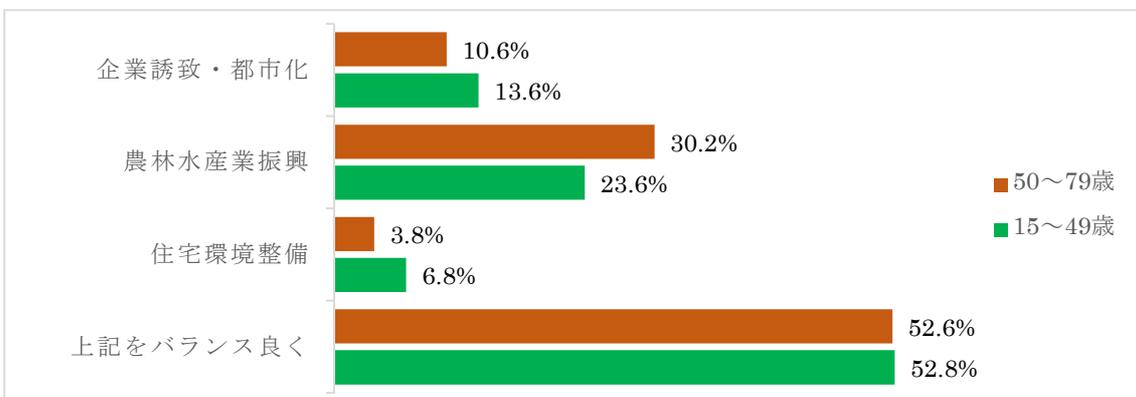
(住年数)



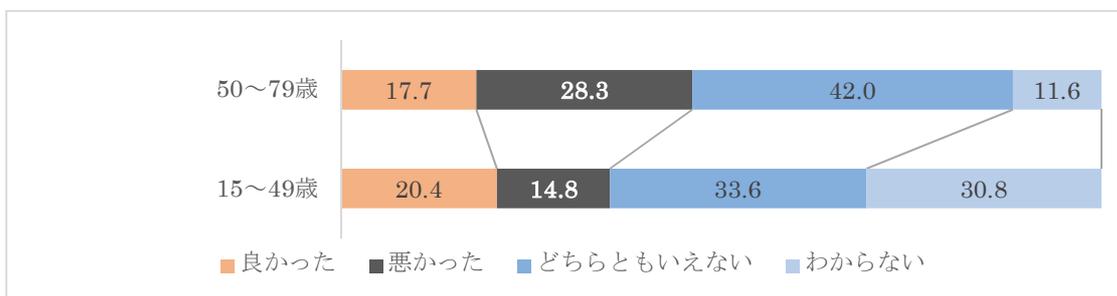
(家族構成)



(杵築市に合うと思われるまちづくりの方向性)



(合併の評価) 単位：%



- ・ 住年数が10年未満の人の割合は、「15~49歳」の方が高い。「50~79歳」の転入は、杵築市では限定的。
- ・ 家族構成について、「15~49歳」では、2世代世帯がもっとも多く、次いで3世代世帯だった。単身世帯、夫婦のみの世帯は少ない。
- ・ 「50~79歳」の家族構成では、夫婦のみの世帯がもっとも多く、次いで2世代世帯だった。単身世帯は「15~49歳」よりも多い。
- ・ まちづくりの方向性について、年齢による差異はほとんどみられない。バランス型が半数を超えた。
- ・ 合併の評価について、双方「どちらともいえない」がもっとも多かったが、「悪かった」と答えた「50~79歳」は、「15~49歳」の倍近い比率だった。

【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・ 「重要度」や「満足・不満足」の比率は、おおむね同様な傾向がみられた。
- ・ 「満足」と「不満足」の値が、「15~49歳」と「50~79歳」で反対になった項目の例

- 「15~49歳」の方が「満足」が高く、「不満足」が低かったもの

- 【問26】 市民と行政の協働のまちづくり

- 「50~79歳」の方が「満足」が高く、「不満足」が低かったもの

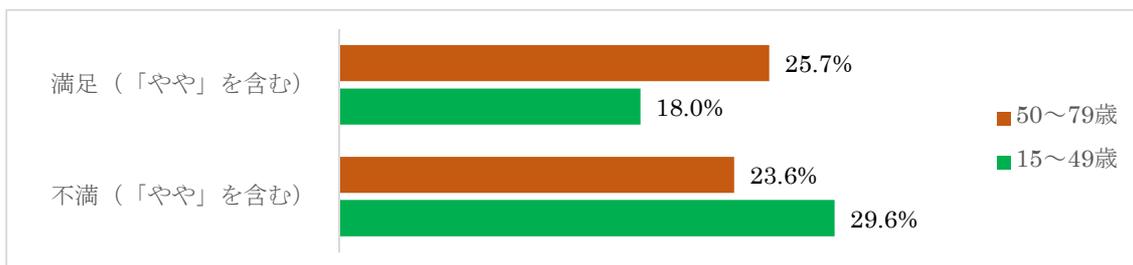
- 【問2】 保健・医療体制の充実

- 【問4】 福祉の充実

- 【問7】 交通安全対策

- 【問18】 幼児・学校教育の充実

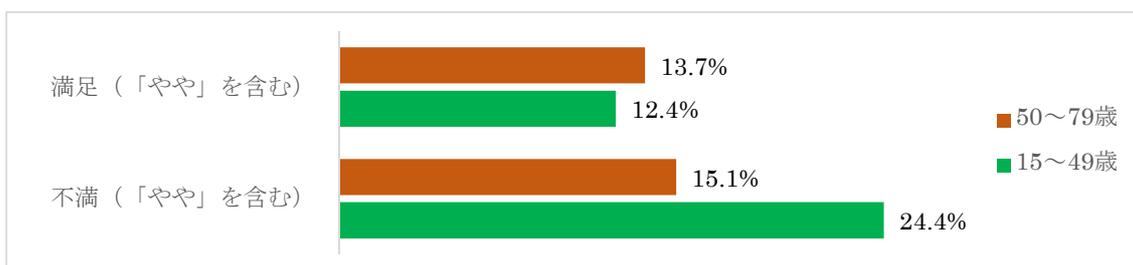
(問2：保健・医療体制の充実に関する満足度)



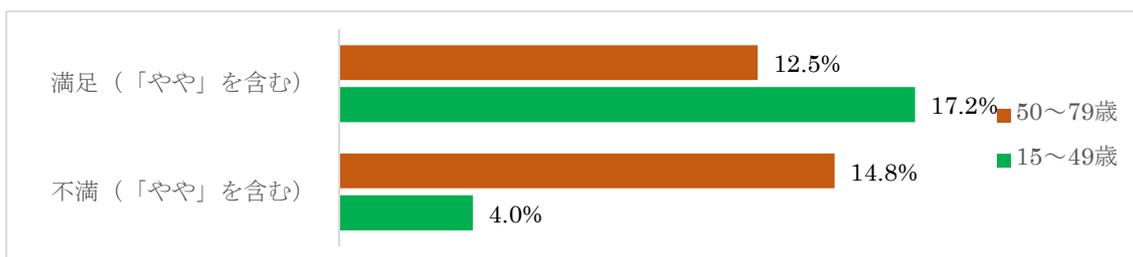
(問7：交通安全対策に関する満足度)



(問19：社会教育の充実と生涯学習の充実に関する満足度)

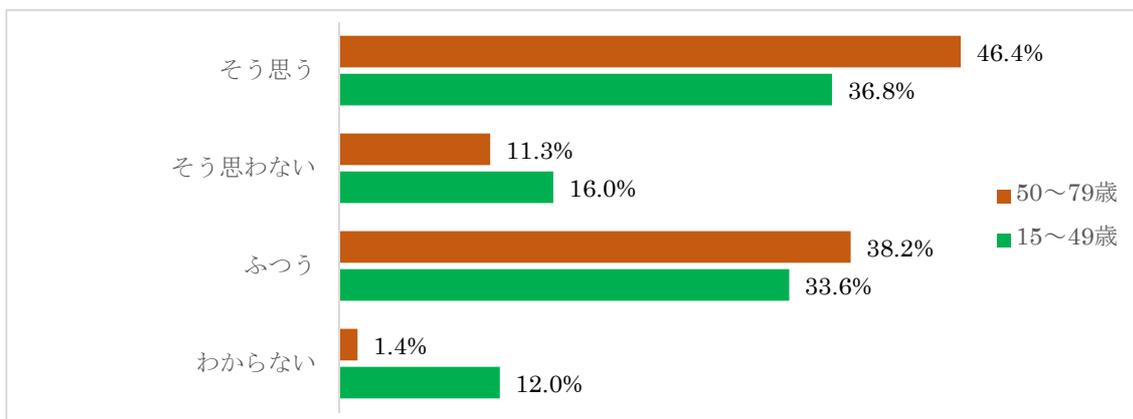


(問26：市民と行政の協働のまちづくりに関する満足度)



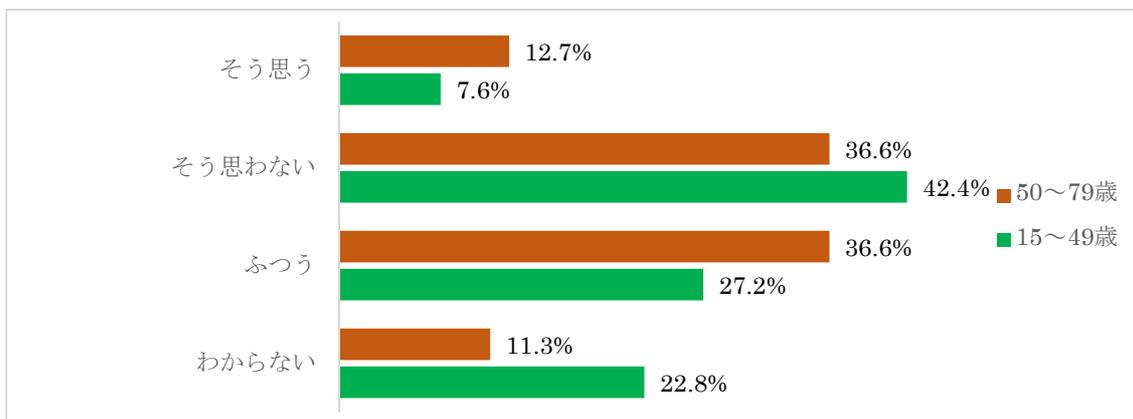
- ・【問2・7・19】において、「15～49歳」の不満割合が目立って高かった一方で、【問26】では、「50～79歳」の不満割合が高くなった。
- ・いずれの属性も、満足度がもっとも高かったのは消防・防災対策だった。
- ・いずれの属性も不満度が高かったのは、雇用・道路整備・公共交通整備だった。

(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



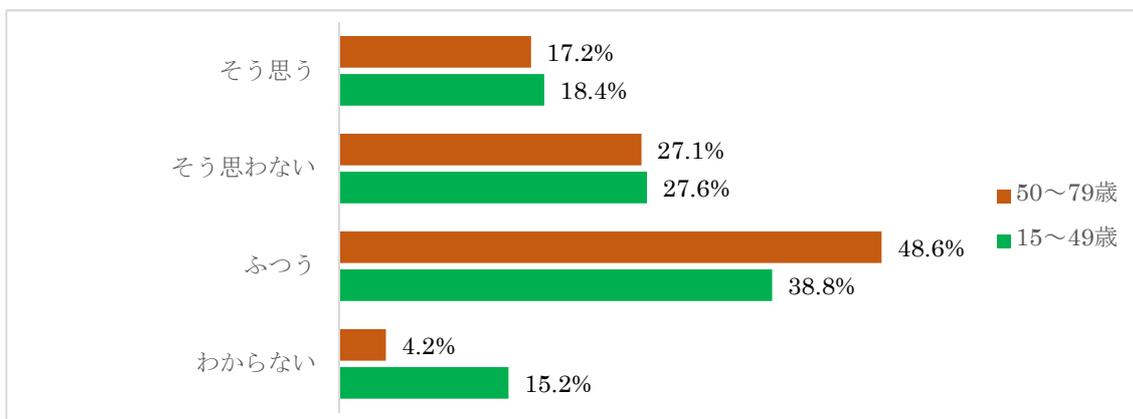
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 29：市民の意見は市政に活かされていると思うか)



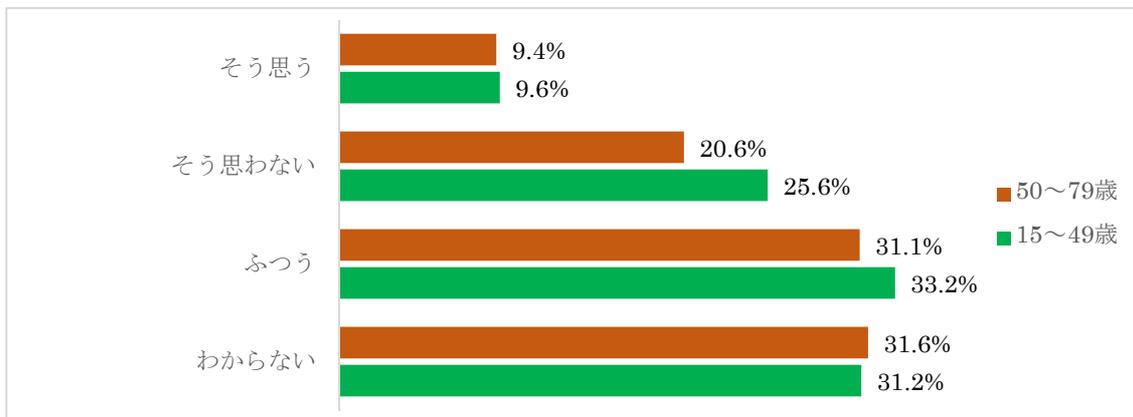
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



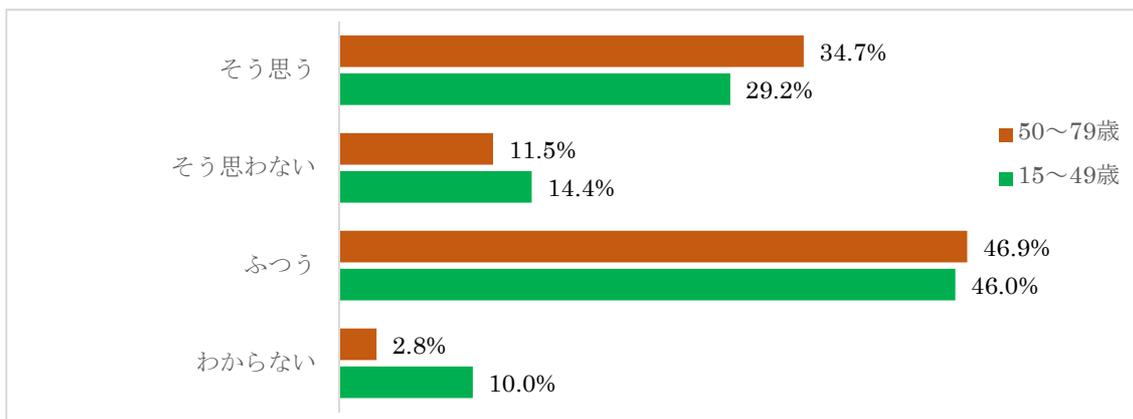
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

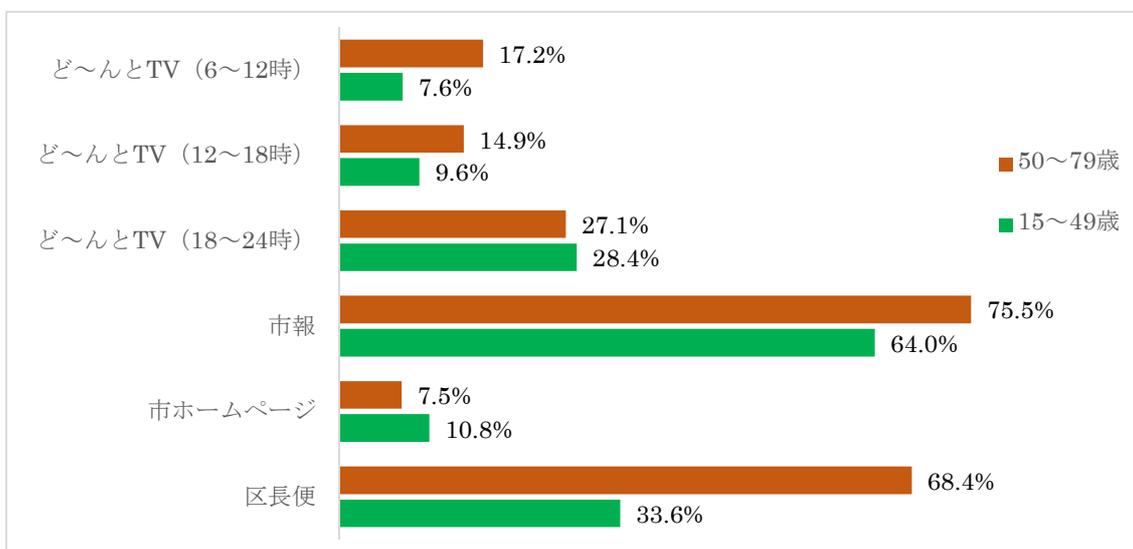
(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)



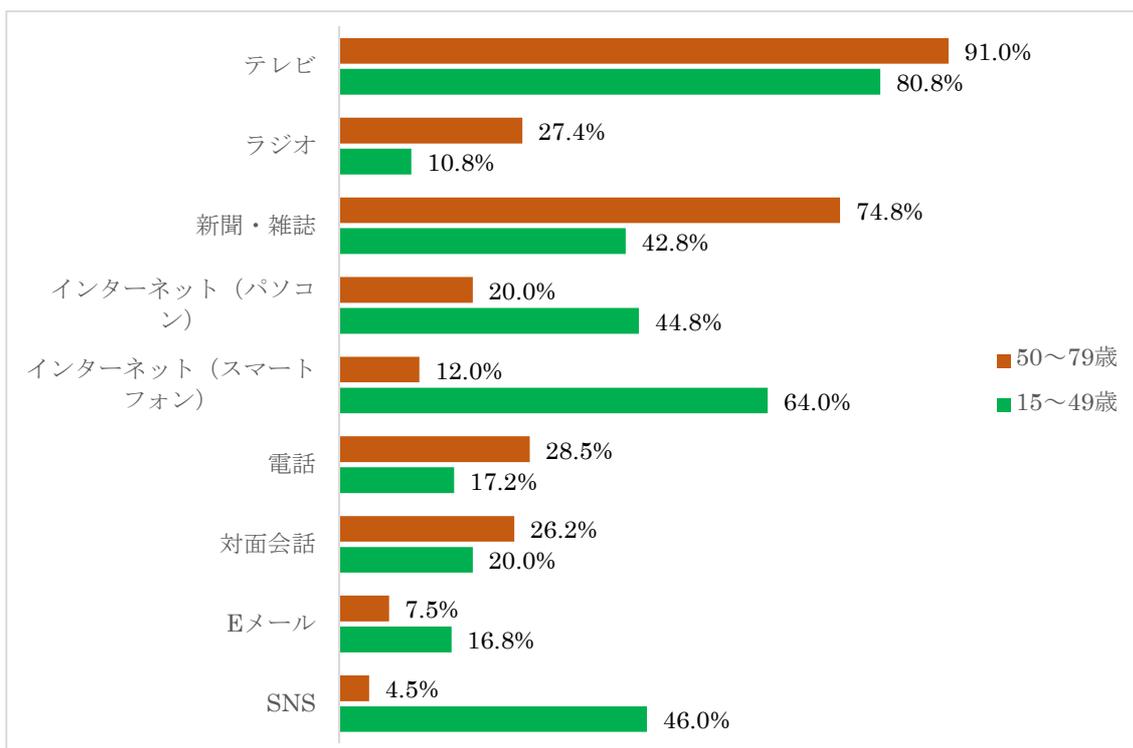
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

- ・市役所事務【問 28～32】について、「15～49 歳」の人が「わからない」と感じる割合が高い傾向にある。
- ・職員の対応等、おおむね「50～79 歳」の人の方が、満足度が高い。
- ・広報きつきの満足度について、「50～79 歳」の人の方が、若干高い一方で、市ホームページについては、いずれの属性も満足度が低く、「わからない」の割合が同程度となっている。

【項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴
 (問 33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)

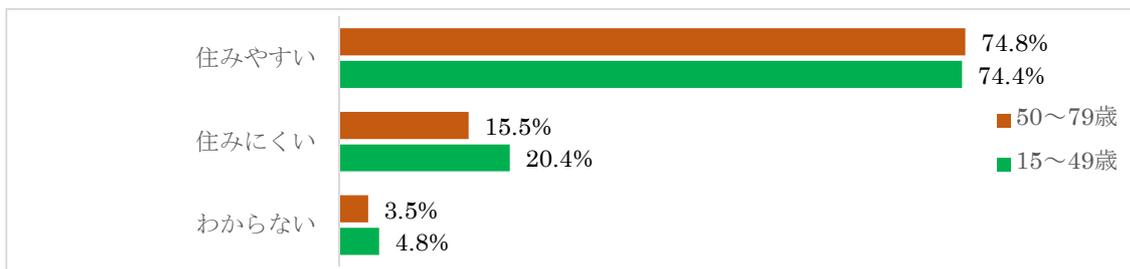


(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



- ・「15～49歳」の半数以上が市報を読む一方、区長便はあまり利用されていない。
- ・所持する機器の違い等、「年齢による情報収集方法」がはっきりと現れた。
- ・対面会話に、性別差ほどの大きな差異はない。

(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)

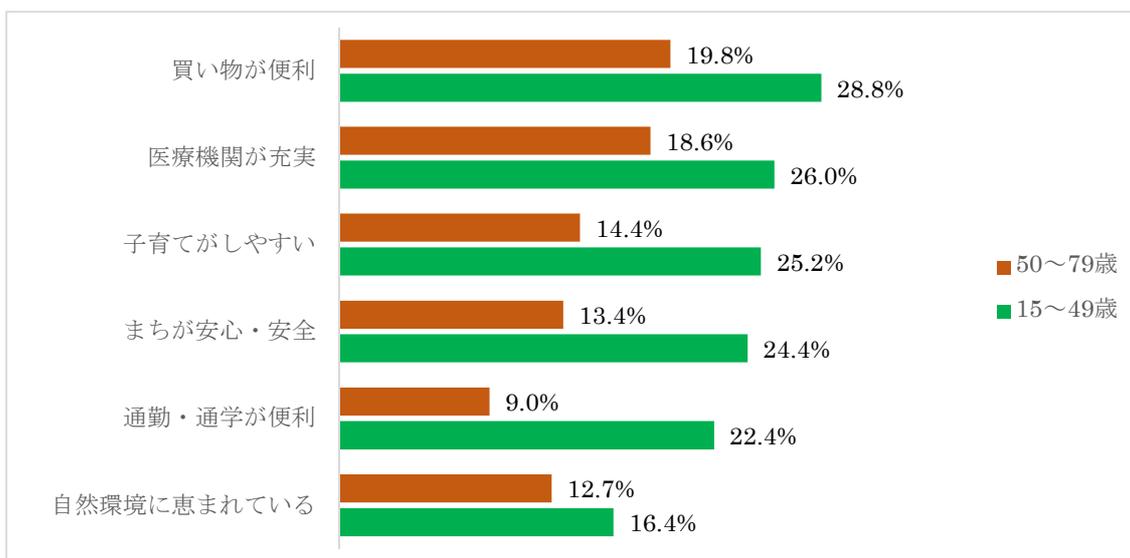


・住みやすさについて、特に大きな年齢差はみられなかった。

※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

※各上位 5 項目を抜粋。(4 位まで同じ項目となった)



・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」、「⑪子育てがしやすいこと」、「⑬まちが安心・安全であること」の順だった。

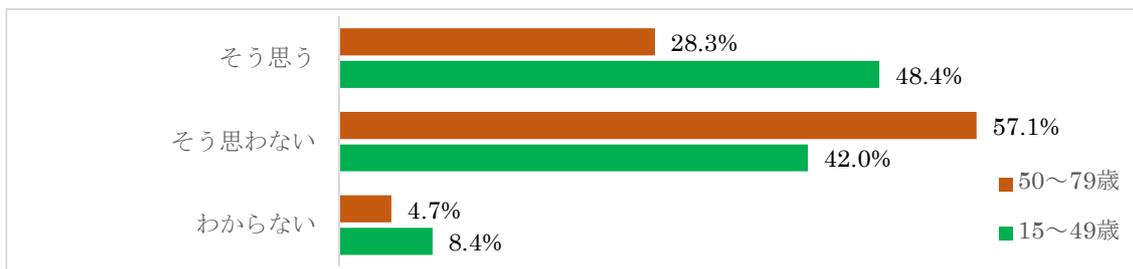
・全体的に、「50～79歳」より「15～49歳」の方が、設問の項目について「重要視する」と答えた人の割合が、高い傾向がみられた。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう思わないか」を調査。全 17 項目のうち、変化が見られた 4 項目とその特徴を以下に示す。この他の項目は、同様の結果となった。

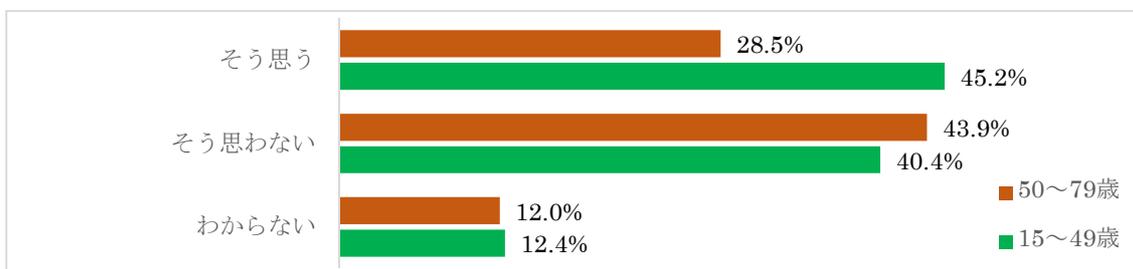
※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

【⑤物価が安い】



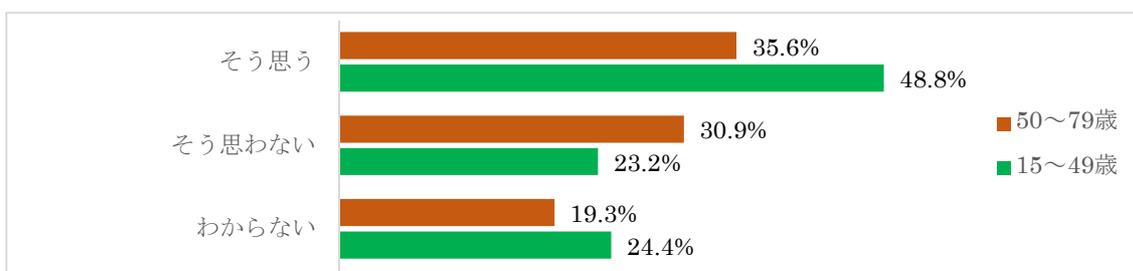
- ・「50～79 歳」の方が、杵築市は物価が高いと感じている。
- ・「15～49 歳」の約半数は、物価が安いと感じている。

【⑥教育環境・条件が整っている】



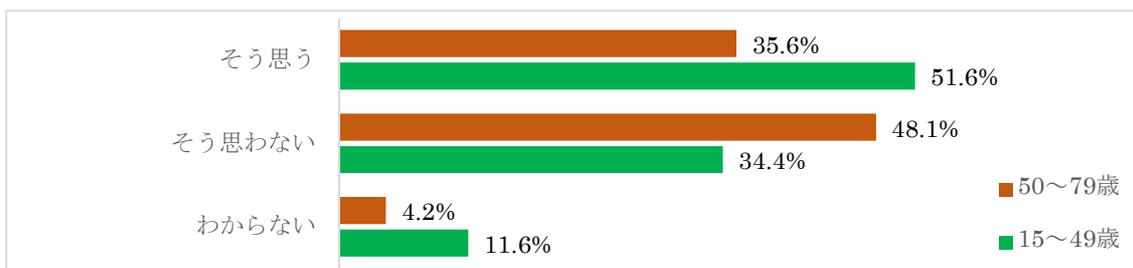
- ・「15～49 歳」の方が、杵築市は教育環境・条件が整っていると感じている。
- ・一方でいずれも、約半数が「そう思わない」と回答している。

【⑪子育てがしやすい】



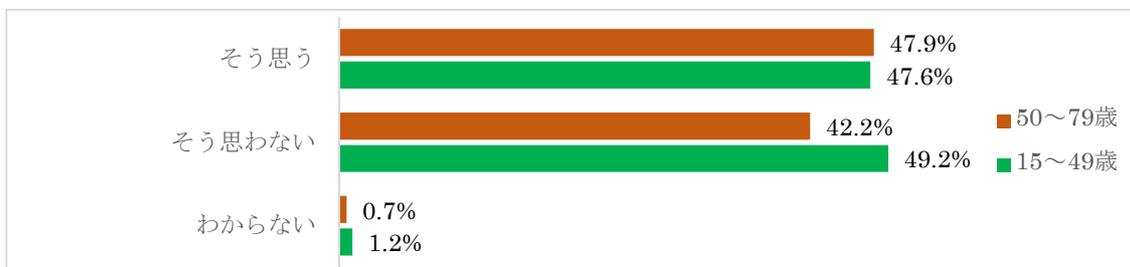
- ・「15～49 歳」の方が、子育てしやすいと感じているものの半数にとどまる。

【⑮生活道路や公園の美化など生活環境が良い】

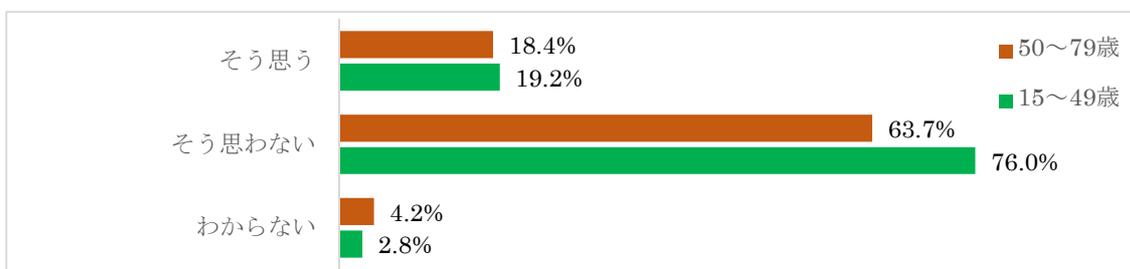


- ・「15～49 歳」の方が、生活道路や公園の美化など生活環境が良いと感じている。
- ・一方で、「50～79 歳」の約半数が、生活環境が良くないと感じている。

【①買い物が便利】

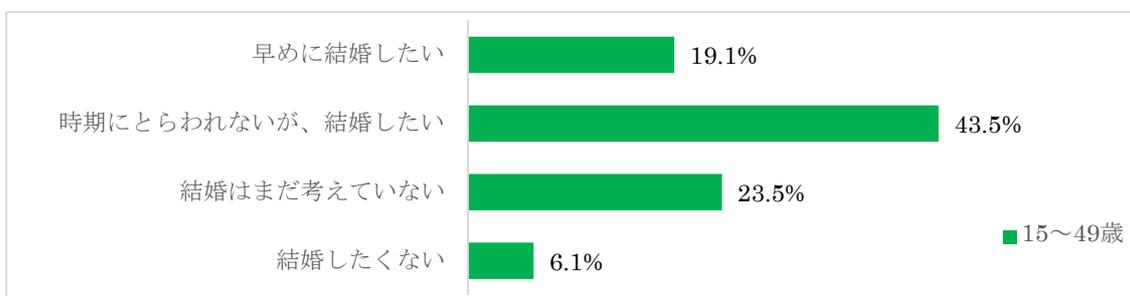


【③公共交通が便利】



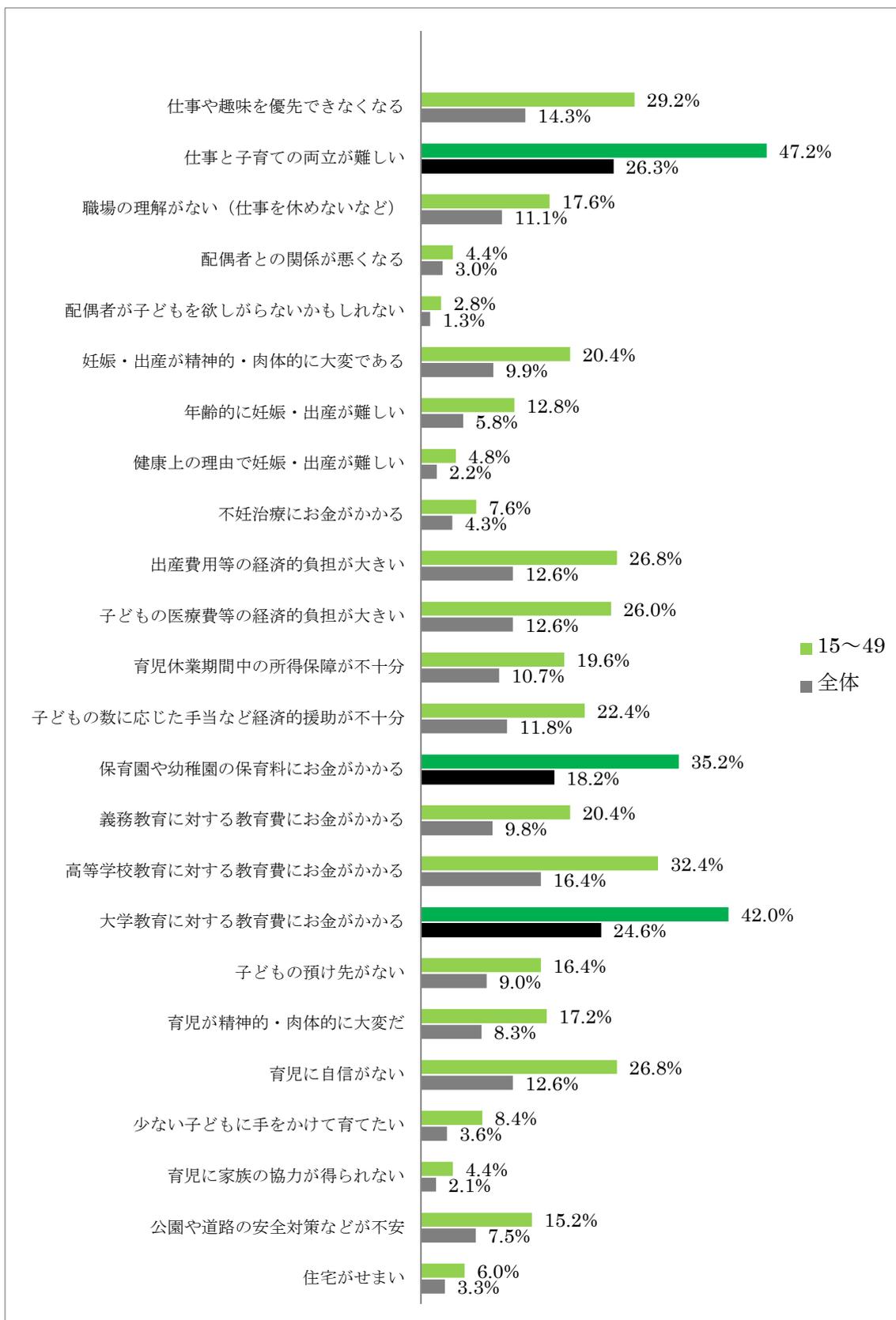
- ・【①買い物が便利】では、いずれも評価が分かれたほか、【③公共交通が便利】では、年齢差に関係なく、多くの方が不便さを感じている。
- ・【⑦住宅条件が良い】【⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている】【⑭まちのイメージが良い】などほか、多くの項目で「15～49 歳」の方が、「50～79 歳」よりも「そう思う」の割合が高かった。（良い印象を抱いている。）

(問 38：未婚者の「結婚」への意識調査) ※「15～49 歳」を抽出



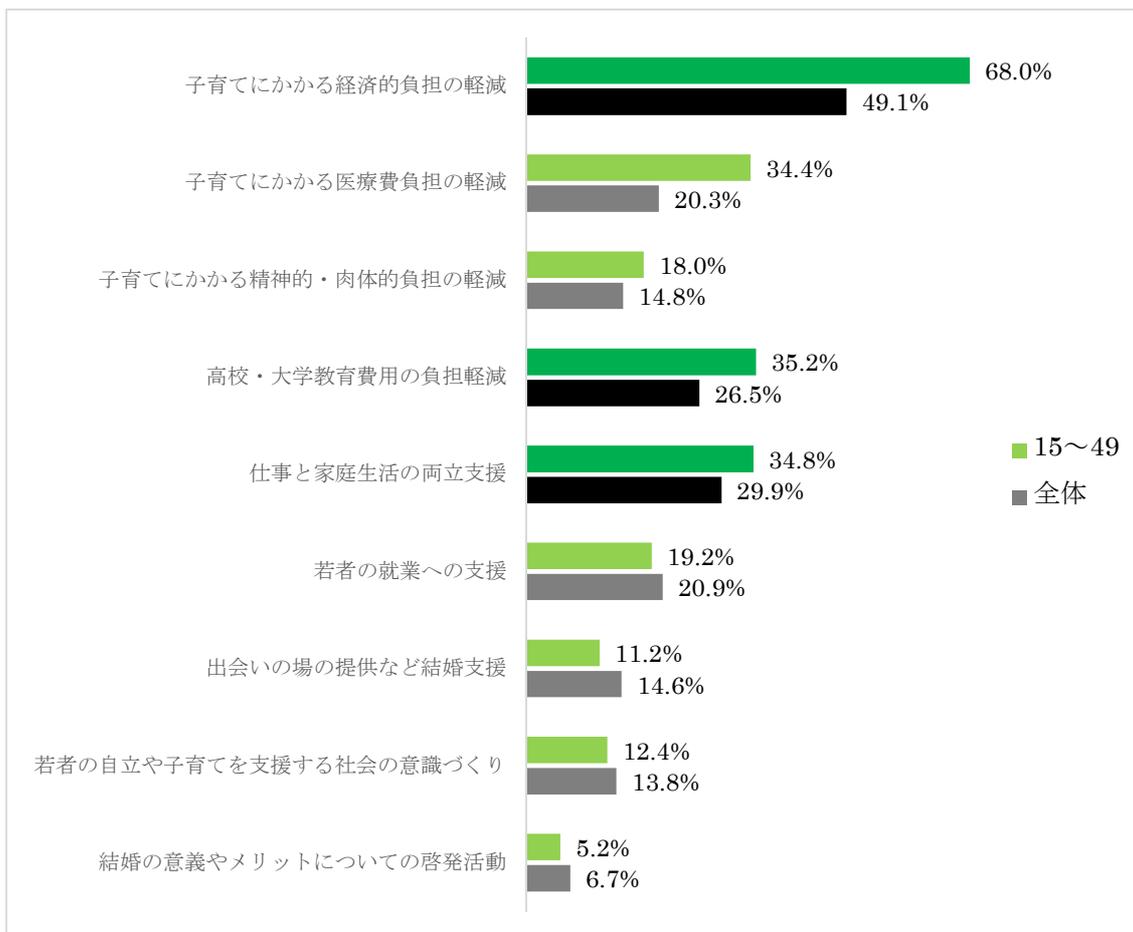
n = 115

(問 42：出産・子育てに関する懸念や不安／「15～49 歳」)



- ・経済的負担のうち、特に大学教育費を懸念する割合が高い。
- ・「15～49歳」の4人に1人以上が、「育児に自信がない」と不安を感じている。

(問 44：結婚・子育てに求める対策等／「15～49歳」)

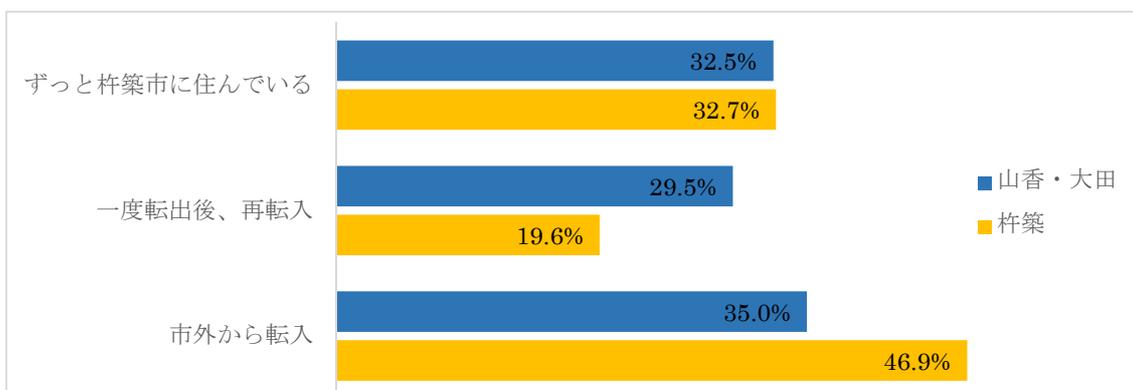


(3) 住地域による差異

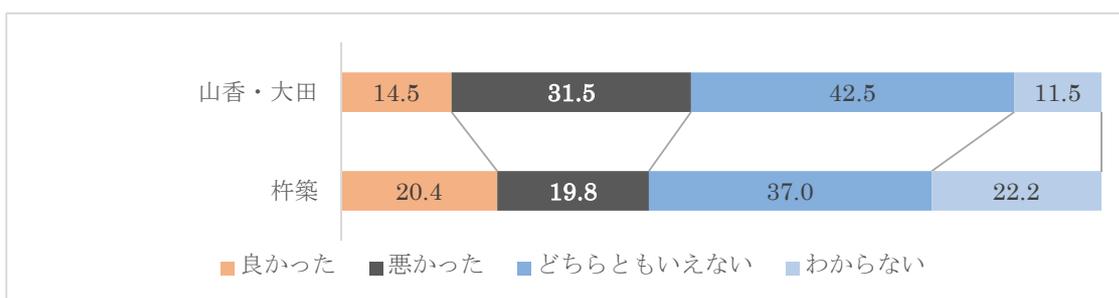
杵築地域在住者：465 票、山香・大田地域在住者：200 票（大田：26 票）

【項目1】属性における特徴

(出身)



(合併の評価) 単位：%

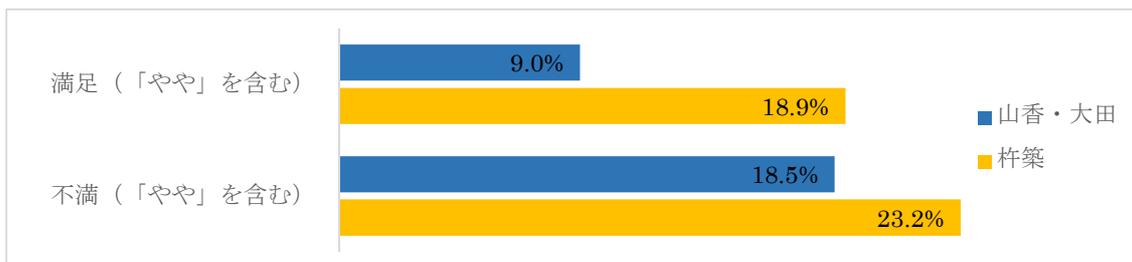


- ・年齢、住年数、職業、家族構成等で、住地域による大きな差はなかった。
- ・出身型を見ると、「山香・大田地域在住者」はおおむね均等割合だったのに対し、「杵築地域在住者」は転入者（市外出身者）が約半数だった一方で、杵築地域には、一度転出して戻ってきた人は少ない傾向がみられた。
- ・市町村合併について、「山香・大田地域」でマイナス評価がみられた。

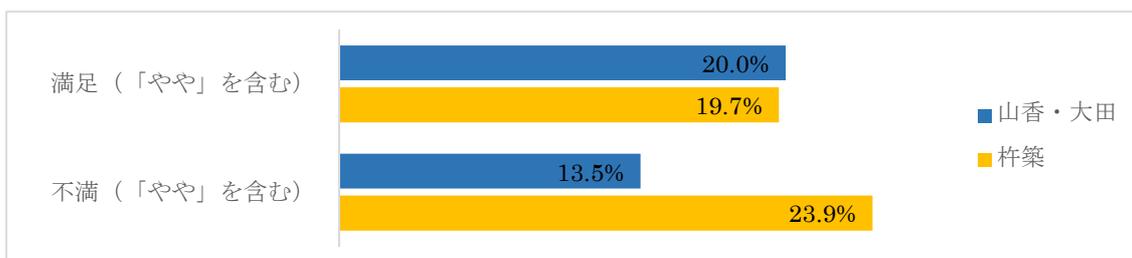
【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・重要度、満足度とも、多くの項目で同程度の割合となり、地域差はあまりみられなかった。
- ・不満や満足の項目で、差がみられたものを以下に抜粋した。

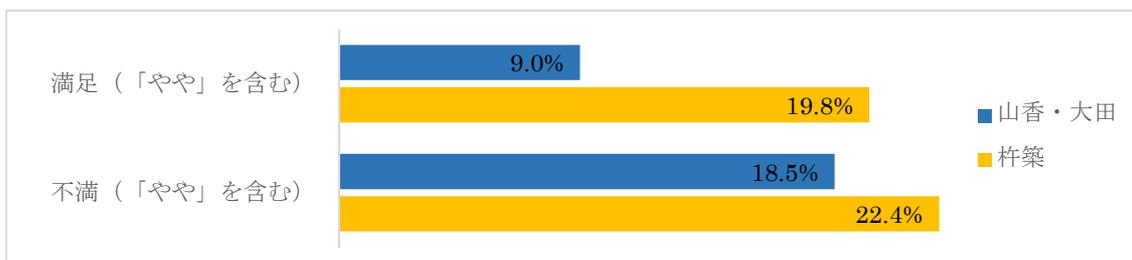
（問5：誰もが使える公共施設に関する満足度）



（問7：交通安全対策に関する満足度）



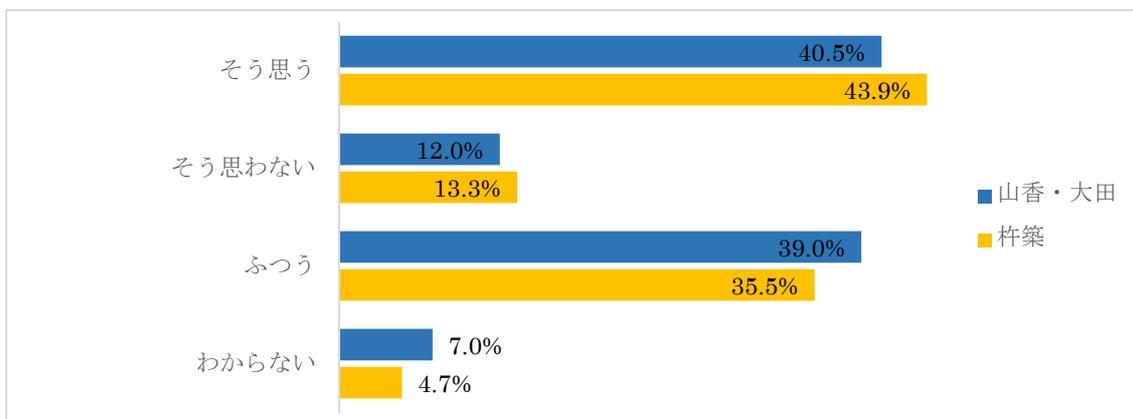
（問12：集客・観光の振興に関する満足度）



（問19：社会教育・生涯学習の充実に関する満足度）

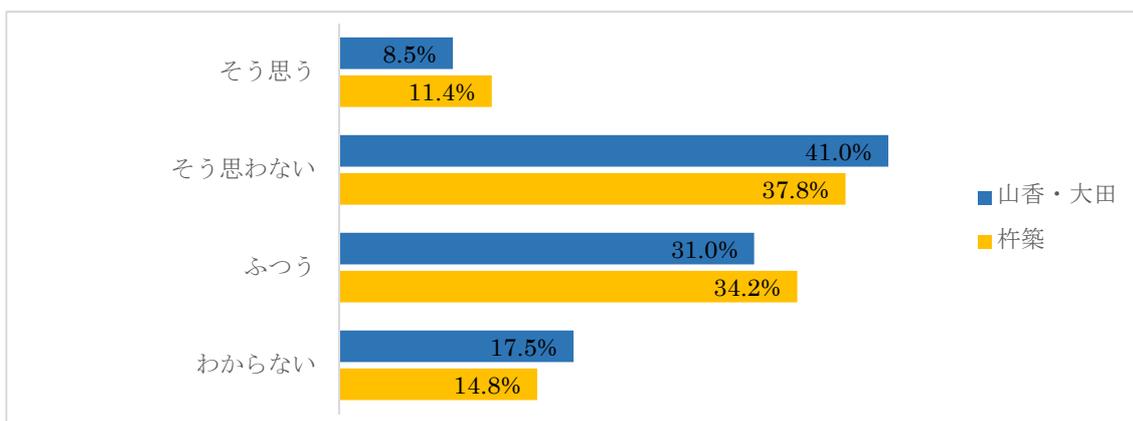


(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



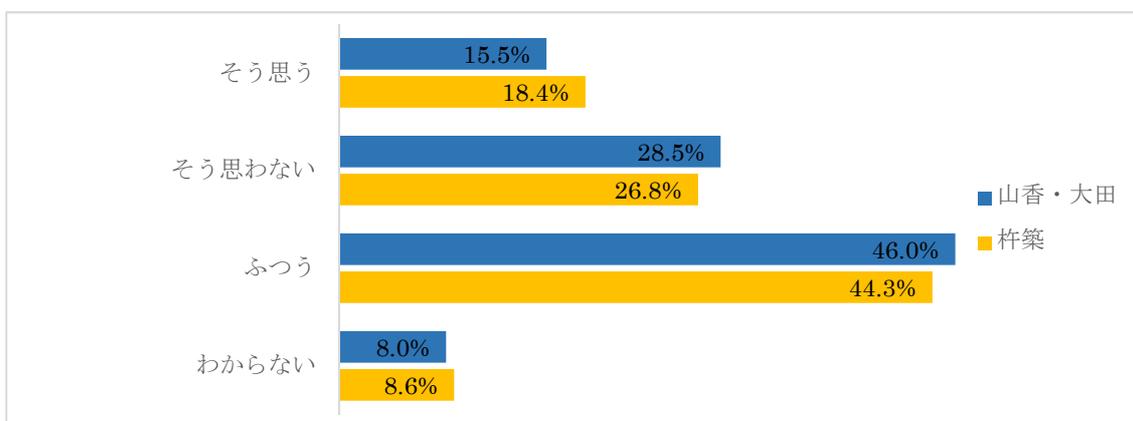
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 29：市民の意見は市政に活かされていると思うか)



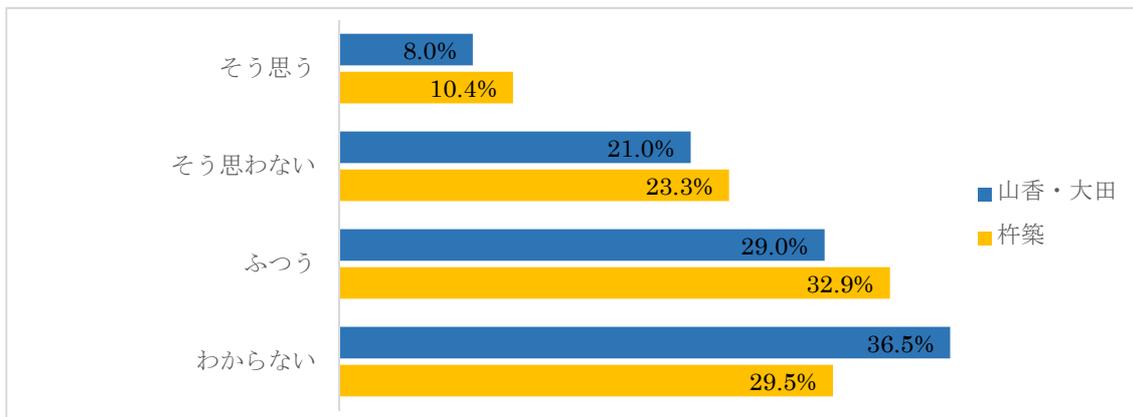
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



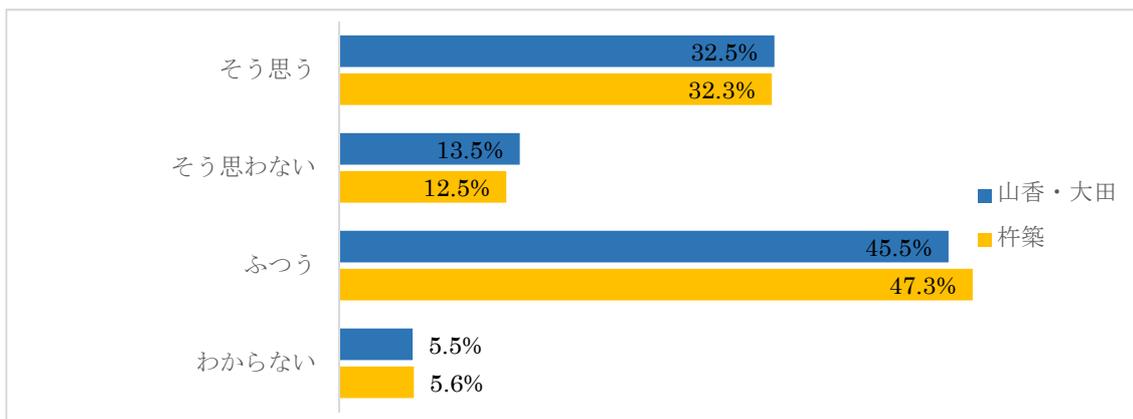
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

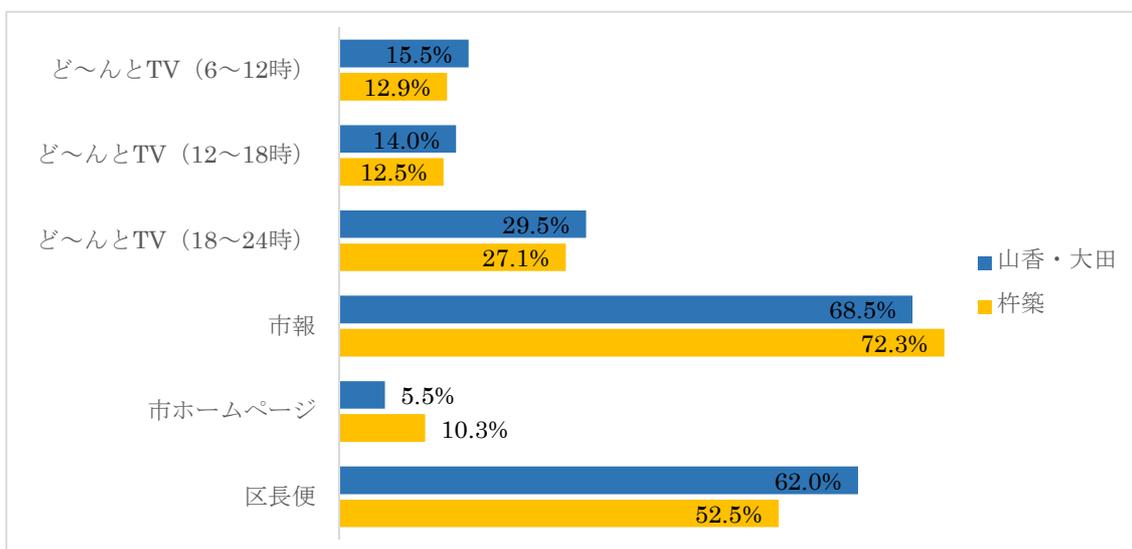
(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

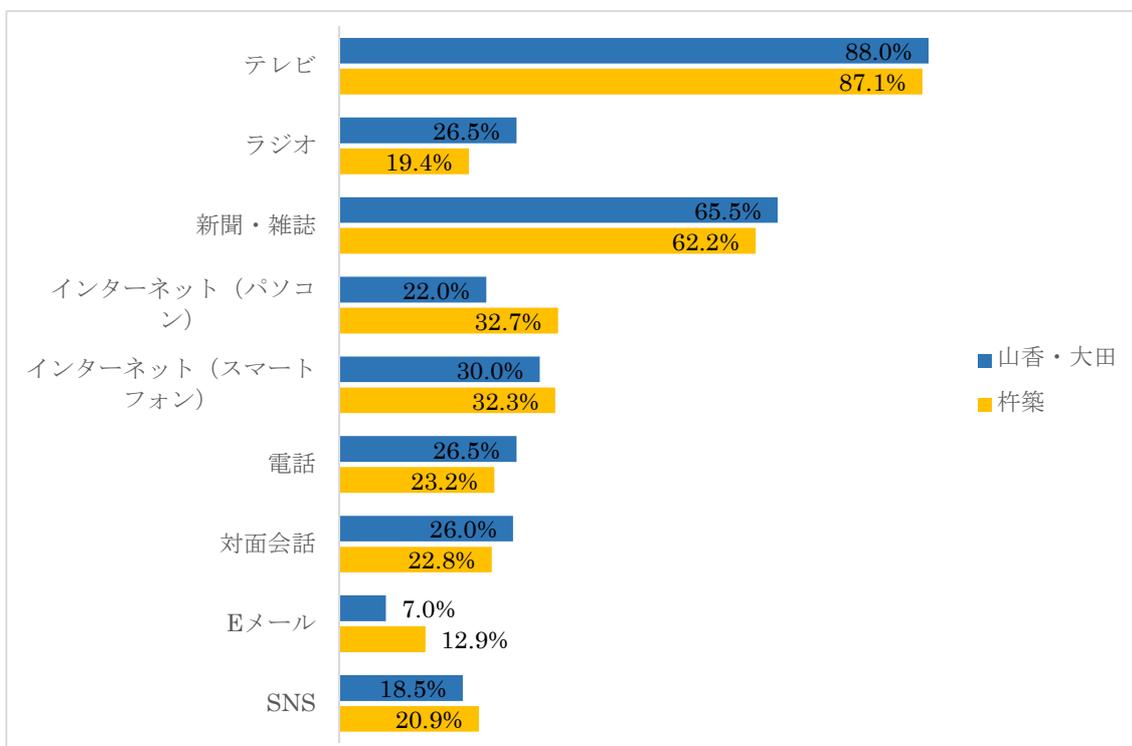
・ 職員の対応等、市役所事務について住地域による差はほとんどなかった。

【項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴
 (問33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)



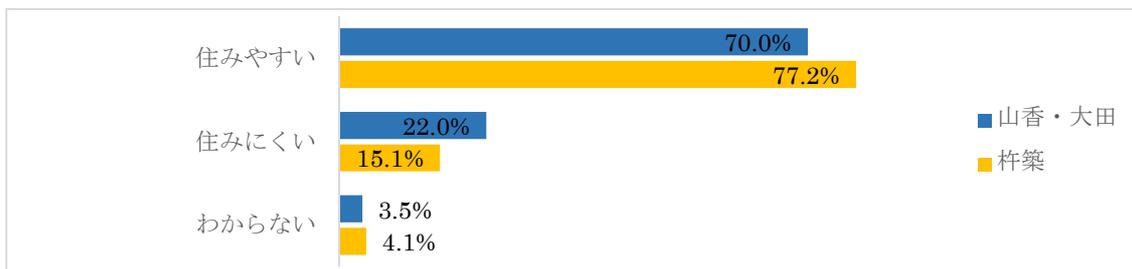
・杵築地域の「区長便」割合が若干低い以外は、大きな差はなかった。

(問34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



・パソコンからのインターネット接続に若干の差がある以外、大きな差はなかった。

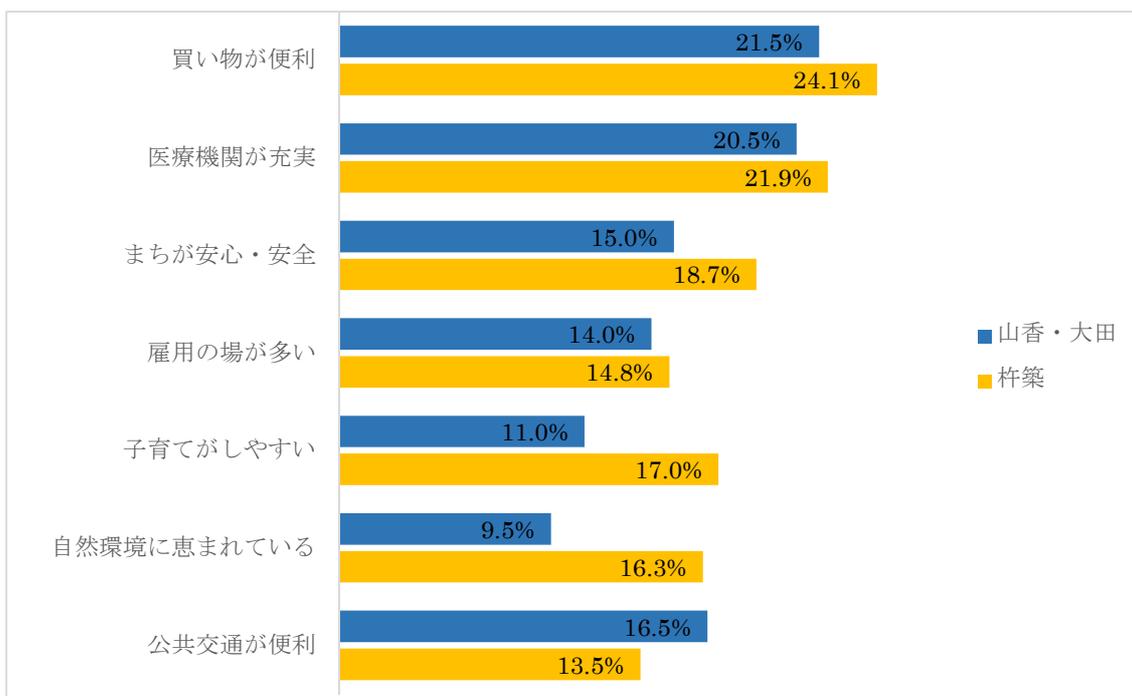
(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)



- ・住みやすさについて、杵築地域の方が若干プラス評価だった。
※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

※上位 5 項目（2 位まで同じ項目となった）と特徴のある項目を抜粋。



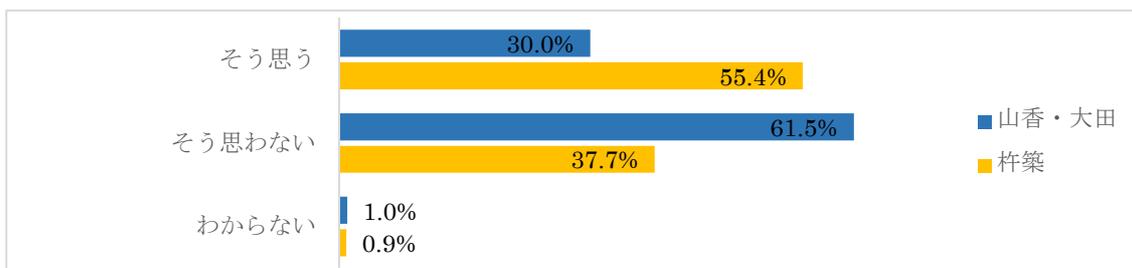
- ・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」の順だった。
- ・3位は、杵築地域「⑬まちが安心・安全」だったのに対し、山香・大田地域「③公共交通が便利」だった。
- ・「⑩雇用の場が多い」は、いずれの属性も同程度の割合だった。
- ・「⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている」は、杵築地域では 16.3%で上位だったものの、山香・大田地域では 9.5%で 11 位にとどまった。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

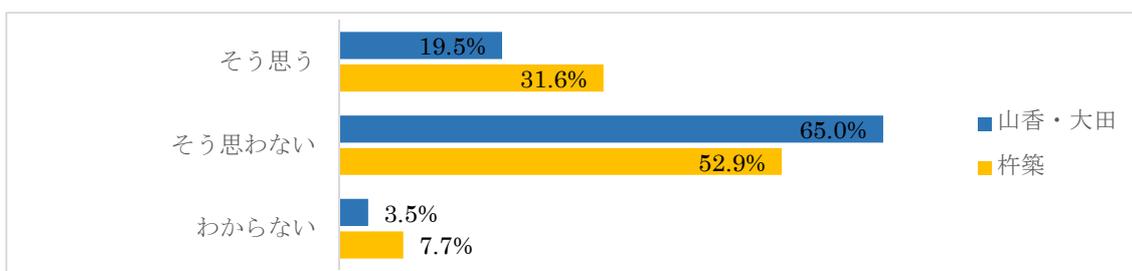
※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう
思わないか」を調査。全 17 項目のうち、特徴的な 6 項目を以下に示す。

※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

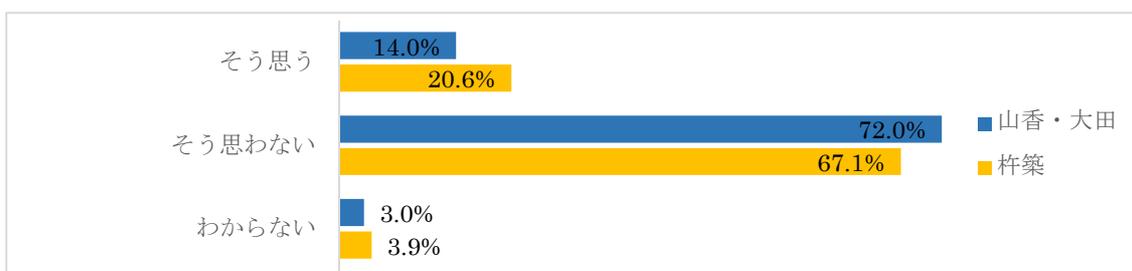
【①買い物が便利】



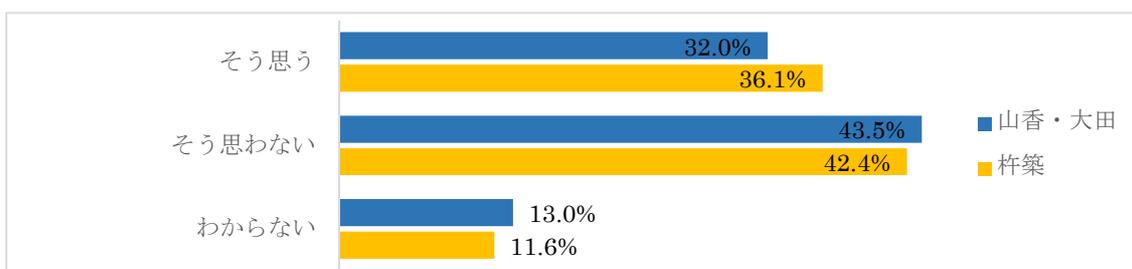
【②通勤・通学が便利】



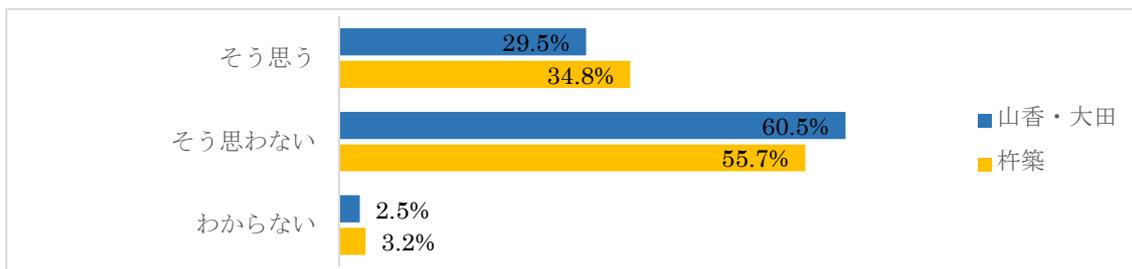
【③電車やバスなどの公共交通が便利】



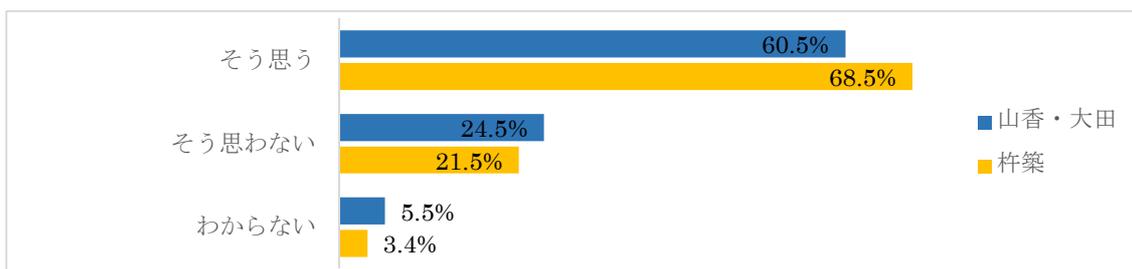
【⑥教育環境・条件が整っている】



【⑧医療機関が充実】



【⑬まちが安心・安全である】



- ・「①買い物が便利」「②通勤・通学が便利」では、(いずれもマイナス評価は多いものの) 圧倒的に、山香・大田地域で不便に感じている人の割合が高い。
- ・「③公共交通」では、いずれの属性も不便に感じている人の割合が高い。
- ・「⑥教育環境・条件」では、いずれの属性も同様程度の評価となった。
- ・「⑧医療機関の充実」、「⑬まちが安心・安全」でも、若干ではあるが、山香・大田地域の方がマイナス評価となった。

【問 37～44】：結婚や子どもの人数、子育てや結婚に感ずる懸念や不安については、いずれの属性においても大きな差もなく、地域差を分析する理由がないことから省略する。

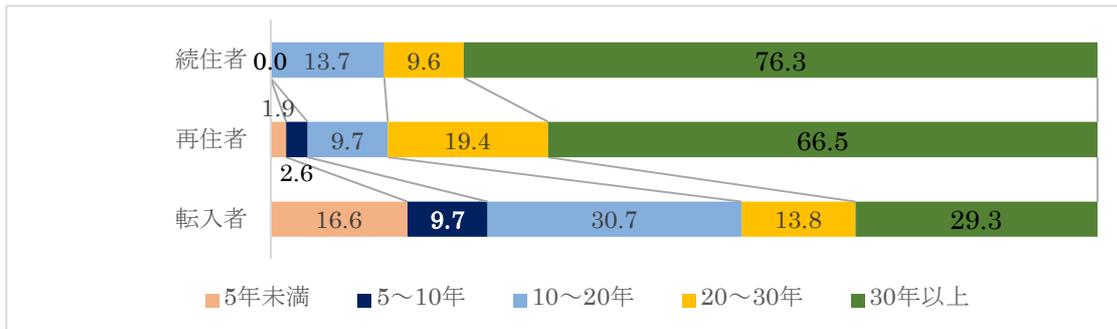
(4) 出身型による差異

生まれてからずっと杵築市に住み続けている人を「続住者」、
進学などで一時的に転出し、その後戻ってきた人を「再住者」、
市外（県外・国外含む）から転入してきた人を「転入者」と表記する。

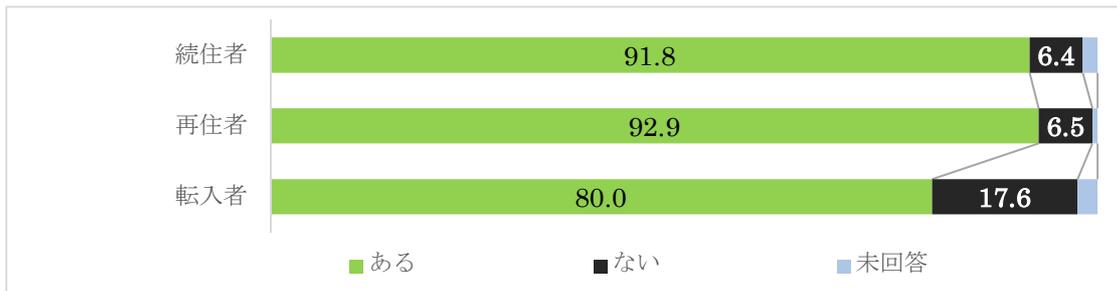
続住者：219 票、再住者：155 票、転入者：290 票

【項目1】属性における特徴

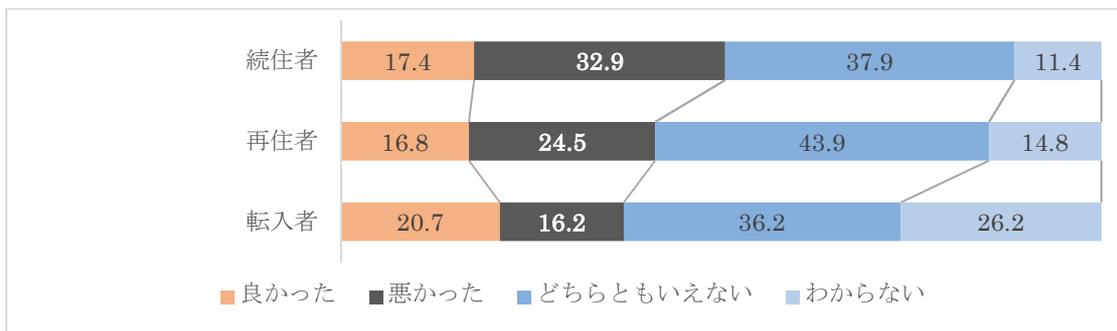
(住年数) 単位：%



(杵築市への愛着の有無) 単位：%



(合併の評価) 単位：%

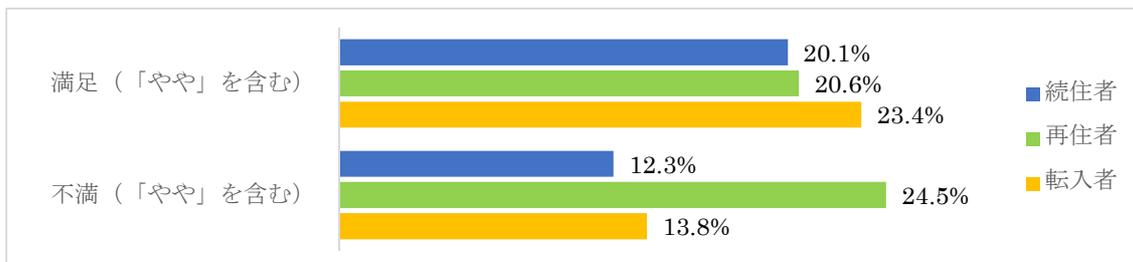


- ・回収票のうち、10年以内に引っ越してきた再住者は、5%未満だった。
- ・杵築市への愛着は、続住者と再住者は同程度だったのに対し、転入者は若干低い値となった。
- ・合併について、いずれの属性も「どちらともいえない」が多かった。

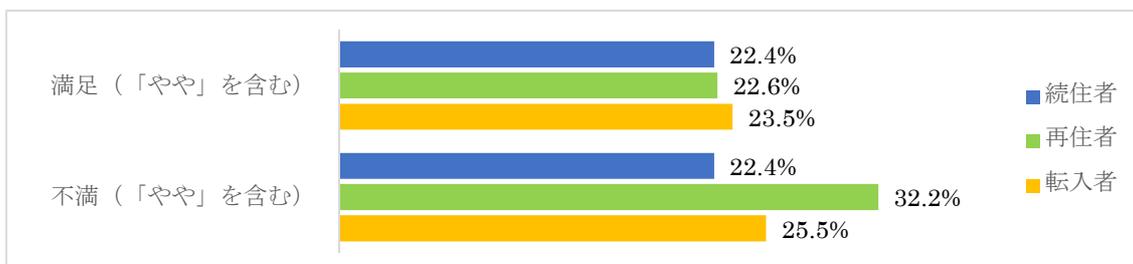
【項目2】各事業分野／市役所事務のあり方における特徴

- ・重要度は、多くの項目で同程度の割合となり、出身型による差はあまりみられなかった。満足度について、差がみられたものを以下に抜粋した。

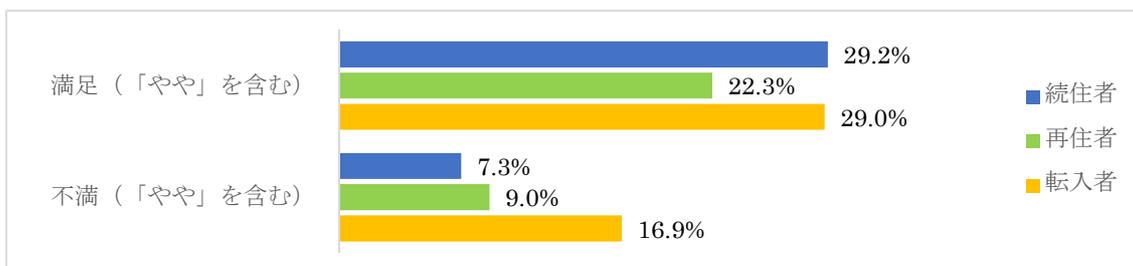
(問1：健康づくりの充実に関する満足度)



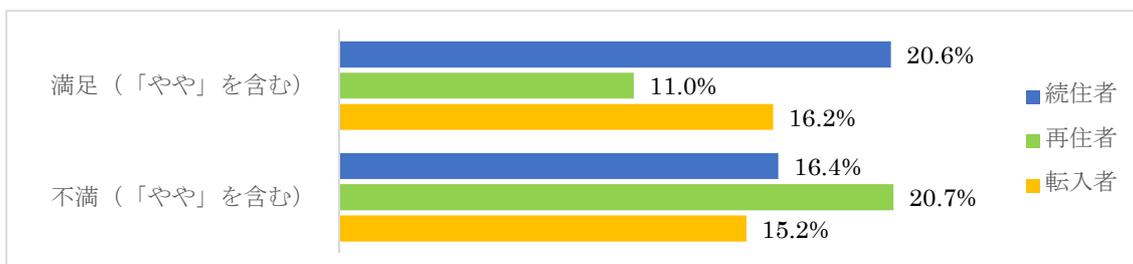
(問2：保健・医療体制の充実に関する満足度)



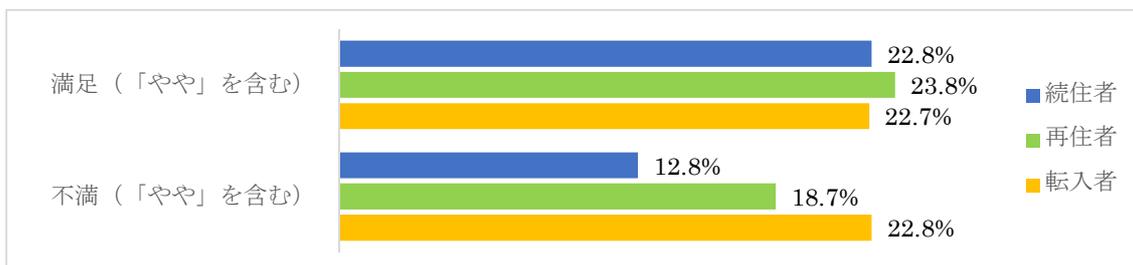
(問16：環境問題への対策に関する満足度)



(問18：幼児・学校教育の充実に関する満足度)

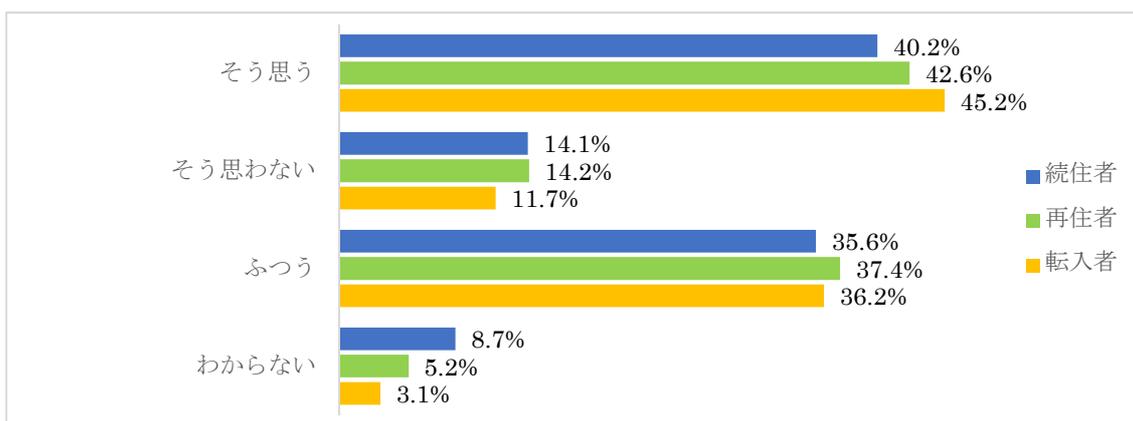


(問 23：上・下水道の整備に関する満足度)



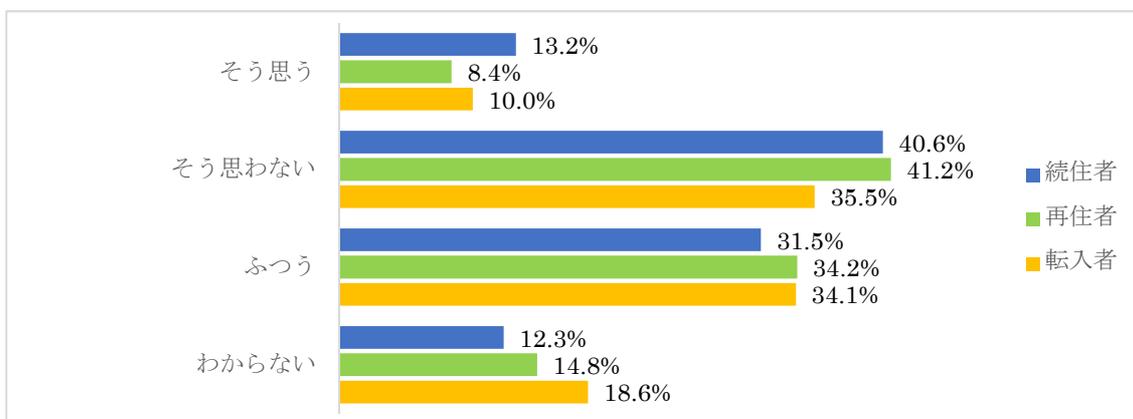
・「健康づくりの充実」、「保健・医療体制の充実」、「幼児・学校教育の充実」では、再住者のマイナス評価が高かった一方で、「環境問題への対策」、「上・下水道の整備」では、転入者のマイナス評価が高かった。

(問 28：市職員の窓口・電話対応は丁寧で分かりやすいと思うか)



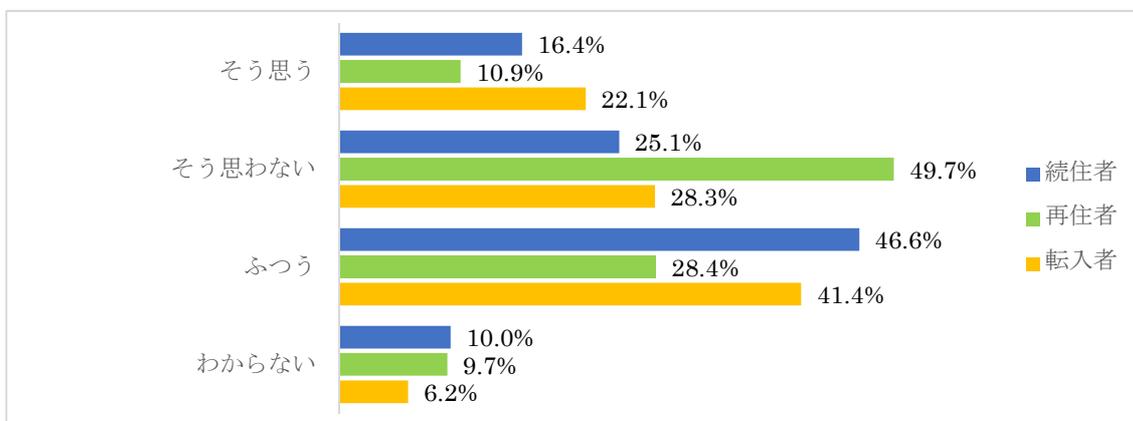
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 29：市民の意見は市政に活かされていると思うか)



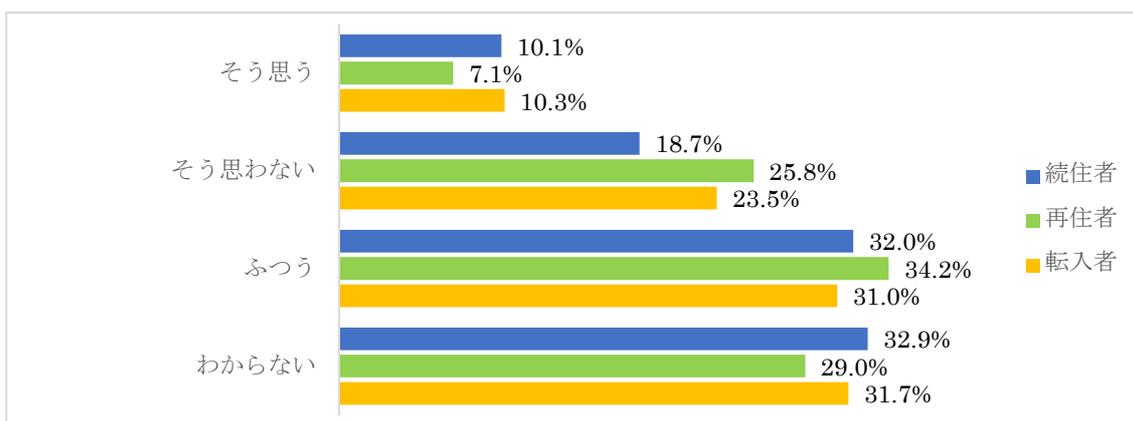
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 30：市民に役立つ情報が伝えられていると思うか)



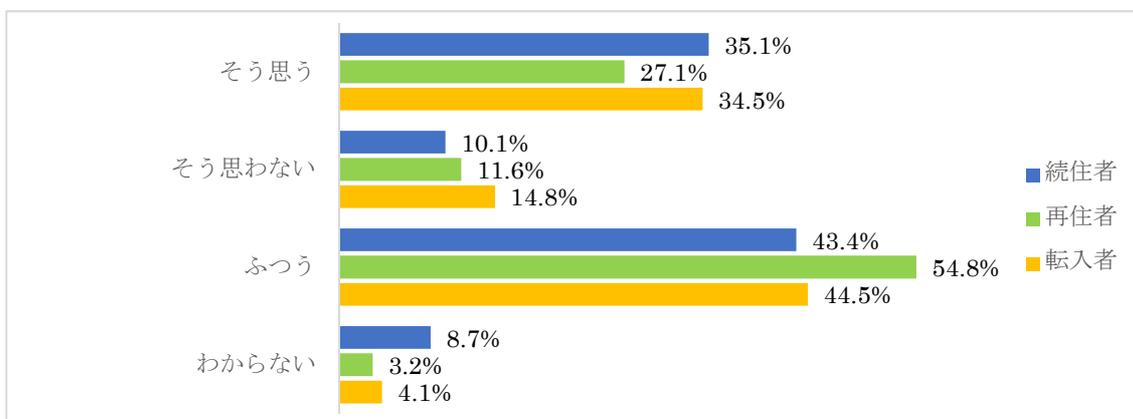
※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

(問 31：市のホームページは利用しやすいと思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

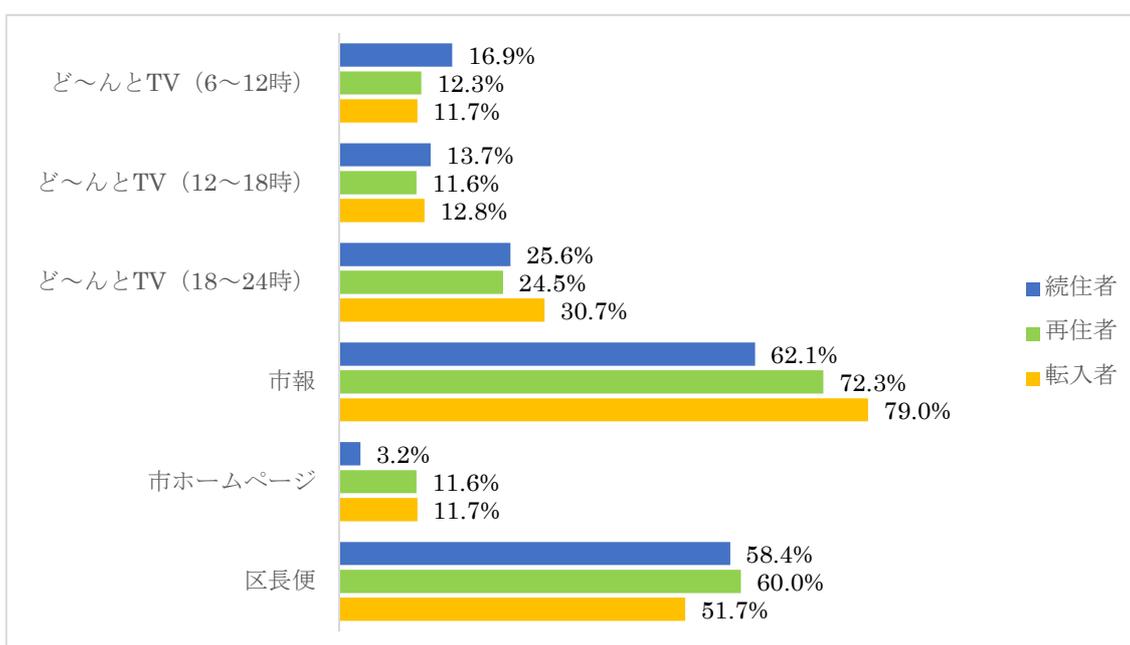
(問 32：広報きつき（市報）の内容は充実していると思うか)



※「そう思う・思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

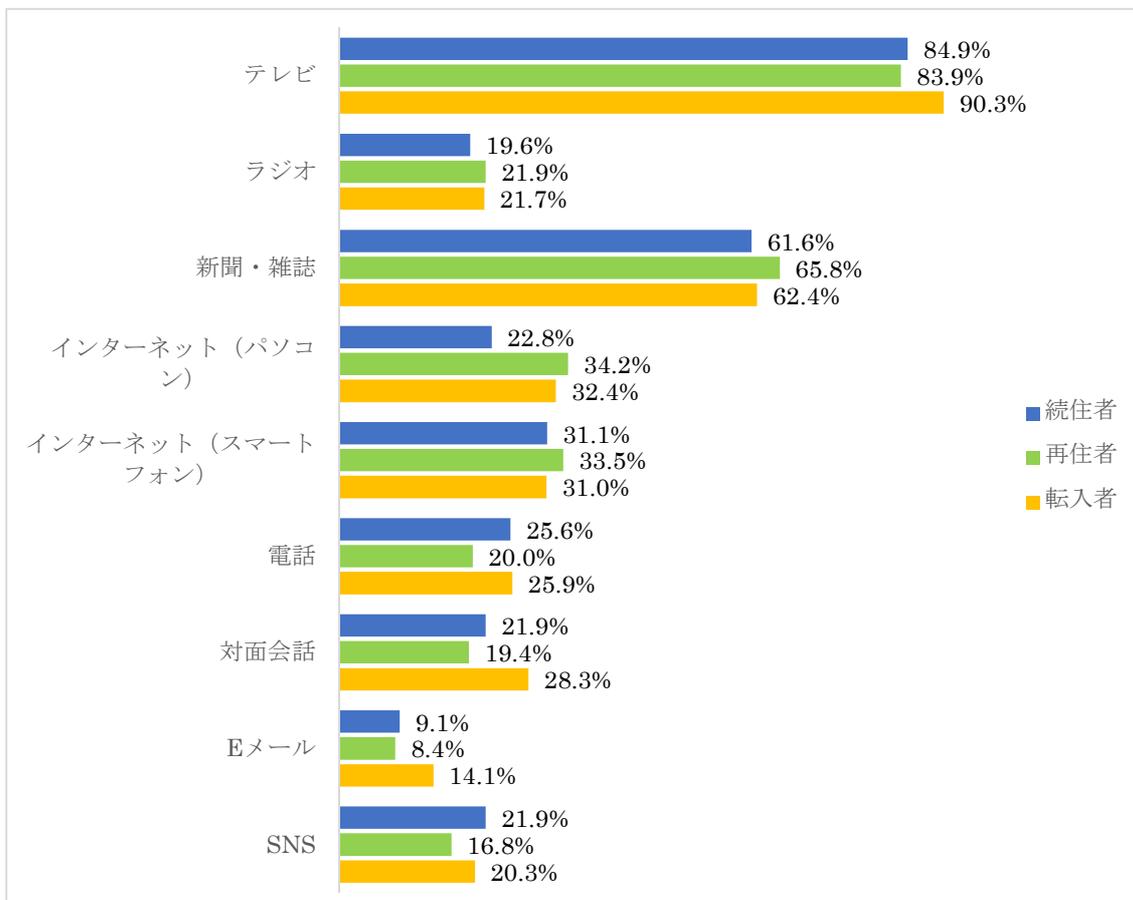
- ・「市職員の対応」については、転入者からの評価が若干良かった。
- ・「市民に役立つ情報が伝えられていると思うか」では、評価が分かれ、転入者よりも再住者からの評価が目立って悪かった。

項目3】生活、結婚・子育て等に関する意識調査における特徴
 (問33：定期的に見たり、聞いたりしている情報源／抜粋)



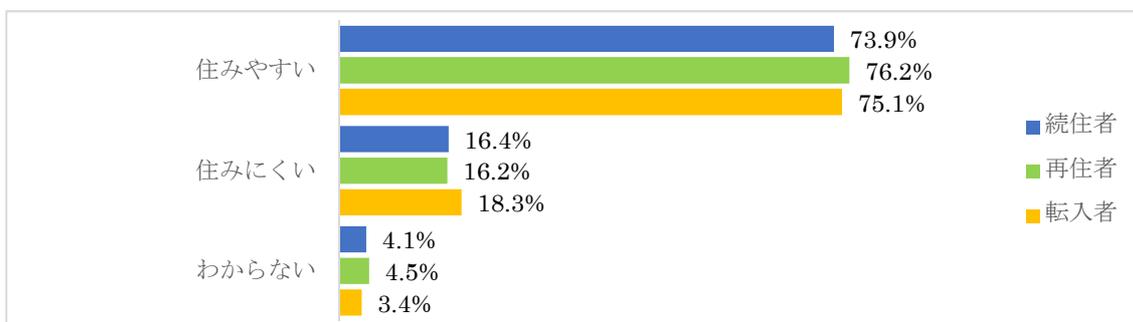
- ・市報や市ホームページは、再住者や転入者の方が、続住者より利用している。続住者は、市からのお知らせに対して、意識的に情報収集していない可能性がある。
- ・ケーブルテレビの利用に、出身型による大きな差はなかった。
- ・区長便は、転入者の利用がやや少ない。

(問 34：日ごろ、よく利用する情報機器やコミュニケーション方法／抜粋)



- ・パソコンからのインターネット接続は、続住者が少ない。
- ・対面会話は、転入者がもっとも割合が高かった。

(問 35：杵築市の住みやすさをどう感じているか)



※上記「住みやすい・住みにくい」は、「どちらかといえば」を含む。

- ・住みやすさについて、出身型による差異はなかった。

(問 36：日頃の暮らしの中で、重要だと思う項目)

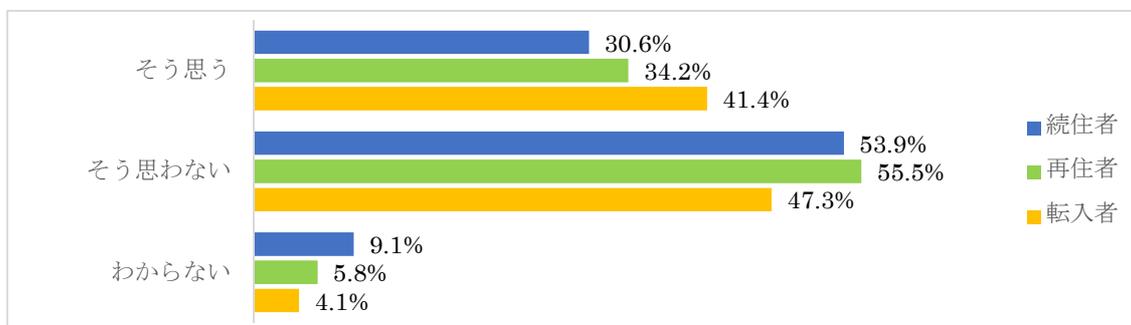
- ・いずれの属性も、重要視するのは「①買い物が便利なこと」、「⑧医療機関が充実していること」、「⑬まちが安心・安全」の順だった。
- ・4位以下は、いずれも数ポイント差となり、特筆すべき差異は認められなかった。

(問 36：杵築市をどのように感じるか)

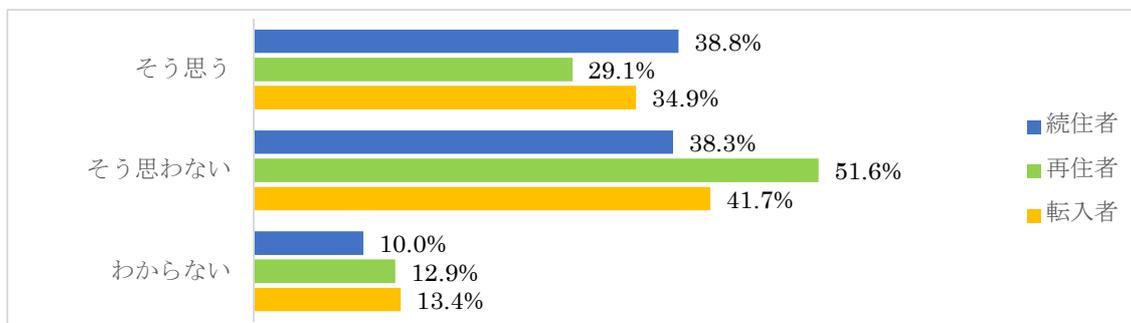
※本問では、重要と感じるかと合わせて、今の杵築市について「そう思うか」、「そう思わないか」を調査。全 17 項目のうち、特徴的な 7 項目を以下に示す。

※「そう思う」「そう思わない」には、「どちらかといえば」を含む。

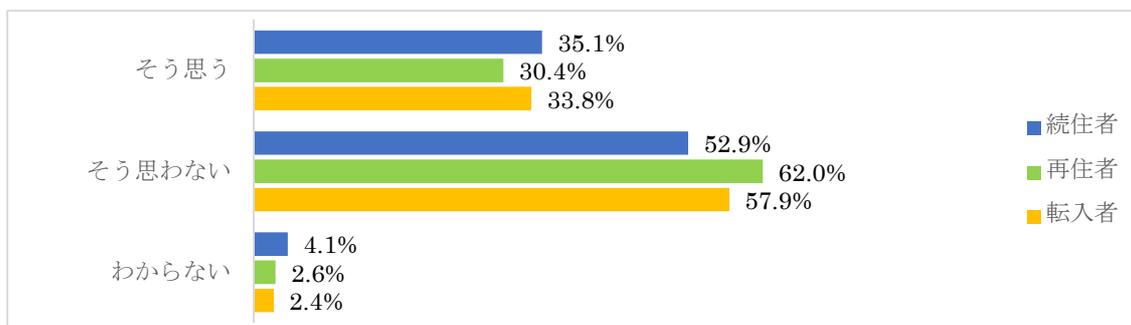
【⑤物価が安い】



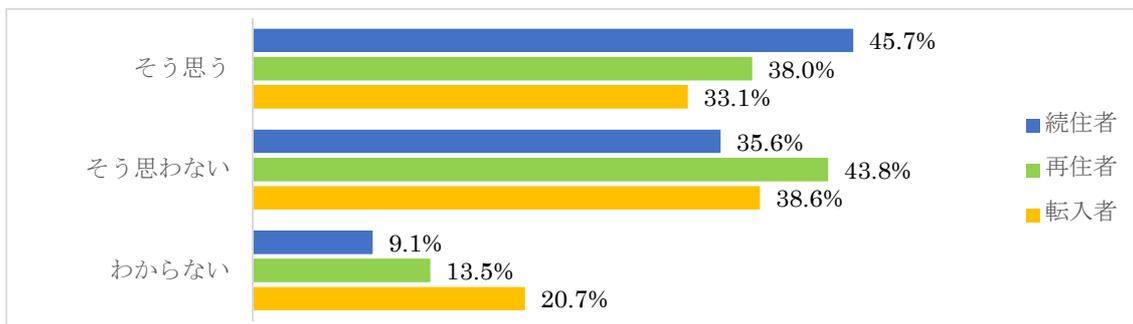
【⑥教育環境・条件が良い】



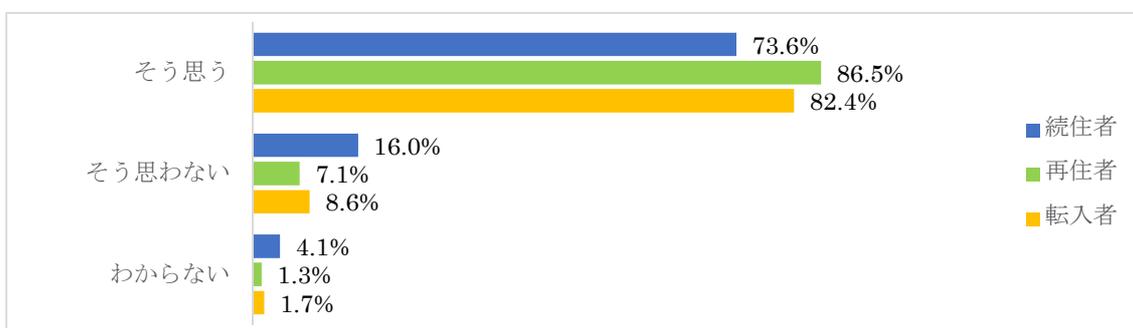
【⑧医療機関が充実】



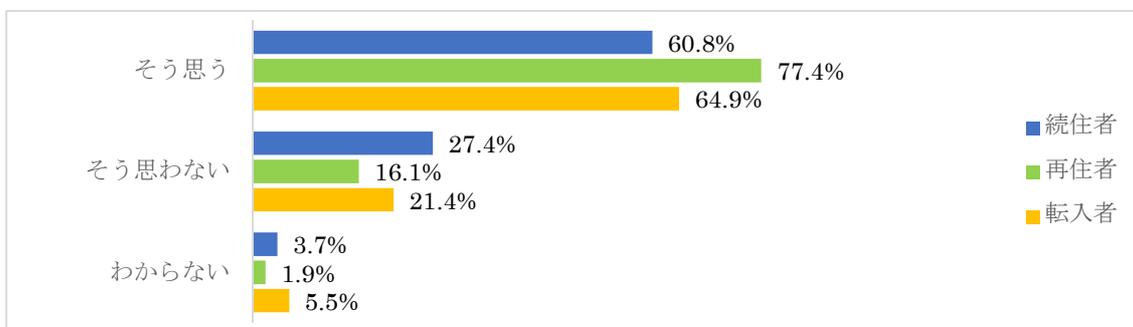
【⑨福祉が充実】



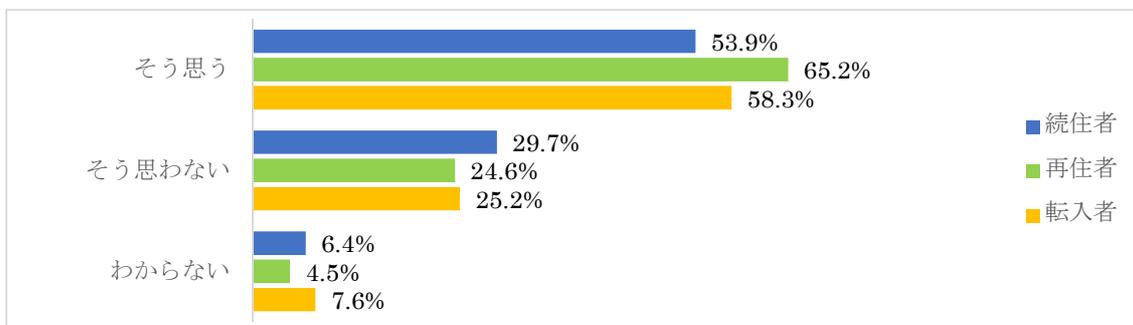
【⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている】



【⑬まちが安心・安全である】



【⑭まちのイメージが良い】



- ・「⑤物価」については、転入者の方が、再住者や続住者よりも物価が安いと感じる傾向にあった。
- ・「⑥教育環境・条件が良い」、「⑧医療機関が充実」では、特に再住者のマイナス評価が高かった。
- ・「⑨福祉が充実」では、続住者は充実していると感じる一方で、転入者は充実していない、またはわからないと感じる割合が高かった。
- ・「⑫緑や水辺などの自然環境に恵まれている」、「⑬まちが安心・安全である」、「⑭まちのイメージが良い」では、続住者よりも、再住者や転入者の方がプラス評価の割合が高かった。

【問 37～44】：結婚や子どもの人数、子育てや結婚を感じる懸念や不安については、いずれの属性においても大きな差はなく、出身型による差異を分析する理由がないことから省略する。

【閲覧可能場所】

市役所各庁舎

市立図書館・各図書室

各地区公民館・きつき生涯学習館

市公式ウェブサイト

【データベースの利用について】

市公式ウェブサイトから、回収票のデータベースをダウンロードできます。

杵築市民憲章

杵築市は豊かな海守江湾、悠久の流れ八坂川、雲を誘う雲ヶ岳・横岳等の自然環境に恵まれ、歴史と伝統、文化、産業を育み、多彩な人材を輩出してきたまちです。私たちは、その先人たちの努力と知恵を受け継ぎ、さらなる発展を目指し、新しいまちづくりを進めることを誓い、ここに市民憲章「**いきつき**」を定めます。

い いひといい環境づくりに励み、
うるおいと活力のある
豊かなまちを築きます。

い きがいと希望にあふれ、
健康で明るく、安心・安全な
住みよいまちを築きます。

き ようどの自然を愛し、
海・緑・水を大切にし、
美しいまちを築きます。

つ ねに学び、歴史と伝統を継承し、
新しい文化を創造する
夢のもてるまちを築きます。

き んろうを尊び、スポーツ・芸術に
親しみ、いつまでも若さの
保てるまちを築きます。